

戸隠高原浄化センター等維持管理業務委託

## 維持管理業務仕様書

令和5年9月

長野市上下水道局下水道施設課

戸隠高原浄化センター等維持管理業務委託 維持管理業務仕様書

目 次

第1章	総則（第1条～第19条）	-----	1
第2章	業務内容（第20条～第29条）	-----	5
第3章	業務書類及び検査（第30条～第32条）	-----	8
第4章	業務実施要領（第33条～第42条）	-----	9
第5章	その他（第43条～第52条）	-----	11
別表	（第1～第20）	-----	13
別表	（第1-1～1-3）	-----	47
別表	（第2-1～2-9）	-----	82
別表	（第9-1～9-7）	-----	93
別冊第1	業務委託契約書（案）	-----	別添
別冊第2	運転操作要領	-----	別添
別冊第3	エネルギー管理標準	-----	別添

## 第1章 総則

### (目的)

第1条 この仕様書は、長野市上下水道局が所管する長野市特定環境保全公共下水道事業のための施設である戸隠高原浄化センター、豊岡浄化センター、鬼無里浄化センター、信州新町浄化センター、中条浄化センター、及びマンホールポンプ場及び移動式汚泥処理施設（以下「特環浄化センター等」という。）の維持管理業務について、性能発注の考え方にに基づき委託するに当たり、その業務が適正に履行され、もって公共用水域の水質保全及び向上への寄与を図るため、必要な事項を定めることを目的とする。

### (業務の履行)

第2条 受注者は、契約書、設計書及びこの仕様書に基づき自ら有する技術力等と創意工夫により、計画的、効率的かつ効果的に維持管理業務を履行し、想定流入水質及び水量（以下「想定流入水」という。）に対し定められた放流水質その他の要件（以下「性能達成要件」という。）を常に満たすとともに、特環浄化センター等の施設機能を保持しかつ十分発揮させる責任を負わなければならない。

2 契約期間は業務引継期間及び業務履行期間で構成される。業務引継期間は、契約締結日から令和6年3月31日24時00分までとし、当該期間に係る費用は受注者の負担とする。業務履行期間は、令和6年4月1日0時00分から令和11年3月31日24時00分までとする。

### (業務の対象施設)

第3条 本委託業務の対象施設及び設備等は、別表第1のとおりである。

### (業務の範囲)

第4条 本委託業務の履行範囲は、別表第2のとおりである。

### (業務計画書)

第5条 受注者は、令和6年2月末日までに、この仕様書に基づいて業務計画書を作成し、監督員へ提出しなければならない。

2 受注者は、業務計画書に次の事項について記載しなければならない。

- (1) 業務履行基本的理念
- (2) 業務引受計画
- (3) 性能達成事項
- (4) 目標管理計画
- (5) 運転操作監視計画
- (6) 保守点検計画
- (7) 業務履行体制
- (8) 事故災害等緊急時対応計画
- (9) 安全衛生管理計画
- (10) 責任分担事項
- (11) 水質検査・環境測定計画
- (12) 施設機能診断計画
- (13) 履行業務確認評価（社内検査）
- (14) その他必要な事項

3 業務引受計画については、契約締結後30日以内に、監督員へ提出しなければならない。ただし、受注者が現行履行者である場合は提出する必要はない。

4 受注者は、監督員が指示した事項については、さらに詳細な業務計画書を提出しなければならない。

(監督員)

第6条 本業務委託における監督員の権限は、別紙契約書に規定した事項である。

2 監督員がその権限を行使するときは、書面により行うものとする。ただし、緊急を要する場合には、監督員は口頭で指示等を行うことができ、受注者はその指示等に従うものとし、後日書面により監督員と受注者の両者が指示等の内容を確認するものとする。

(管理技術者)

第7条 受注者は、本業務の履行に関して、契約書に規定した権限を有し、特環浄化センター等に常勤して業務の管理及び統括をする専任の管理技術者を定めなければならない。管理技術者については下水道処理施設管理技士の資格を有する者から選任しなければならない。なお、常勤とは平日の8時30分から17時15分に勤務することを原則とし、常勤場所については監督員と協議のうえ決定する。

2 管理技術者は、特環浄化センター等の施設機能を熟知するとともに、常に本業務の履行状況を把握し、事故災害等の緊急時に臨機の措置ができる体制を備え、適切に対応しなければならない。

3 管理技術者は、やむをえず一時的に不在となる時は、その職務を代行する代行者を定め、その氏名その他必要な事項を監督員へ通知しなければならない。代行者を変更した場合も同様とする。

4 代行者は、管理技術者に指示された職務を誠実に遂行しなければならない。ただし、代行者は契約書に規定した管理技術者が有する権限を行使するものではない。

(従業員)

第8条 受注者は、本業務の履行に従事する従業員の担当業務を明記した名簿を作成し、監督員へ提出しなければならない。従業員又は担当業務を変更した場合も同様とする。

(業務の再委託)

第9条 受注者は、次の業務については再委託してはならない。

- (1) 運転管理及び運転操作監視業務
- (2) 脱水汚泥、沈砂、し渣等の運搬作業
- (3) 事故災害等緊急時対応業務
- (4) 使用許可された行政財産の管理業務
- (5) 履行業務に係る廃棄物の搬出における確認作業

2 受注者は、業務を再委託しようとするときは再委託計画書を監督員へ提出し、あらかじめ発注者の承諾を得なければならない。ただし、次の業務については再委託計画書の提出のみとする。

- (1) 法令等に基づく水質・汚泥分析業務
- (2) 清掃及び火災予防（消防関係設備点検）業務
- (3) 除草及び植栽樹木の管理業務

(安全管理)

第10条 受注者は、業務履行における従業員の安全を確保するため、労働安全衛生法等の関係法令を遵守し、安全措置を講じなければならない。

2 受注者は、労働安全衛生法等で定める就業制限に係る機器の運転、操作及び危険物の取扱い等は、有資格者以外の者に行わせてはならない。

(行政財産の使用)

第11条 受注者は、契約書第43条に基づき発注者が別表第3に定める施設等について、同別表の使用許可条件で無償使用することができるものとする。

(貸与品及び支給品等の管理)

第12条 発注者は、業務履行に必要な特環浄化センター等の完成図書類、専用特殊工具及び部品類等を受注者に貸与又は支給する。

2 受注者は、業務履行に必要な貸与品及び支給品等を発注者から受領したときは、受領書を提出するとともに、台帳及び物品受払簿等を作成し整理しておかなければならない。また、監督員の求めがあった時は、これを提示しなければならない。

3 受注者は、貸与品及び支給品等を故意又は過失により滅失又は破損したときは、その損害を補償しなければならない。

(諸法令の遵守)

第13条 受注者は、業務履行にあたり日本国の法令に準拠するとともに、長野県及び長野市が定める条例等並びに長野市上下水道局が定める規程及び長野市上下水道局が締結した協定等を遵守しなければならない。

2 遵守すべき法令等は別表第4のとおりである。なお、受注者は、諸法令に違反した場合発生する責務が、発注者に及ばないようにしなければならない。

(官公庁等への手続等)

第14条 受注者は、業務履行に係る必要な諸官公庁及びその他関係機関への届出等の手続きを行うものとする。

2 受注者は、前項に規定する届出等について、監督員へ報告しなければならない。

(第三者等の対応)

第15条 受注者は、業務履行にあたり、特環浄化センター等の周辺住民との間に紛争が生じないように努めなければならない。

2 特環浄化センター等に関する、市民、他都市、諸官公庁又は報道機関等からの照会、意見、要望、依頼等の対応は、発注者が行うものとする。

3 受注者は、発注者が行う施設見学、視察等への対応に協力するものとする。

(著作権の譲渡等)

第16条 受注者は、仕様書第5条、第23条、第30条及び第31条に基づく提出書類並びに本業務履行に関する記録及び報告等（以下「提出書類等」という。）が著作権法（昭和45年法律第48号）第2条第1項第1号に規定する著作物（以下「著作物」という。）に該当する場合には、当該著作物に係る受注者の著作権（著作権法第21条から第28条までに規定する権利をいう。）を当該著作物の引渡し時に発注者へ無償で譲渡するものとする。

2 発注者は、提出書類等が著作物に該当するとしないうにかかわらず、その内容を受注者の承諾なく、自由に公表することができる。

- 3 発注者は、提出書類等が著作物に該当する場合には、受注者が承諾したときに限り、既に受注者が当該著作物に表示した氏名を変更することができる。
- 4 受注者は、提出書類等が著作物に該当する場合において、発注者が当該著作物の利用目的の実現のためにその内容を改変するときは、その改変に同意する。また、発注者は、提出書類等が著作物に該当しない場合には、その内容を受注者の承諾なく自由に改変することができる。

(特許権等の使用)

第17条 受注者は、特許権、実用新案権、意匠権、商標権その他日本国の法令に基づき保護される第三者の権利（以下「特許権等」という。）の対象となっている履行方法を使用するときは、その使用に関する一切の責任を負わなければならない。ただし、発注者がその履行方法を指定した場合において、そこに特許権等の対象である旨の表示がなく、かつ、受注者がその存在を知らなかったときは、発注者は、受注者がその使用に関して要した費用を負担しなければならない。

- 2 受注者は、本業務の履行により発明又は考案をしたときは、書面により監督員へ報告するとともに、これを保全するために必要な措置を講じなければならない。また、出願及び権利の帰属等については、発注者と協議するものとする。

(損害の賠償等)

第18条 受注者は、業務履行にともない生じた一般的損害及び第三者に及ぼした損害については、速やかに監督員へ報告し、契約書第21条及び第22条に定めるところによりその費用を負担しなければならない。

- 2 受注者は、仕様書第21条に定める性能達成要件を満たさなかったことが仕様書第32条第1項に基づく検査で確認されたときは、その要件についての計測項目等件数毎に、契約書第41条第2項に定めるところにより違約金を支払わなければならない。加えて、発注者がこれを回復するに要した費用及び発注者に及ぼした損害の賠償額を、発注者の指定する期間内に支払わなければならない。

(保険)

第19条 発注者は、特環浄化センター等施設について、発注者が定める基準において下水道賠償責任保険及び建物総合損害共済保険に加入する。

- 2 受注者は、業務履行に関して賠償責任保険、機械保険その他の保険を付したときは、契約書第35条に基づき、当該保険に係る証券又はこれに代わるものを直ちに発注者へ提示しなければならない。

## 第2章 業務内容

### (想定流入水)

第20条 特環浄化センター等に流入する汚水の想定流入水は、別表第5のとおりである。

### (性能達成要件)

第21条 受注者は、仕様書第20条に定める想定流入水の範囲内において、別表第6に示す性能達成要件を常に満たさなければならない。

- 2 受注者は、月毎に、性能達成要件の項目ごとの業務履行結果を発注者へ報告しなければならない。
- 3 発注者は、別表第7に定める方法で性能達成要件の確認をする。発注者は事前にその旨を受注者に通知しその立会いを求めてこの確認を行うものとし、受注者がこの通知を受けたにもかかわらず立会いをしないときであっても、この確認を行うことができる。
- 4 受注者は、性能達成要件を満たし得ない（以下「性能未達」という。）ときは、直ちに性能達成要件を満たすための措置を講ずるとともに、速やかにその経過と措置の内容を監督員へ報告しなければならない。
- 5 発注者は、受注者が実施した措置で性能未達の状態を克服できないことを確認した場合は、その旨を受注者へ通知し施設の運転操作に関する指示をすることができる。受注者は、この指示に従わなければならない。
- 6 受注者は、前項の運転操作について、想定流入水の範囲内で発注者が要した費用を含む全ての費用を負担し、かつ性能未達により発注者に与えた損害を賠償しなければならない。なお、発注者が要した費用及び損害の賠償額の算定は発注者が行い、受注者へ請求するものとする。
- 7 受注者は、性能未達が自らの責でないことを立証し、発注者が確認したときは、前項の賠償金及び発注者が運転操作に要した費用を支払わないものとする。
- 8 発注者は、性能未達が継続し受注者がその指示に従わないときは、契約書第30条第1項第2号によりこの契約を解除することができる。

### (目標値)

第22条 受注者は常に処理施設の維持管理と改善を行い、環境負荷の低減と良好な周辺環境の保全に努めなければならない。

- 2 受注者が維持管理業務を行う特環浄化センターは水道水源の上流に位置しているため、常に良好な放流水を排出できるように維持管理を行い、水質保全に努めなければならない。
- 3 受注者は、別表第8に示す目標値について、発注者が提示した数値等を基に、発注者と協議の上、設定しなければならない。
- 4 受注者は、目標値を達成するための方法を自ら定め、目標値の達成に努めなければならない。
- 5 受注者は、目標値を超過した場合は、直ちに達成するための措置をとるとともに、その原因を明らかにし、経過と措置の内容を監督員へ報告しなければならない。

### (施設機能の確認と保持)

第23条 特環浄化センター等の施設機能は、別表第9のとおりである。

- 2 受注者は、業務履行開始までに前項の特環浄化センター等の施設機能について仕様書を基に確認し、発注者へ施設機能確認報告書を提出しなければならない。
- 3 受注者は、仕様書第3条の業務対象施設について前項で確認した施設機能を常に保持するとともに、一年間を超えない期間ごとにその施設機能を確認し発注者へ報告しなければならない。
- 4 受注者は、仕様書に基づく適切な維持管理にもかかわらず、経年劣化により施設機能を保持できないと判断したとき、又は、業務履行開始時に潜在した不備若しくは不具合を発見したときは、直ちに維持管理の経過と現況を監督員へ報告しなければならない。
- 5 受注者は、故意又は過失により施設機能を保持できなくなったときは、直ちに監督員へ報告し、受注者の負担により速やかにその機能を回復させ監督員の確認を受けなければならない。
- 6 受注者は、発注者が特環浄化センター等の施設設備の機能確認を行うときは、その業務に協力するものとする。
- 7 発注者が行う前項の機能確認の結果、第1項の施設機能が確認できなかった場合、受注者は自らの負担で直ちに機能回復に必要な措置を講じ、その結果を速やかに発注者へ報告し確認を受けなければならない。
- 8 受注者は、第6項の施設機能の確認結果に疑義がある場合は、発注者へこの再確認を求めることができる。発注者は、この求めが妥当と認められる場合は、受注者の立会いを求め施設機能の再確認を行うものとする。
- 9 発注者は、施設機能の確認を第三者に委託することができる。この場合発注者は、施設機能の確認を第三者に委託したことについて受注者へ通知し、受注者はこれに同意しその業務に協力するものとする。

(緊急事態への対応)

第24条 受注者は、別表第10の緊急事態に対し、発注者が提示する別冊第1「特環浄化センター運転操作要領」(以下「運転操作要領」という。)に基づき、自らの手順を定めておかなければならない。

- 2 受注者は、緊急事態が発生したときは、直ちに緊急体制に入り適切な処置をとるとともに、速やかに監督員へ報告しなければならない。
- 3 発注者は、緊急事態が別表第10の非常事態の状況まで進展した場合は、非常事態宣言をし、一時的に施設の運転操作を指示することができる。
- 4 受注者は、緊急事態において自らの手順に従い、かつ、臨機の措置として自らの判断に基づき損害を最小化するための最善の努力を行い、その限りにおいて緊急事態により特環浄化センター等の施設に何らかの損害が発生した場合にはその責は問われないものとする。
- 5 緊急事態により発生した損害で、受注者の対応に故意過失がなく、下水を処理することが不可能となった場合について次の費用等は発注者の負担とする。
  - (1) 特定事業場からの悪質排水等、想定水質を逸脱した流入水が原因で活性汚泥の死滅等が発生した場合、その回復のための費用等
  - (2) 地震及び水害等により下水道施設が損傷した場合の修復費用等
  - (3) 非常事態宣言が発せられ、発注者の指示により運転操作がなされた状況におい



て、下水道施設が損傷又は機能低下した場合の下水道施設修復のための費用等

6 発注者は、前項の損害についての算定を行い、受注者に損害を及ぼしたときは契約書第13条に基づき必要な費用を負担しなければならない。

7 受注者は、発注者が実施する緊急事態を想定した災害対応訓練に協力しなければならない。

(建設工事等への対応)

第25条 特環浄化センター等施設設備の増設、改築等建設工事及び修繕工事(以下「建設工事等」という。)は、発注者が行う。発注者が計画している主な建設工事等は、別表第11のとおりである。

2 発注者は、建設工事等や電力供給会社及び電話会社が実施する工事において、その施工期間中における受注者の履行業務に係る責任分担を明確にする。受注者はそれらの工事等が円滑に進捗するよう協力しなければならない。

3 発注者は、前項によって業務内容が著しく変更となる場合は、契約書第16条に基づく仕様書等の変更をするものとする。

(電気工作物の保安)

第26条 特環浄化センター等の自家用電気工作物の保安は、「長野市上下水道局電気工作物保安規程」(長野市上下水道局管理規程第2号(昭和52年4月1日))に基づき行うものとする。

2 発注者は、前項に基づき特環浄化センター等の電気主任技術者を選任したときは、受注者へ通知するものとする。

3 受注者は、電気工作物の維持又は運用に従事する者として、第1項の保安規程に基づき維持管理するとともに、電気主任技術者がその保安のためにする指示に従わなければならない。

(エネルギーの管理)

第27条 特環浄化センター等の維持管理に使用するエネルギーの管理は、エネルギーの使用の合理化に関する法律(以下「省エネ法」という。)第5条による判断基準に基づき行うものとする。

2 受注者は、発注者がエネルギーの使用の合理化のために行う指示に従わなければならない。

(廃棄物の取扱い)

第28条 特環浄化センター等の維持管理に伴い発生する廃棄物の取扱いは、別表第12のとおりとする。

(負担区分)

第29条 本業務における発注者及び受注者の責任及び費用の負担区分は、別表第13のとおりとする。

### 第3章 業務書類及び検査

#### (業務書類等の提出)

第30条 受注者は、別表第14に定める業務書類等を作成し整理保管するとともに、提出期限の定められたものは期間内に監督員へ提出しなければならない。

#### (業務完了報告書)

第31条 受注者は、契約書第9条及び第24条第1項に基づき、別表第15に定める内容の業務完了報告書を監督員へ提出しなければならない。

#### (検査の方法)

第32条 発注者は、契約書第23条第2項に基づき、検査職員を定める。検査職員は、仕様書及び長野市契約規則に基づき、主に次の事項について確認をするものとする。

- (1) 性能達成事項
- (2) 目標管理事項
- (3) 保守点検結果
- (4) 運転操作結果
- (5) 水質試験結果
- (6) 業務履行日誌

2 発注者は、前項の検査において性能未達を確認した場合には、仕様書第29条に基づきその責を明確にし、契約書第23条第2項に基づく検査結果通知に併せ、受注者へ通知するものとする。

#### 第4章 業務実施要領

##### (有資格者の選任)

第33条 受注者は、別表第16に定める有資格者を配置し、監督員へ報告しなければならない。

##### (水質試験)

第34条 受注者は、別表第17に定める水質試験を行い、その結果を監督員へ報告しなければならない。

2 受注者は、前項に定める以外に、自らの判断に基づき運転管理上における状況の把握が必要となったときは、自ら水質試験を行うものとする。

3 受注者は、水処理、汚泥処理の運転及び水質試験の結果を評価し、定期的に監督員へ報告しなければならない。

##### (水質及び汚泥分析)

第35条 受注者は、別表第2に定める法令等に基づく水質及び汚泥分析を行い、速やかにその結果を監督員へ報告しなければならない。

##### (直接経費の負担)

第36条 業務に伴う直接経費の負担区分は、別表第18のとおりとする。

##### (保守点検及び整備)

第37条 受注者は、仕様書第25条の建設工事等の計画を理解し、施設設備の延命化を図れるよう保守点検及び整備の計画を立て業務を履行しなければならない。

2 受注者は、施設設備等に不具合を認めるときは、臨機の措置を講ずるとともに、直ちに監督員へ報告しなければならない。

3 受注者は、別表第2に定める定期整備を行うにあたり、実施計画書を事前に提出し、その実施結果を速やかに監督員へ報告しなければならない。

##### (補修及び簡易な修繕)

第38条 受注者は、特環浄化センター等の施設設備への注油、防錆塗装、部材清掃、消耗品交換及び機器調整等の実施計画書を監督員へ提出し、定期的な保全を行うとともに別表第19に示す発注者が支給する部品材料等の交換などの補修及び簡易な修繕を行い、施設設備の機能を保持しなければならない。

##### (消耗品等)

第39条 受注者が負担する消耗品等は、別表第20のとおりとする。

##### (廃棄物の運搬)

第40条 受注者は、特環浄化センター等から発生する廃棄物について、仕様書第28条に基づき監督員の指定する場所へ運搬しなければならない。

2 受注者は、専用の車両で廃棄物の運搬を行わなければならない。

3 受注者は、自らの廃棄物を運搬及び処分する場合は、自らの責において行うものとする。

##### (マンホールポンプ場の保守点検)

第41条 受注者は、別表第1に示すマンホールポンプ場について、別表第2に示す保守点検を行うものとする。

2 受注者は、マンホールポンプ場から故障・異常通報が入ったときは、その内容を速やかに確認し、適切な処置を行うものとする。

(移動式汚泥処理施設の運転管理)

第42条 受注者は、別表第1に示す移動式汚泥処理施設について、別表第2-9に示す運転管理を行うものとする。

## 第5章 その他

### (業務の引継)

第43条 受注者は、次期受注者の業務引継期間終了までの間に、全ての受託業務の引継を完了させなければならない。なお、この期間においても特環浄化センター等の運転に支障をきたさないよう万全の措置を講じなければならない。

2 受注者は、業務履行期間中において、特環浄化センター等の運転管理方法及び留意事項等について検討改善を行い、その内容を常に整理しておかなければならない。

3 受注者は、契約が終了する30日前までに、業務の引継を行うため前項の引継事項等を作成し監督員へ提出しなければならない。ただし、受注者が次期受注者である場合は提出する必要はない。

### (守秘義務)

第44条 受注者は、契約の履行に関して知り得た秘密を漏らしてはならない。

2 受注者は、提出書類等を第三者に譲渡し、貸与し、又は質権その他の担保の目的に供してはならない。ただし、あらかじめ発注者の承諾を得た場合はこの限りでない。

3 前2項の義務は本契約終了後も存続するものとする。

### (情報公開)

第45条 発注者は、本委託業務に係る提出書類等を含む全ての事項について評価し、その結果を条例等に基づき公開することができる。

### (施設の改善)

第46条 受注者は、特環浄化センター等の施設設備の改造を行うことにより、業務の効率化を図ろうとする場合は、施設の改善をすることができる。

2 受注者は、施設の改善をするときは、その内容等についてあらかじめ発注者の承諾を得なければならない。改善の内容等を変更する場合も同様とする。

3 施設の改善に要する費用は、受注者の負担とする。

4 発注者は、受注者が行った施設の改善について、特環浄化センター等の維持管理に支障があると認めるときは、受注者へ復元を請求することができる。この場合、受注者は自らの費用で復元しなければならない。

5 改善施設の契約終了時における取扱いは、発注者と受注者の間で協議する。

### (業務の提案)

第47条 受注者は、特環浄化センター等の業務履行に関して、仕様書で定める以外の効率的で効果的な技術的事項がある場合は、発注者へ業務の提案をすることができる。

2 受注者は、業務の提案を採用するときは、その内容等についてあらかじめ発注者の承諾を得なければならない。採用した提案の内容等を変更する場合も同様とする。

3 業務の提案を採用することにより受注者が得られる利益は受注者のものとする。

4 発注者は、受注者が行う業務の提案について、特環浄化センター等の維持管理に支障があると認めるときは、受注者へその採用の取消を請求することができる。この場合、受注者は前項の権利を放棄し、直ちに業務を従前に復帰しなければならない。

### (既存産業の振興等)

第48条 受注者は、本業務の履行に当たり、市内既存産業の振興・育成等に協力するものとする。

(長野市環境マネジメントシステム (NEMS) )

第49条 受注者は、長野市環境マネジメントシステム (NEMS) の運用に協力しなければならない。

(施設等の目的外使用の禁止)

第50条 受注者は、特環浄化センター等の施設を目的外に使用してはならない。

2 受注者は、特環浄化センター等へ業務履行に直接関係のない者を入れたり、物品資材を持ち込んだり、車両等を持ち入れたりしてはならない。また、特環浄化センター等の設備、物品等を持ち出してはならない。

(長野市公契約等基本条例に関する事項)

第51条 長野市公契約等基本条例の内容について、労働者等へ周知するとともに、事務所（作業所）等へポスターを掲示しなければならない。

2 業務の一部を下請負者等に履行させるときは、長野市公契約等基本条例の内容について説明し、各々の対等な立場における合意に基づいて適正に契約を締結しなければならない。

3 長野市公契約等労働環境報告書1部及び業務体制図（「長野市公契約等基本条例の手引」に例示するもの）2部を契約後速やかに所管課へ提出すること。この場合、業務の一部を下請負者等に履行させるときは、下請負者等の労働環境報告書を取りまとめて提出しなければならない。

(疑義)

第52条 本仕様書に定めがない事項及び疑義が生じた事項については、発注者、受注者両者協議により定める。

別表第1（第3条関係）

業務対象施設及び設備等

仕様書第23条関係の別表第9における施設設備とする。

対象施設	施設設備（機能診断集計表）	
特環浄化センター （別表第1-1）	戸隠高原浄化センター	別表第9-1
	豊岡浄化センター	別表第9-2
	鬼無里浄化センター	別表第9-3
	信州新町浄化センター	別表第9-4
	中条浄化センター	別表第9-5
特環マンホールポンプ場 （別表第1-2）	戸隠高原処理区内マンホールポンプ場	別表第9-6
	豊岡処理区内マンホールポンプ場	
	鬼無里処理区内マンホールポンプ場	
	新町処理区内マンホールポンプ場	
	中条処理区内マンホールポンプ場	
移動式汚泥処理施設 （別表第1-3）	移動脱水車	別表第9-7

別表第2（第4条関係）

業務履行範囲

業務種別	対象施設	業務範囲	主な業務内容	記 事
運転管理	センター	水処理	・性能達成要件及び目標値を満たすための全ての運転管理	仕様書第21条、22条 別表第6, 7, 8
	センター	汚泥処理	・性能達成要件及び目標値を満たすための全ての運転管理（移動脱水車を含む）	仕様書第21条、22条 別表第6, 7, 8
施設設備保守点検	センター	日常点検	・業務履行計画書に基づく点検 ・毎日の目視、触感、確認、調整等作業	仕様書第5条
	共通	定期点検	・業務履行計画書に基づく点検 ・月毎等の確認、測定、補給、交換、調整等作業	〃
	共通	臨時点検	・異常時の確認、測定、補給、交換、調整等作業	〃
	センター	定期自主点検	・業務履行計画書に基づく法定点検作業 ・遠心脱水機 労働安全規則第141条に基づく定期自主検査（高原のみ）	〃
	共通	機能点検及び保全	・仕様書に基づく機能点検及び保全作業	仕様書第23条 別表第9
	共通	補修及び簡易な修繕・部品交換	・仕様書に基づく補修及び簡易な修繕作業	仕様書第38条 別表第19
	共通	清掃・塗装	・仕様書に基づく施設設備の清掃、塗装作業	〃
運転操作監視	共通	運転操作・監視制御	・業務履行計画書に基づく運転操作・監視制御	仕様書第5条
	共通	巡視点検記録	・業務履行計画書に基づく点検 ・毎日の目視、触感、確認、調整等作業	〃
	共通	機側運転操作	・必要時における機器設備の運転停止操作	〃
	共通	管理日報・操作記録作成	・仕様書に基づく各種帳票、報告書類等の作成	仕様書第30条 別表第15
	共通	緊急時の対応	・仕様書及び業務計画書に基づく対応	仕様書第24条 別表第10
直接経費調達管理	センター	調達管理	・薬品、燃料類の在庫管理及び発注業務	仕様書第36条 別表第18
水質試験	センター	水処理	・水処理管理のための試験	仕様書第34条 別表第17
	センター	汚泥処理	・汚泥処理管理のための試験	〃
水質分析	センター	有害物質分析	・仕様書に定める年2回の流入水、放流水の有害物質（農薬、PCB）分析	仕様書第35条 別表第2-2
脱臭設備点検	高原 新町 鬼無里 中条	活性炭脱臭設備臭気測定	・活性炭脱臭設備入口出口臭気測定	別表第2-1
廃棄物	共通	廃棄物の取り扱い	・廃棄物に係る業務内容と履行区分	仕様書第28条 別表第12
	共通	廃棄物運搬	・廃棄物の場内運搬、場内搬入及び場外運搬業務	仕様書第40条 別表第12
	センター	脱水汚泥成分分析	・仕様書に定める成分分析等	仕様書第35条 別表第2-3
精密点検	センター	受変電設備	・保安規程に定める年1回の定期点検、調整、清掃	別表第2-4
定期整備	センター	放流流量計	・電磁流量計 点検整備（5年に1回）	仕様書第37条
	センター	非常通報装置	・非常通報装置バッテリー交換	仕様書第37条 別表第2-10
	MP	マンホールポンプ場定期整備	・水位計ベロフラム交換 ・非常通報装置バッテリー交換	仕様書第37条 別表第2-11



業務履行範囲

業務種別	対象施設	業務範囲	主な業務内容	記事
火災予防	センター	消防設備法定点検	・消火設備、自動火災報知設備、誘導設備等の法定点検(機能点検、総合点検)	別表第2-5
建物管理清掃除草	共通	施設等建物、門扉、柵	・定期巡視、施錠	仕様書第3条 別表第1
	センター	各棟清掃	・床、室内、屋根、雨水管等定期清掃	別表第2-6
建物管理清掃除草	センター	整理整頓	・倉庫、整理棚、工作室等	別表第2-6
	共通	除草	・敷地内及び放流水路敷	別表第2-7
	センター	除雪、側溝清掃	・敷地内及び取付道路の除雪及び側溝清掃	別表第2-7
業務管理	共通	業務履行計画実施管理	・仕様書及び業務計画書に基づく管理	仕様書第5条
	共通	提出書類作成整理	・仕様書及び業務計画書に基づく書類作成管理	仕様書第30条 別表第15
	共通	安全衛生管理	・仕様書及び業務計画書に基づく管理	仕様書第10条
	高原	行政財産管理	・仕様書及び業務計画書に基づく管理	仕様書第11条 別表第3
	共通	貸与品・支給品管理	・仕様書及び業務計画書に基づく管理	仕様書第12条
	共通	消耗品等検収確認	・委託者が購入する指定消耗品等の検収確認	仕様書第39条 別表第20
	MP	マンホールポンプ場維持管理	・仕様書及び業務計画書に基づく管理	別表第2-8
	移動式	運転管理	・仕様書及び業務計画書に基づく管理	仕様書第42条 別表第1、2-9
	共通	施設見学等への協力	・仕様書及び業務計画書に基づく協力	仕様書第15条
	共通	建設工事等への協力	・仕様書及び業務計画書に基づく協力	仕様書第25条 別表第11
共通	引継事項の整理保管	・仕様書及び業務計画書に基づく整理保管	仕様書第43条	

\*対象施設凡例

- 共通
  - ・特環浄化センター等
- センター
  - ・戸隠高原浄化センター
  - ・豊岡浄化センター
  - ・鬼無里浄化センター
  - ・信州新町浄化センター
  - ・中条浄化センター
- 高原
  - ・戸隠高原浄化センター
- 豊岡
  - ・豊岡浄化センター
- 鬼無里
  - ・鬼無里浄化センター
- 新町
  - ・信州新町浄化センター
- 中条
  - ・中条浄化センター
- MP
  - ・マンホールポンプ場
- 移動式
  - ・移動式汚泥処理施設

別表第3(第11,12条関係)

施設等の使用許可

3-1 使用許可施設

	浄化センター内対象施設等	規模	用途	
1	戸隠高原浄化センター	作業員控室、水質試験室、湯沸室、便所(1F・2F)、脱衣室及び浴室	121㎡	受注者維持管理業務用 受注者従業員用
	鬼無里浄化センター	作業員控室兼水質試験室、便所	24㎡	
	信州新町浄化センター	作業員室、水質試験室、湯沸室、便所、脱衣室及びシャワー室	50㎡	
	中条浄化センター	事務室兼作業員控室、便所、脱衣室及びシャワー室	40㎡	
2	駐車場	戸隠高原	420㎡	受注者維持管理業務用

3-2 使用許可物品

	対象物品等	仕様	用途	
1	車両等	バキューム車	3.2kL、6,490cc	濃縮汚泥等運搬用(東部浄化センター)
		移動脱水車	6t車、16,750cc	豊岡浄化センター汚泥脱水用
2	ベルトコンベア		豊岡浄化センター汚泥脱水用	
3	高压洗浄機	エンジン付高压洗浄機	ガソリンエンジン式 1台	場内設備の洗浄(中条)
4	非常用発電機	ディーゼルエンジン式可搬式発電機	高原 3φ200V 7.5kVA 1台	MP場停電・作業対応用
			中条 3φ200V 7.5kVA 1台	
			東部 3φ200V 25kVA 1台	
			東部 3φ200V 60kVA 1台	
		ガソリンエンジン式可搬式発電機	高原 1φ100V 2.4kVA 1台	
			高原 1φ100V 2.3kVA 1台	
高原 1φ100V 1.0kVA 1台				
5	除雪機	小型除雪機	ガソリンエンジン式 自走式 2台	除雪作業用(高原)
6	草刈機	肩掛式刈払機	ガソリンエンジン式 5台	場内草刈(高原2、信州新町1、中条2)
7	ガス検知器	ポータブルガスモニター	GX-8000M 1台	MP場の点検(高原)
		有害ガス検知管	GX-111 1台	水質試験(鬼無里) 水質試験(中条)
8	水質測定機器	pH・電気伝導率計	2ch式	高原1,豊岡1,鬼無里1,信州新町1
		pH・ORP計	2ch式	中条1
		pH計	1ch式	高原1,鬼無里1,新町1
		ORP計	1ch式	高原1,鬼無里1
		DO計	1ch式	高原1,豊岡1,鬼無里1,中条1
		MLSS計	赤外線パルス透過光式	各処理場1
		水分計	加熱乾燥・質量測定式	各処理場1
9	保冷库	検体用保冷库		高原1、信州新町1、中条1
10	冷凍庫	保冷剤用冷凍庫		高原1
11	顕微鏡一式	正立型顕微鏡		高原1、鬼無里1、信州新町1、中条1
		Cマウントアダプター		高原1
		カラーモニター		高原1,中条1
		カラーカメラ		高原1
12	乾燥機	恒温乾燥機		高原1
13	遠心分離器			高原1
14	定温温浴機器			高原1
15	デジタルビュレット			高原1

16	卓上型マッフル炉		高原 1
17	紫外可視分光光度計		高原 1
18	高圧蒸気滅菌器		高原 1
19	ウォーターバス		高原 1
20	スターラー		高原 1
21	直示天秤		高原 1
22	フラン瓶用電極計		高原 1
23	純水製造装置		高原 1
24	恒温乾燥機		高原 1
25	自動採水機		高原 3。各浄化センターへ運搬して使用する。

### 3-3 使用許可条件

項目		内容
1	許可期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日
2	許可条件	<p>(1) 常に善良な管理者の注意を持って使用し、維持保存に要する費用は使用者の負担とする。</p> <p>(2) 第三者に使用させ、又は担保に供してはならない。</p> <p>(3) 使用目的以外の目的に使用しないこと。</p> <p>(4) 使用期間の満了又は使用期間の取消によって使用を終了した場合には、速やかに自己の負担で原状に回復して返還すること。ただし、財産管理者が特に認める場合は、原状に回復しないことができる。</p> <p>(5) 公用若しくは公共用に供するため必要が生じたとき、又は許可の条件に違反する行為が認められるときは、使用許可を取り消すことができる。</p> <p>(6) 使用物件について、形質の変改をしてはならない。ただし、あらかじめ書面による承認を受けたときは、この限りでない。</p> <p>(7) 使用者がその責に帰する事由により使用物件の全部又は一部を滅失し、又は毀損したときは、その損害を賠償しなければならない。</p> <p>(8) 使用物件について、財産管理者が随時検査を実施し、資料の提出又は報告を求め、その維持使用に関し指示したときは、その指示に従わなければならない。</p>

## 別表第4（第13条関係）

## 遵守すべき法令等

名	称
<法律>	
地方自治法	(昭和 22 年 法律第 67 号)
地方公営企業法	(昭和 27 年 法律第 292 号)
出入国管理及び難民認定法	(昭和 26 年 政令第 319 号)
道路交通法	(昭和 35 年 法律第 105 号)
消防法	(昭和 23 年 法律第 186 号)
水道法	(昭和 32 年 法律第 177 号)
感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律	(平成 10 年 法律第 114 号)
毒物及び劇物取締法	(昭和 25 年 法律第 303 号)
健康保険法	(昭和 11 年 法律第 70 号)
環境基本法	(平成 5 年 法律第 91 号)
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律	(平成 11 年 法律第 86 号)
大気汚染防止法	(昭和 43 年 法律第 97 号)
水質汚濁防止法	(昭和 45 年 法律第 138 号)
騒音規制法	(昭和 43 年 法律第 98 号)
振動規制法	(昭和 51 年 法律第 64 号)
悪臭防止法	(昭和 46 年 法律第 91 号)
土壤汚染対策法	(平成 14 年 法律第 53 号)
農用地の土壤の汚染防止等に関する法律	(昭和 45 年 法律第 139 号)
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	(昭和 45 年 法律第 137 号)
労働基準法	(昭和 22 年 法律第 49 号)
労働安全衛生法	(昭和 47 年 法律第 57 号)
作業環境測定法	(昭和 50 年 法律第 28 号)
職業安定法	(昭和 22 年 法律第 141 号)
職業能力開発促進法	(昭和 44 年 法律第 64 号)
労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の就業条件の整備等に関する法律	(昭和 60 年 法律第 88 号)
雇用保険法	(昭和 49 年 法律第 116 号)
労働者災害補償保険法	(昭和 22 年 法律第 50 号)
中小企業退職金共済法	(昭和 34 年 法律第 160 号)
補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律	(昭和 30 年 法律第 179 号)
計量法	(平成 4 年 法律第 51 号)
高圧ガス保安法	(昭和 26 年 法律第 204 号)
著作権法	(昭和 45 年 法律第 48 号)

名	称
個人情報保護に関する法律	(平成 15 年 法律第 57 号)
地球温暖化対策の推進に関する法律	(平成 10 年 法律第 117 号)
エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律	(昭和 54 年 法律第 49 号)
電気事業法	(昭和 39 年 法律第 170 号)
電気工事士法	(昭和 35 年 法律第 139 号)
電気通信事業法	(昭和 59 年 法律第 86 号)
電波法	(昭和 25 年 法律第 151 号)
都市計画法	(昭和 43 年 法律第 100 号)
下水道法	(昭和 33 年 法律第 79 号)
道路法	(昭和 27 年 法律第 180 号)
河川法	(昭和 39 年 法律第 167 号)
建築基準法	(昭和 25 年 法律第 201 号)
災害対策基本法	(昭和 36 年 法律第 223 号)
< 条例 >	
長野県条例	
長野市条例及び長野市上下水道局規程	
< 協定等 >	
「豊岡汚泥運搬」協定書	(平成 19 年 11月 13日)
災害時における復旧協力に関する変更協定書 (長野市建設業協会)	(昭和 61 年 6月 27日)

別表第5 (第20条関係)

1 流入水の想定水質

(1) 戸隠高原浄化センター

水質項目	単位	想定水質
pH	—	6.5 ~ 8.0
BOD	mg/l	最大値350以下
SS	mg/l	最大値350以下
全窒素	mg/l	最大値60以下
全りん	mg/l	最大値8以下

【参考】 流入水質 (過去5年実績)

水質項目	単位	最小値	2%値	98%値	最大値	日間平均値
pH	—	5.9	6.6	8.0	8.6	7.2
BOD	mg/l	2.0	23	325	520	139
SS	mg/l	2	16	314	660	112
全窒素	mg/l	4.2	7.0	58	72	28
全りん	mg/l	0.24	0.52	7.3	35	3.1

\*最小値、2%値、98%値、最大値は過去5年間 (H30~R4年度) の定期水質試験及び通日試験結果から算出

\*2%値及び98%値は、全ての値を大きき順に並べた時に、低いほうから数えてそれぞれ2%、98%目の値

\*日間平均値は過去5年間 (H30~R4年度) 通日試験結果から算出

(2) 豊岡浄化センター

水質項目	単位	想定水質
pH	—	6.5 ~ 8.0
BOD	mg/l	最大値450以下
SS	mg/l	最大値600以下
全窒素	mg/l	最大値70以下
全りん	mg/l	最大値11以下

【参考】 流入水質 (過去5年実績)

水質項目	単位	最小値	2%値	98%値	最大値	日間平均値
pH	—	6.2	6.5	7.6	8.0	7.2
BOD	mg/l	15	34	440	520	201
SS	mg/l	36	42	573	920	212
全窒素	mg/l	13	16	68	84	38
全りん	mg/l	1.1	1.5	11	24	4.7

\*最小値、2%値、98%値、最大値は過去5年間 (H30~R4年度) の定期水質試験及び通日試験結果から算出

\*2%値及び98%値は、全ての値を大きき順に並べた時に、低いほうから数えてそれぞれ2%、98%目の値

\*日間平均値は過去5年間 (H30~R4年度) 通日試験結果から算出

(3) 鬼無里浄化センター

水質項目	単位	想定水質
pH	—	6.0 ~ 8.0
BOD	mg/l	最大値500以下
SS	mg/l	最大値350以下
全窒素	mg/l	最大値60以下
全りん	mg/l	最大値9以下

【参考】 流入水質（過去5年実績）

水質項目	単位	最小値	2%値	98%値	最大値	日間平均値
pH	—	5.4	6.0	7.6	7.7	7.0
BOD	mg/l	22	34	464	590	194
SS	mg/l	22	32	330	500	144
全窒素	mg/l	6.1	10	58	76	31
全りん	mg/l	0.85	1.2	8.3	34	4.0

\*最小値、2%値、98%値、最大値は過去5年間（H30～R4年度）の定期水質試験及び通日試験結果から算出

\*2%値及び98%値は、全ての値を大きき順に並べた時に、低いほうから数えてそれぞれ2%、98%目の値

\*日間平均値は過去5年間（H30～R4年度）通日試験結果から算出

(4) 信州新町浄化センター

水質項目	単位	想定水質
pH	—	6.5 ~ 8.5
BOD	mg/l	最大値400以下
SS	mg/l	最大値400以下
全窒素	mg/l	最大値65以下
全りん	mg/l	最大値7以下

【参考】 流入水質（過去5年実績）

水質項目	単位	最小値	2%値	98%値	最大値	日間平均値
pH	—	5.6	6.5	8.5	9.0	7.4
BOD	mg/l	15	52	390	430	220
SS	mg/l	24	66	395	600	194
全窒素	mg/l	5.4	15	64	71	41
全りん	mg/l	0.51	1.3	6.9	9.8	4.3

\*最小値、2%値、98%値、最大値は過去5年間（H30～R4年度）の定期水質試験及び通日試験結果から算出

\*2%値及び98%値は、全ての値を大きき順に並べた時に、低いほうから数えてそれぞれ2%、98%目の値

\*日間平均値は過去5年間（H30～R4年度）通日試験結果から算出

(5) 中条浄化センター

水質項目	単位	想定水質
pH	—	6.5 ～ 8.0
BOD	mg/l	最大値400以下
SS	mg/l	最大値450以下
全窒素	mg/l	最大値65以下
全りん	mg/l	最大値9以下

【参考】 流入水質（過去5年実績）

水質項目	単位	最小値	2%値	98%値	最大値	日間平均値
pH	—	6.1	6.6	7.7	7.8	7.3
BOD	mg/l	27	48.4	366	540	193
SS	mg/l	16	62	422	660	203
全窒素	mg/l	5.4	19	61	67	40
全りん	mg/l	0.2	2.1	8.1	38	4.6

\*最小値、2%値、98%値、最大値は過去5年間（H30～R4年度）の定期水質試験及び通日試験結果から算出

\*2%値及び98%値は、全ての値を大きさ順に並べた時に、低いほうから数えてそれぞれ2%、98%目の値

\*日間平均値は過去5年間（H30～R4年度）通日試験結果から算出

(6) 全処理場共通

有害物質及び大量の油類を含まないこと。



## 2 流入水の想定水量

単位:m<sup>3</sup>

項 目	戸隠高原 浄化センター	豊 岡 浄化センター	鬼無里 浄化センター	信州新町 浄化センター	中 条 浄化センター
日最大流入汚水量	3,300	1,100	600	900	800
時間最大流入汚水量	200	70	40	60	50

※長野市特定環境保全公共下水道認可計画汚水量（各処理区）から算出

※下水道施設計画・設計指針及び各浄化センター処理施設容量から算出

### 【参考】流入水量実績及び流入水量の変動

#### 戸隠高原浄化センター流入水量実績

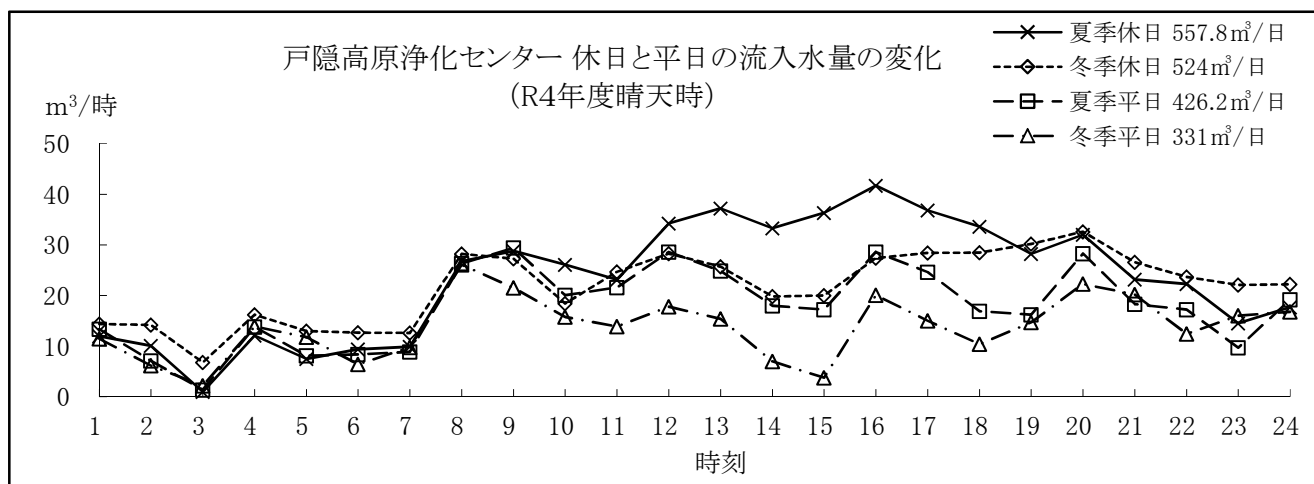
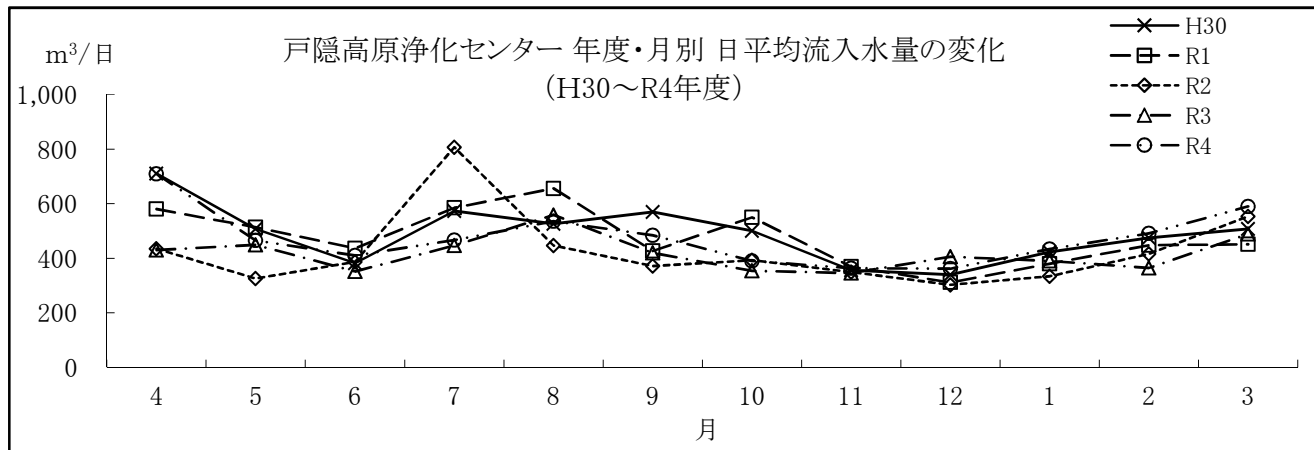
単位:m<sup>3</sup>

年 度	H30	R1	R2	R3	R4
日平均流入汚水量	489	476	427	418	475
日最大流入汚水量(晴天時)	846 (4/26)	959 (10/26)	837 (3/22)	832 (8/16)	920(4/13)
日最大流入汚水量	1,406 7/6, 15mm/日	1,229 7/4, 54mm/日	1,679 7/8, 76mm/日	1,542 8/14, 67mm/日	1,592 7/27, 80mm/日
時間最大流入汚水量	113 7/5, 119mm/日	107 10/12, 104mm/日	110 7/9, 1mm/日	88.2 8/15, 29mm/日	115.0 4/14, 27mm/日
年間流入汚水量	178,551	174,134	155,883	152,462	173,328

※日最大流入汚水量(晴天時)欄の括弧内は、最大を記録した月日

※日最大流入汚水量・時間最大流入汚水量欄の下段は、最大を記録した月日及び当日の県戸隠局降水量

#### 戸隠高原浄化センター流入水量の変動



豊岡浄化センター流入水量実績

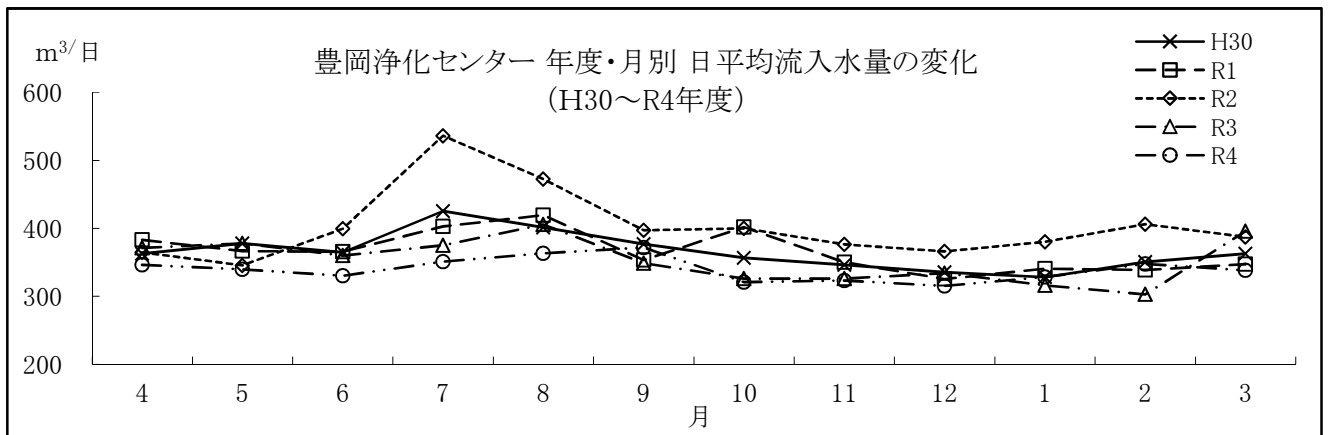
単位:m<sup>3</sup>

年 度	H30	R1	R2	R3	R4
日平均流入汚水量	371	366	403	354	340
日最大流入汚水量(晴天時)	457 (9/16)	492 (10/26)	582 (8/2)	534(3/16)	441 (8/7)
日最大流入汚水量	814 7/5, 119mm/日	630 10/25, 48mm/日	985 7/8, 86mm/日	790 8/14, 72mm/日	648 9/24, 1mm/日
時間最大流入汚水量	57.5 7/5, 119mm/日	53.2 10/12, 73mm/日	57.5 7/8, 86mm/日	52.2 8/14, 72mm/日	57.4 9/23, 76mm/日
年間流入汚水量	135,354	134,093	146,994	129,096	123,914

※日最大流入汚水量(晴天時)欄の括弧内は、最大を記録した月日

※日最大流入汚水量・時間最大流入汚水量欄の下段は、最大を記録した月日及び当日の県戸隠局降水量

豊岡浄化センター流入水量の変動



鬼無里浄化センター流入水量実績

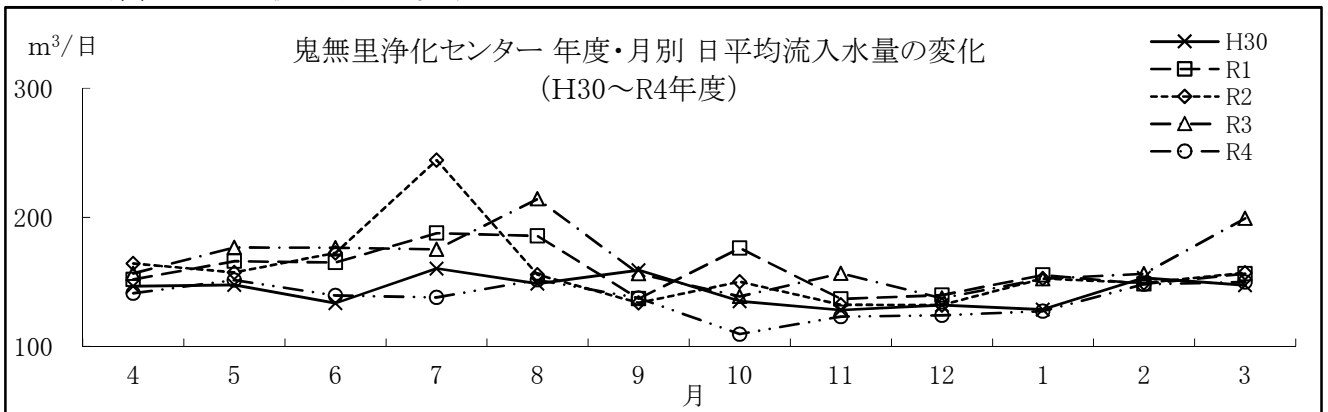
単位:m<sup>3</sup>

年 度	H30	R1	R2	R3	R4
日平均流入汚水量	143	159	159	166	137
日最大流入汚水量(晴天時)	222 (2/21)	227 (10/26)	318 (10/26)	546 (8/16)	203 (7/25)
日最大流入汚水量	442 7/5, 124mm/日	449 10/12, 115mm/日	593 7/8, 68mm/日	661 8/15, 26mm/日	205 3/26, 0mm/日
時間最大流入汚水量	44.1 7/5, 124mm/日	44.0 10/12, 115mm/日	60.4 10/26, 0mm/日	64.8 8/19, 0mm/日	18.0 3/26, 0mm/日
年間流入汚水量	52,245	58,152	57,853	54,502	49,843

※日最大流入汚水量(晴天時)欄の括弧内は、最大を記録した月日

※日最大流入汚水量・時間最大流入汚水量欄の下段は、最大を記録した月日及び当日の国交省鬼無里降水量

鬼無里浄化センター流入水量の変動



信州新町浄化センター流入水量実績

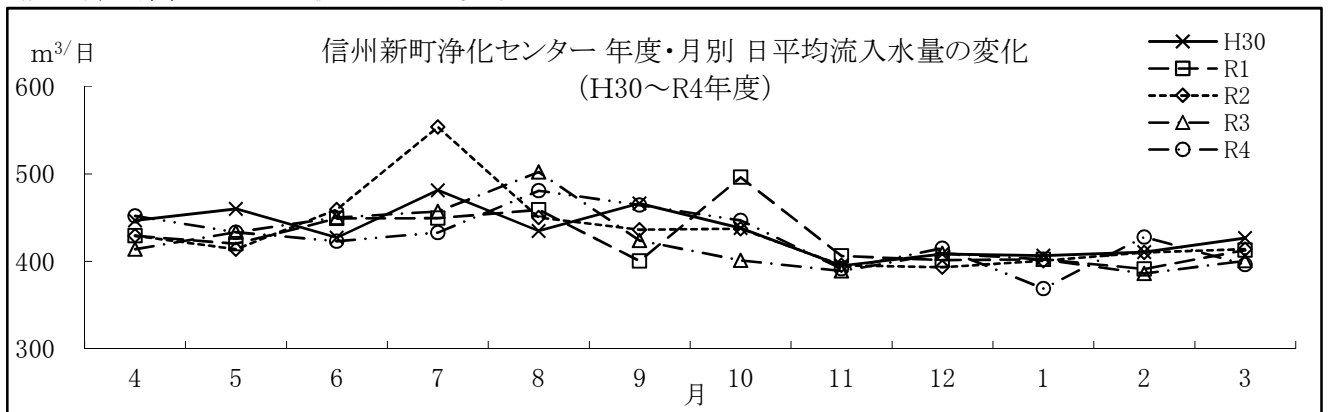
単位:m<sup>3</sup>

年 度	H30	R1	R2	R3	R4
日平均流入汚水量	434	427	433	423	428
日最大流入汚水量(晴天時)	533 ( 7/11)	600 (8/15)	612 (7/9)	541 (8/19)	571 (8/2)
日最大流入汚水量	743 7/5, 84mm/日	909 10/12, 164mm/日	1,003 7/8, 65mm/日	1,032 8/14, 85mm/日	652 9/24, 1mm/日
時間最大流入汚水量	62.3 7/5, 84mm/日	60.5 10/12, 164mm/日	60.6 7/8, 65mm/日	57.4 8/14, 85mm/日	52.7 8/1, 18mm/日
年間流入汚水量	158,245	156,126	158,030	154,276	156,075

※日最大流入汚水量(晴天時)欄の括弧内は、最大を記録した月日

※日最大流入汚水量・時間最大流入汚水量欄の下段は、最大を記録した月日及び当日の気象庁信州新町局降水量

信州新町浄化センター流入水量の変動



中条浄化センター流入水量実績

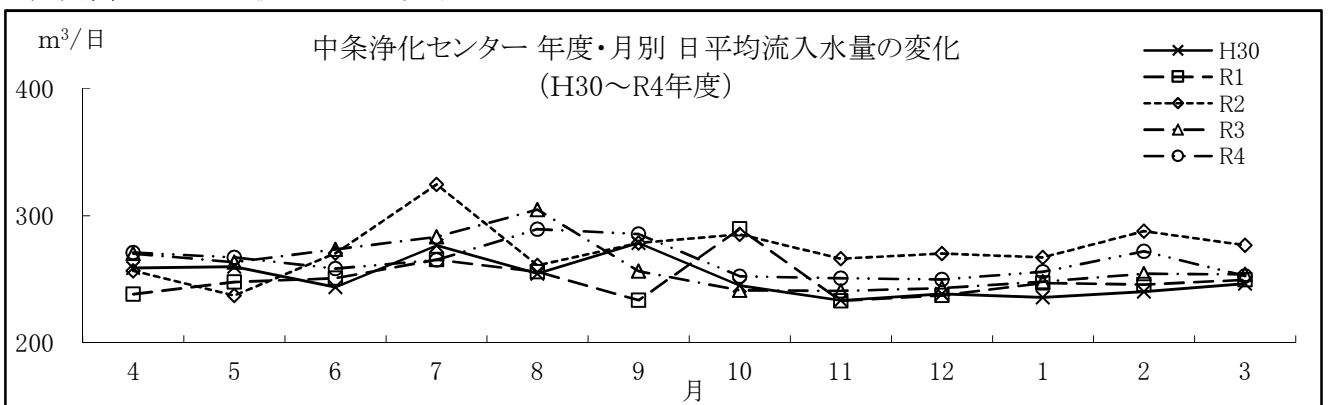
単位:m<sup>3</sup>

年 度	H30	R1	R2	R3	R4
日平均流入汚水量	251	250	273	261	264
日最大流入汚水量(晴天時)	317 ( 7/10)	331 ( 3/30)	343 ( 7/16)	331 ( 8/3)	330 (8/8)
日最大流入汚水量	574 7/5, 102.5mm/日	626 10/12, 129.5mm/日	726 7/8, 73mm/日	831 8/14, 96mm/日	545 9/23, 82mm/日
時間最大流入汚水量	57.9 7/5, 102.5mm/日	54.2 10/12, 129.5mm/日	63.1 2/20, 0mm/日	62.8 8/14, 96mm/日	74.9 8/6, 72mm/日
年間流入汚水量	91,612	91,363	99,809	95,327	96,391

※日最大流入汚水量(晴天時)欄の括弧内は、最大を記録した月日

※日最大流入汚水量・時間最大流入汚水量欄の下段は、最大を記録した月日及び当日の中条支所降水量

中条浄化センター流入水量の変動



別表第6（第21条関係）

1 放流水質の性能達成要件

水質項目	単位	性能達成要件	備 考
pH	—	6.0～8.0	水質汚濁防止法基準から設定
BOD	mg/l	最大値15以下	計画放流水質から設定
SS	mg/l	最大値20以下	予定放流水質から設定
全窒素	mg/l	最大値15以下	下水道施設計画・設計指針及び過去の実績から設定
全りん	mg/l	最大値8以下	水質汚濁防止法基準から設定
大腸菌群数	個/cm <sup>3</sup>	最大値1,000以下	水質汚濁防止法基準から設定

\* 全窒素と全りんは裾花川水系に放流する処理場(高原、豊岡、鬼無里)にのみ適用する。

\* 計画放流水質及び予定放流水質（長野市特定環境保全公共下水道認可計画水質（各処理区））

\* 大腸菌群数について、令和6年度から水質汚濁防止法の排出基準が大腸菌数に変更される予定。  
変更された場合は協議の上、性能達成要件を変更する。

2 脱水汚泥の性能達成要件

セメント原料化脱水汚泥の含水率

処理場名	性能達成要件
戸隠高原浄化センター	85.0%以下(6ヶ月平均値)
豊岡浄化センター	85.0%以下(6ヶ月平均値)
鬼無里浄化センター	83.0%以下(6ヶ月平均値)
信州新町浄化センター	83.0%以下(6ヶ月平均値)
中条浄化センター	84.0%以下(6ヶ月平均値)
管理型最終処分場埋立脱水汚泥の含水率	85.0%以下(最大値)

※発注者が実施する試験の頻度は発注者が定めるものとする。

3 電力使用における性能達成要件

処理場名	電力デマンド値(30分最大需要電力)
戸隠高原浄化センター	80 kW以下
豊岡浄化センター	55 kW以下
鬼無里浄化センター	55 kW以下
信州新町浄化センター	45 kW以下
中条浄化センター	50 kW以下

4 性能達成要件として遵守すべき法令  
仕様書第13条で定めるとおり

別表第7（第21条関係）

性能達成要件の確認

項 目	確 認 方 法	備 考
放流水質	発注者が実施する2回／月の法定水質試験及び臨時に行う水質試験結果による。	別表第6
脱水汚泥	発注者が実施する試験結果による。 6ヶ月平均値は各浄化センターにおける試験結果の6ヶ月分平均値とする。	
電力使用	電力会社検針票による。	
遵守すべき法令	月毎に提出される「性能達成要件報告書」による。	仕様書第31条

別表第8 (第22条、27条関係)

1 放流水の目標値

(1) 放流水目標値設定項目

BOD、COD、SS、全窒素、全りん、大腸菌群数の6項目とする。

(2) 放流水目標値の確認方法

発注者が仕様書第21条第3項に基づき実施する水質試験及び受注者が仕様書第34条に基づき実施する水質試験の結果による。

2 エネルギー管理の目標値

管理項目	参考値
流入水量に対する電力使用量原単位	前年度実績 1%削減

別表第9（第23条関係）

浄化センター等施設機能診断結果

履行業務開始時確認内容

施設名	施設設備	件数	診断項目		評価	詳細内容
			機能	劣化		
戸隠高原浄化センター (別表第1-1)	土木建築・付帯設備	44	○	△	△	別表第9-1
	機械設備	46	○	△	△	
	電気設備	63	△	△	△	
豊岡浄化センター (別表第1-1)	土木建築・付帯設備	37	○	△	△	別表第9-2
	機械設備	28	○	△	△	
	電気設備	18	○	△	△	
鬼無里浄化センター (別表第1-1)	土木建築・付帯設備	38	○	△	△	別表第9-3
	機械設備	30	○	△	△	
	電気設備	44	○	△	△	
信州新町浄化センター (別表第1-1)	土木建築・付帯設備	43	△	△	△	別表第9-4
	機械設備	40	○	△	△	
	電気設備	32	△	△	△	
中条浄化センター (別表第1-1)	土木建築・付帯設備	47	△	△	△	別表第9-5
	機械設備	31	△	△	△	
	電気設備	35	△	○	△	
マンホールポンプ場 (別表第1-2)	土木建築・付帯設備	120	○	△	△	別表第9-6
	機械設備	120	○	○	○	
	電気設備	120	△	△	△	
移動式汚泥処理施設 (別表第1-3)	車体	5	○	△	△	別表第9-7
	機械設備	19	○	△	△	
	電気設備	4	○	△	△	

<機能診断基準>

項 目		機 能	劣 化
土木・建築		能力が仕様(設計)どおりである	ひび割れ
		設置目的の役割を果たしている	浮き、はく離、はく落
		運転処理実績が良好である	変形(たわみ、不同沈下)
		安全対策が図られている	環境的(酸・塩類、腐食性ガス、凍害)
		現在適用設計基準を満たしている	アルカリ骨材反応
機械設備 電気設備 付帯設備 (土木建築)		能力(出力、容量) が仕様どおりである	電氣的(絶縁、接触抵抗、放電)
		設置目的の役割を果たしている	機械的(振動、磨耗、変形、疲労)
		運転操作性が良好である	熱的(過負荷、冷却、過密、ヒートサイクル)
		安全対策が図られている	環境的(吸湿、腐食、汚損、紫外線)
		交換部品の調達ができる	化学的(化学生成物)
診断票の 記入基準	○	問題なく改善の必要がない	劣化や異常がなく問題ない。
	△	一部に問題があり改善が望まれる。	一部に劣化や異常があり、ある程度問題がある。
	×	問題があり改善の必要がある。	ほとんどの部位に劣化や異常があり問題がある。

\* 機能、劣化判定基準 : 全て○の場合は○、×が一つでもあった場合は×、それ以外は△とする。

○以外は、問題点を記入する。

\* 評価判定基準 : 機能、劣化とも○の場合は○、どちらかでも×の場合は×、それ以外は△とする。



別表第10 (第24条関係)

緊急事態及び非常事態

事 項	緊 急 事 態	非常事態 (非常事態宣言)
大 雨	大雨警報が発せられたとき 洪水警報が発せられたとき	処理能力以上の水量が流入した場合
		処理場が冠水する恐れがある場合
		特別警報が発表された場合
地 震	震度5弱以上の地震が発生したとき	地震により施設に障害が出た場合
		特別警報(緊急地震速報)が発表された場合
火 災	火災通報が寄せられたとき	火災が発生した場合
流入水質異常	有害物質の流入に関する情報が寄せられたとき	活性汚泥が死滅し水処理不能に至った場合
	大量の油類が流入したとき	
放流水質異常	放流水透視度悪化(30cm以下)のとき	排出基準を超えるおそれがある場合
	放流水に油膜が発生したとき	
臭 気	異臭が発生したとき	敷地外に臭気が漏洩した場合
	異臭発生の通報があったとき	
場 内 事 故	油類、薬品類及び廃棄物が容器から流出したとき	油類、薬品類及び廃棄物が場外に流出する恐れがある場合
停 電	停電が発生したとき	停電が長時間にわたる場合
		非常用発電機が起動しなかった場合(鬼無里)
汚水流出事故	溢水のおそれがあるとき	溢水した場合
感 染 症	市内に重大な感染症が発生したとき	市内に重大な感染症が集団発生した場合

別表第11（第25条関係）

主な建設工事等

令和6年度

工 事 名	工 事 内 容	備 考
戸隠高原浄化センター 無停電電源装置	バッテリー交換	
豊岡浄化センター 照明設備更新工事 （建設工事）再構築工事	LED化 改築更新	
溶存酸素計	消耗品交換	
鬼無里浄化センター 照明設備更新工事	LED化	
汚水ポンプ	分解整備	
返送汚泥ポンプ	分解整備	
排水ポンプ	更新	
自家発 発電機	分解整備	
鉛蓄電池・触媒栓	更新	
溶存酸素計	消耗品交換	
信州新町浄化センター 照明設備更新工事	LED化	
汚泥ポンプ	更新	
汚泥脱水機	分解整備	
中条浄化センター 照明設備更新工事	LED化	
返流水ポンプ	分解整備	
汚泥供給ポンプ	分解整備	
溶存酸素計	消耗品交換	
無停電電源装置	バッテリー交換	
マンホールポンプ場 マンホールポンプ修繕	更新・分解整備	
計装設備修繕	修繕・更新	

令和7年度

工 事 名	工 事 内 容	備 考
戸隠高原浄化センター 照明設備更新工事	LED化	
自動除塵機	分解整備	
最終沈殿槽汚泥掻寄機	分解整備	
返送汚泥ポンプ	分解整備	
濃縮汚泥掻寄機	分解整備	
汚泥供給ポンプ	分解整備	
薬品供給ポンプ	分解整備	
故障通報装置	更新・クラウド化	
豊岡浄化センター （建設工事）再構築工事	改築更新	
塩混排泥ポンプ	分解整備	
鬼無里浄化センター 故障通報装置	バッテリー交換	
信州新町浄化センター 無停電電源装置	バッテリー交換	
中条浄化センター 濃縮汚泥掻寄機	分解整備	
マンホールポンプ場 マンホールポンプ修繕	更新・分解整備	
計装設備修繕	修繕・更新	

令和8年度

工 事 名	工 事 内 容	備 考
戸隠高原浄化センター		
スカム移送ポンプ	更新・分解整備	
溶存酸素計	消耗品交換	
豊岡浄化センター		
スクリーンユニット	分解整備	
スカム移送ポンプ	分解整備	
故障通報装置	更新・クラウド化	
鬼無里浄化センター		
汚水ポンプ	分解整備	
エアレーション装置	分解整備	
返送汚泥ポンプ	分解整備	
汎用UPS	バッテリー交換	
信州新町浄化センター		
溶存酸素計	消耗品交換	
故障通報装置	バッテリー交換	
中条浄化センター		
汚泥ポンプ	更新	
濃縮汚泥ポンプ	分解整備	
返流水ポンプ	分解整備	
溶存酸素計	更新	
故障通報装置	バッテリー交換	
マンホールポンプ場		
マンホールポンプ修繕	更新・分解整備	
計装設備修繕	修繕・更新	

令和9年度

工 事 名	工 事 内 容	備 考
戸隠高原浄化センター		
揚砂ポンプ	分解整備	
返送汚泥ポンプ	分解整備	
余剰汚泥ポンプ	分解整備	
終沈床排水ポンプ	分解整備	
濃縮汚泥引抜ポンプ	分解整備	
汚泥貯留槽攪拌機	分解整備	
溶存酸素計	更新	
豊岡浄化センター		
溶存酸素計	消耗品交換	
鬼無里浄化センター		
スクリーンユニット	分解整備	
エアレーション装置	分解整備	
溶存酸素計	消耗品交換	
信州新町浄化センター		
汚泥ポンプ	更新	
処理水ポンプ	分解整備	
返流水ポンプ	分解整備	
洗浄水ポンプ	分解整備	
中条浄化センター		
汚泥貯留槽攪拌機	分解整備	
無停電電源装置	バッテリー交換	
マンホールポンプ場		
マンホールポンプ修繕	更新・分解整備	
計装設備修繕	修繕・更新	

令和10年度

工 事 名	工 事 内 容	備 考
戸隠高原浄化センター 管理棟床排水ポンプ	分解整備	
豊岡浄化センター		
鬼無里浄化センター (建設工事)再構築工事	改築更新	
汚泥ポンプ室床排水ポンプ	分解整備	
給水ポンプ	分解整備	
雑用水ポンプ	分解整備	
排水ポンプ	分解整備	
汚泥棟床排水ポンプ	分解整備	
汚泥移送ポンプ	分解整備	
汚泥脱水機	分解整備	
無機凝集剤貯留タンク	分解整備	
故障通報装置	バッテリー交換	
信州新町浄化センター		
汚泥ポンプ室床排水ポンプ	分解整備	
無停電電源装置	バッテリー交換	
中条浄化センター		
スクリーンユニット	分解整備	
汚泥ポンプ室床排水ポンプ	分解整備	
汚泥脱水機	分解整備	
マンホールポンプ場		
マンホールポンプ修繕	更新・分解整備	
計装設備修繕	修繕・更新	

別表第12（第28条関係）

廃棄物の取扱い

種 類	内 容	履行区分	
		発注者	受注者
脱水汚泥	運搬・処理業者との契約	○	
	運搬・処理業者への手配	○	
	運搬業者への積み込み作業 ※1		○
	数量確認		○
	産業廃棄物管理票(マニフェスト)作成		○
	産業廃棄物管理票(マニフェスト)保管	○	
沈 砂 渣	数量確認		○
	搬出、運搬、引渡し ※2		○
事業系廃棄物	発注者に係るもの	○	
	受注者に係るもの		○

※1 脱水汚泥の積み込み作業は、発注者の搬出計画に基づき実施すること。

※2 沈砂は東部浄化センターへ搬出すること。

し渣は一般廃棄物収集運搬業許可（可燃（し渣））を取得のうえながの環境エネルギーセンターへ搬出運搬すること。

別表第13（第29条関係）

負担区分

種 類	内 容	責任分担		備 考
		発注者	受注者	
施設管理	建物清掃・施錠		○	仕様書第3, 4条
	業務履行に伴う薬品・燃料・消耗機材の保管・使用		○	仕様書第4, 12条
事故・災害	業務履行に伴う事故・災害		○	仕様書第10条
	天災等の不可抗力等による事故・災害	○	○	仕様書第24条
法令変更	本委託に直接関係する法令等の変更	○	○	仕様書第13条
諸官庁への手続き	業務履行に係るもの		○	仕様書第14条
市民等への対応	市民、他都市、諸官庁又は報道機関等からの照会、意見、要望、依頼等の対応	○		仕様書第15条
損害の賠償	業務履行に伴い生じた第三者に及ぼした損害		○	仕様書第18条
性能達成要件	想定流入水の範囲内におけるもの		○	仕様書第20, 21条
	想定流入水の範囲外におけるもの	○		
目標管理事項	想定流入水の範囲内におけるもの		○	仕様書第22条
	想定流入水の範囲外におけるもの	○		
環境保全	受注者の責めによる環境への影響		○	仕様書第22, 49条
施設の機能	施設機能の保持・補修及び簡易な修繕		○	仕様書第23, 37, 38条
	上記以外の修繕及び改築	○		仕様書第25条
緊急事態	機器故障・異常流入水等による受注者対応に係るもの		○	仕様書第24条
非常事態	発注者の指示による対応に係るもの	○		仕様書第24条
	上記以外のもの		○	
仕様変更	委託内容の変更に関するもの	○		仕様書第25条
廃棄物の取扱い	業務履行に伴う経費	○	○	仕様書第28条
直接経費	業務履行に伴う経費	○	○	仕様書第36条
消耗品等	受注者が負担する消耗品		○	仕様書第39条
施設の改善	施設設備の改善に伴う経費		○	仕様書第46条
業務の提案	業務の提案に伴う経費		○	仕様書第47条

別表第14(第30条関係)

業務書類

14-1 契約締結時提出書類

	提出書類	提出期限	備 考
1	業務計画書	令和6年2月末日までに	仕様書第5条
2	管理技術者選任届	〃	資格証明書・経歴書添付 仕様書第7条
3	従業員名簿	〃	仕様書第8条
4	各種保険加入届出書	〃	仕様書第19条
5	有資格者選任報告書	〃	仕様書第33条
6	施設機能確認報告書	業務履行開始までに	仕様書第23条
7	その他委託者の指示する書類		

14-2 業務履行時提出書類

	提出書類	提出期限	備 考
1	年間業務履行計画書	前年度14日前	業務計画書に基づく当該年度実施計画
2	月間業務履行計画書	前月3日前	年間業務計画書に基づく当該月実施計画
3	管理技術者代行者選任届	一時不在になる事前	資格証明書・経歴書添付 仕様書第7条
4	再委託計画書	再委託実施前	仕様書第9条
5	行政財産使用届出書	速やかに	仕様書第11条
6	貸与品及び支給品等受領書	受領時	仕様書第12条
7	諸官庁等届出書	速やかに	仕様書第14条
8	設備精密点検・定期整備等実施報告書	〃	仕様書第4条別表第2
9	施設機能異常・故障報告書	〃	仕様書第23条、第37条、指定様式
10	緊急・非常事態対応報告書	〃	口頭報告後速やかに、事項毎に提出 仕様書第24条、指定様式
11	水質・汚泥分析測定結果報告書	〃	仕様書第35条
12	マンホールポンプ場警報対応報告書	〃	仕様書第41条、指定様式
13	その他発注者が指定する書類		

14-3 受注者が整理保存しておく書類

	書 類	整理保存方法	備 考
1	貸与物品等台帳	常備、随時更新	仕様書第12条
2	支給品等受払簿	常備、随時更新	仕様書第12条
3	運転記録	指定場所保管	仕様書第4条
4	提出済書類	常時整理保管	仕様書第31条
5	業務引継書	常時整理(検討、改善、更新)	仕様書第43条
6	施設機能確認報告書(施設台帳)	常備、随時更新	仕様書第23条

別表第15(第31条関係)

業務完了報告書

15-1 月毎提出書類

	提出書類	報告内容	提出日	備考
1	業務一部完了届	-	翌月14日以内	指定様式
2	業務一部完了報告書	維持管理状況概要報告書	〃	-
		性能達成要件報告書		仕様書第21条
		目標管理報告書		仕様書第22条
		保守点検報告書		-
		維持管理月報		指定様式
		業務日誌		指定様式
		施設設備修繕、補修報告書		-
		水質試験結果報告書		仕様書第34条
		業務履行実績報告書		仕様書第4条
	その他必要な書類	-		
3	その他発注者の指示する書類	-	-	-

15-2 年度毎提出書類

	提出書類	報告内容	提出日	備考
1	業務年度完了報告書	年間維持管理報告書	年度末日	-
		年間性能達成状況報告書		-
		年間目標管理報告書		-
		年間業務履行実績報告書		-
		維持管理年報		指定様式
		施設機能確認報告書		仕様書第23条
		年間保守点検報告書		-
		水質試験結果年報		指定様式
		年間エネルギー管理状況報告書		-
				その他必要な書類
2	その他発注者が指定する書類	-	-	-

15-3 契約終了時提出書類

	提出書類	報告内容	提出日	備考
1	業務完了届	-	契約終了日	指定様式
2	業務完了報告書	維持管理実績報告書	〃	-
		業務履行報告書		-
		その他必要な書類		-
3	施設機能確認報告書	-		仕様書第23条
4	業務引継書	-	契約終了30日前	仕様書第43条
5	その他発注者が指定する書類	-	-	-



別表第16（第33条関係）

有資格者の選任

有資格者一覧表

	資 格 名	関 係 法 令	備 考
1	下水道処理施設管理技士	下水道処理施設維持管理業者登録規程第3条第1号で規定する者	常勤
2	安全衛生推進者	労働安全衛生法	選任
3	特別管理産業廃棄物取扱い責任者	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	選任
4	酸素欠乏硫化水素危険作業主任者	労働安全衛生法	作業時選任
5	玉掛け技能講習修了者	労働安全衛生法	作業時選任
6	クレーン運転（5トン未満）特別教育修了者	労働安全衛生法	作業時選任
7	第1種電気工事士	電気工事士法	作業時
8	大型自動車運転免許	道路交通法	作業時
9	普通自動車運転免許	道路交通法	作業時
10	その他業務に必要な資格者		

別表第17 (第34条関係)

水質試験

1 戸隠高原浄化センター水質試験

(1) 日常試験 (週2回)

採取場所	着水井	OD槽	最終沈殿池	返送汚泥ポンプ	塩素接触水路	脱水機
試料	流入水	出口水	—	返送汚泥	放流水	脱水汚泥
気温	最高・最低					
残留塩素					○	
透視度	○		○(越流水)		○	
MLSS(測定器)		○				
RSSS(測定器)				○		
SV		○				
汚泥ゾーン			○			
含水率(水分計)						運転時のみ1日2回(午前・午後)

※OD槽・最終沈殿池については各池毎の試験実施とする。

(2) 週例試験 (週1回)

採取場所	着水井	OD槽	最終沈殿池	返送汚泥ポンプ	塩素接触水路
試料	流入水	出口水	越流水	返送汚泥	放流水
水温・泥温	○	○	○	○	○
pH・EC	○	○	○	○	○
COD・SS	○				
全窒素・全りん	必要に応じて				必要に応じて

※OD槽・最終沈殿池については各池毎の試験実施とする。

(3) 月例試験 (月2回)

採取場所	OD槽出口	汚泥計量分配槽	塩素接触水路
試料	汚泥	返送汚泥	放流水
COD			○
MLSS、MLVSS	○		
RSSS、RSVSS		○	
生物試験	○		

※OD槽・最終沈殿池については各池毎の試験実施とする。

(4) 通日サンプリング (年4回)

採取場所	着水井
試料	流入水
採取方法	オートサンプラー
採水間隔	1時間おき
採水日時	発注者指定日時

※日常試験と合わせて実施するものとし、採水日は発注者が指定する。

※通日サンプリング用オートサンプラーは、発注者が貸与する。

(5) 汚泥試験

採取場所	沈砂掻揚機	移送ポンプ	脱水機入口	脱水機	分離液管
試料	沈砂	重力濃縮汚泥	脱水機供給汚泥	脱水汚泥	脱水分離液
泥温・水温		○	○		○
pH・EC		○	○		○
SS					○
蒸発残留物・有機分		○	○		
汚泥ゾーン		○			
含水率・有機分	○			○	
試験回数	搬出時	2回/月	2回/月	2回/月	2回/月

※重力濃縮汚泥採水時に汚泥ゾーンを測定するものとする。

※脱水汚泥の含水率・有機分は、1回の脱水作業の期間に1回試験することとし、ひと月の脱水作業が1回の場合は試験回数も1回でよいものとする。

## 2 豊岡浄化センター水質試験

### (1) 日常試験 (週 2 回)

採取場所	スクリーンユニット	OD槽	最終沈殿池	汚泥計量分配槽	塩素接触水路	脱水機
試料	流入水	出口水	—	返送汚泥	放流水	脱水汚泥
気温	最高・最低					
残留塩素					○	
透視度	○		○(越流水)		○	
MLSS(測定器)		○				
RSSS(測定器)				○		
SV		○				
汚泥ゾーン			○			
含水率(水分計)						運転時のみ1日2回(午前・午後)

### (2) 週例試験 (週 1 回)

採取場所	スクリーンユニット	OD槽	最終沈殿池	汚泥計量分配槽	塩素接触水路
試料	流入水	出口水	越流出口水	返送汚泥	放流水
水温・泥温	○	○	○	○	○
pH・EC	○	○	○	○	○
COD・SS	○				
全窒素・全りん	必要に応じて				必要に応じて

### (3) 月例試験 (月 2 回)

採取場所	OD槽出口	汚泥計量分配槽	塩素接触水路
試料	汚泥	返送汚泥	放流水
COD			○
MLSS、MLVSS	○		
RSSS、RSVSS		○	
生物試験	○		

### (4) 通日サンプリング (年 4 回)

採取場所	スクリーンユニット
試料	流入水
採取方法	オートサンプラー
採水間隔	1時間おき
採水日時	発注者指定日時

※日常試験と合わせて実施するものとし、採水日は発注者が指定する。

※通日サンプリング用オートサンプラーは、発注者が貸与する。

### (5) 汚泥試験

採取場所	沈砂掻揚機	移送ポンプ	脱水機入口	脱水機	分離液管
試料	沈砂	重力濃縮汚泥	脱水機供給汚泥	脱水汚泥	脱水分離液
泥温・水温		○	○		○
pH・EC		○	○		○
SS					○
蒸発残留物・有機分		○	○		
汚泥ゾーン		○			
含水率・有機分	○			○	
試験回数	搬出時	2回/月	2回/月	2回/月	2回/月

※重力濃縮汚泥採水時に汚泥ゾーンを測定するものとする。

※脱水汚泥の含水率・有機分は、1回の脱水作業の期間に1回試験することとし、ひと月の脱水作業が1回の場合は試験回数も1回でよいものとする。

### 3 鬼無里浄化センター水質試験

#### (1) 日常試験 (週 2 回)

採取場所	着水井	OD槽	最終沈殿池	汚泥計量分配槽	塩素接触水路	脱水機
試料	流入水	出口水	—	返送汚泥	放流水	脱水汚泥
気温	最高・最低					
残留塩素					○	
透視度	○		○(越流水)		○	
MLSS(測定器)		○				
RSSS(測定器)				○		
SV		○				
汚泥ゾーン			○			
含水率(水分計)						運転時のみ1日2回(午前・午後)

※OD槽・最終沈殿池については各池毎の試験実施とする。

#### (2) 週例試験 (週 1 回)

採取場所	着水井	OD槽	最終沈殿池	汚泥計量分配槽	塩素接触水路
試料	流入水	出口水	越流出口水	返送汚泥	放流水
水温・泥温	○	○	○	○	○
pH・EC	○	○	○	○	○
COD・SS	○				
全窒素・全りん	必要に応じて				必要に応じて

※OD槽・最終沈殿池については各池毎の試験実施とする。

#### (3) 月例試験 (月 2 回)

採取場所	OD槽出口	汚泥計量分配槽	塩素接触水路
試料	汚泥	返送汚泥	放流水
COD			○
MLSS、MLVSS	○		
RSSS、RSVSS		○	
生物試験	○		

※OD槽・最終沈殿池については各池毎の試験実施とする。

#### (4) 通日サンプリング (年 4 回)

採取場所	着水井
試料	流入水
採取方法	オートサンプラー
採水間隔	1時間おき
採水日時	発注者指定日時

※日常試験と合わせて実施するものとし、採水日は発注者が指定する。

※通日サンプリング用オートサンプラーは、発注者が貸与する。

#### (5) 汚泥試験

採取場所	自動スクリーン	脱水機	分離液管
試料	脱水機供給汚泥	脱水汚泥	脱水分離液
泥温・水温	○		○
pH・EC	○		○
SS			○
蒸発残留物・有機分	○		
含水率・有機分		○	
試験回数	2回/月	2回/月	2回/月

※脱水汚泥の含水率・有機分は、1回の脱水作業の期間に1回試験することとし、ひと月の脱水作業が1回の場合は試験回数も1回でよいものとする。

#### 4 信州新町浄化センター水質試験

##### (1) 日常試験 (週2回)

採取場所	スクリーンユニット	OD槽	最終沈殿池	汚泥計量分配槽	塩素接触水路	脱水機
試料	流入水	出口水	—	返送汚泥	放流水	脱水汚泥
気温	最高・最低					
残留塩素					○	
透視度	○		○(越流水)		○	
MLSS(測定器)		○				
RSSS(測定器)				○		
SV		○				
汚泥ゾーン			○			
含水率(水分計)						運転時のみ1日2回(午前・午後)

##### (2) 週例試験 (週1回)

採取場所	スクリーンユニット	OD槽	最終沈殿池	汚泥計量分配槽	塩素接触水路
試料	流入水	出口水	越流出口水	返送汚泥	放流水
水温・泥温	○	○	○	○	○
pH・EC	○	○	○	○	○
COD・SS	○				
全窒素・全りん	必要に応じて				必要に応じて

##### (3) 月例試験 (月2回)

採取場所	OD槽出口	汚泥計量分配槽	塩素接触水路
試料	汚泥	返送汚泥	放流水
COD			○
MLSS、MLVSS	○		
RSSS、RSVSS		○	
生物試験	○		

##### (4) 通日サンプリング (年4回)

採取場所	スクリーンユニット
試料	流入水
採取方法	オートサンプラー
採水間隔	1時間おき
採水日時	発注者指定日時

※日常試験と合わせて実施するものとし、採水日は発注者が指定する。

※通日サンプリング用オートサンプラーは、発注者が貸与する。

##### (5) 汚泥試験

採取場所	自動スクリーン	脱水機	分離液管
試料	脱水機供給汚泥	脱水汚泥	脱水分離液
泥温・水温	○		○
pH・EC	○		○
SS			○
蒸発残留物・有機分	○		
含水率・有機分		○	
試験回数	2回/月	2回/月	2回/月

※重力濃縮汚泥採水時に汚泥ゾーンを測定するものとする。

※脱水汚泥の含水率・有機分は、1回の脱水作業の期間に1回試験することとし、ひと月の脱水作業が1回の場合は試験回数も1回でよいものとする。

## 5 中条浄化センター水質試験

### (1) 日常試験 (週 2 回)

採取場所	スクリーンユニット	OD槽	最終沈殿池	汚泥計量分配槽	塩素接触水路	脱水機
試料	流入水	出口水	—	返送汚泥	放流水	脱水汚泥
気温	最高・最低					
残留塩素					○	
透視度	○		○(越流水)		○	
MLSS(測定器)		○				
RSSS(測定器)				○		
SV		○				
汚泥ゾーン			○			
含水率(水分計)						運転時のみ1日2回(午前・午後)

### (2) 週例試験 (週 1 回)

採取場所	スクリーンユニット	OD槽	最終沈殿池	汚泥計量分配槽	塩素接触水路
試料	流入水	出口水	越流出口水	返送汚泥	放流水
水温・泥温	○	○	○	○	○
pH・EC	○	○	○	○	○
COD・SS	○				
全窒素・全りん	必要に応じて				必要に応じて

### (3) 月例試験 (月 2 回)

採取場所	OD槽出口	汚泥計量分配槽	塩素接触水路
試料	汚泥	返送汚泥	放流水
COD			○
MLSS、MLVSS	○		
RSSS、RSVSS		○	
生物試験	○		

### (4) 通日サンプリング (年 4 回)

採取場所	スクリーンユニット
試料	流入水
採取方法	オートサンプラー
採水間隔	1時間おき
採水日時	発注者指定日時

※日常試験と合わせて実施するものとし、採水日は発注者が指定する。

※通日サンプリング用オートサンプラーは、発注者が貸与する。

### (5) 汚泥試験

採取場所	移送ポンプ	脱水機入口	脱水機	分離液管
試料	重力濃縮汚泥	脱水機供給汚泥	脱水汚泥	脱水分離液
泥温・水温	○	○		○
pH・EC	○	○		○
SS				○
蒸発残留物・有機分	○	○		
汚泥ゾーン	○			
含水率・有機分			○	
試験回数	2回/月	2回/月	2回/月	2回/月

※重力濃縮汚泥採水時に汚泥ゾーンを測定するものとする。

※脱水汚泥の含水率・有機分は、1回の脱水作業の期間に1回試験することとし、ひと月の脱水作業が1回の場合は試験回数も1回でよいものとする。

特記：水質試験、汚泥試験は「JIS K 0102」及び下水道試験法に基づき実施する。ただし、本仕様書第46条に基づき効果的な試験方法を提案し、発注者の承諾を得られた場合、その試験方法で測定できる。

別表第18（第36条関係）

直接経費の負担区分

区 分	項 目	内 容	負担区分		備 考
			発注者	受注者	
動力費	使用電力	動力・電灯	○		
薬品費	固形塩素剤(次亜塩素酸カルシウム)	放流水消毒用		○	0.3t/年
	高分子凝集剤	汚泥脱水用		○	2.0t/年
	ポリ硫酸第二鉄	汚泥脱水用・汚泥消臭用		○	14.0t/年
	再生活性炭	脱水機室脱臭設備用	○		
	清掃薬剤類	ワックス等		○	
	除草剤			○	
	消毒剤	樹木用		○	
燃料費	ガソリン	可搬式発電機用(保守・試運転)		○	戸隠高原
		場内機器類・除草用器具類		○	
	混合ガソリン	場内機器類・除草用器具類		○	
	軽油	固定式発電機用(保守・試運転)		○	120L/年(鬼無里)
		移動脱水車用		○	51L/年(豊岡)
	白灯油			○	
	プロパンガス			○	
水道料	上水道		○		
通信費	電話	非常通報装置用	○		
		受託業務に係るもの		○	
	防災情報監視 クラウド型監視	インターネット接続加入及び通信料		○	固定機器は発注者
廃棄物処分費		脱水汚泥	○		
		沈砂	○		
		し渣		○	1.7t/年
		廃油・ウエス・分析系廃棄物・その他(受注者の業務に係るもの)		○	
修繕費		工事・修繕	○		
		補修及び簡易な修繕		○	
水質試験費	機器類	仕様書で定める業務に必要な機器設置費及び維持費	○		
被服費	受注者従業員用	作業服・帽子・靴・防寒服等		○	
安全保護具類	受注者従業員用	ヘルメット・安全靴・マスク・手袋その他必要な保護具		○	
用具・器具類	清掃用具類	仕様書で定める業務用具類		○	
	樹木剪定・除草用具類	仕様書で定める業務用具類		○	
	作業・点検用具類	作業点検工具、器具等(特殊品は除く)		○	
	消火器	別表第2-5で定める消火器		○	
受注者 従業員事務所		事務用品・備品等の設置費及び維持費		○	
貸与車両		各種税金・車検・自賠責保険	○		
		任意保険(移動脱水車)	○		
		任意保険(上記以外)		○	
		燃料・油脂類		○	
その他		別表第2で定める試験・測定・点検・検査等の経費		○	

注(1)：負担区分受注者欄に○印のある項目内容に係る経費は本契約に含まれる。ては各項目の年間使用量の目安とする。

別表第19(第38条関係)

支給する部品材料等

施設場所	機器名	部品・材料	仕様等
施設全般	一軸ねじ式ポンプ	ローター・ステーター	
	ポンプ類	小型ポンプ	
	工業計器部品	各種センサー	
		電極・フロート類	
		指示計・カウンタ	
	機械部品材料	計器類	
		配管類	
		バルブ類	
		圧カスイッチ類	
	電気部品材料	MCB類	
		各種継電器・接触器類	
		CPUユニット類	
		蓄電池補給水	
		電線類・電線管類	
		スイッチ類	
		消防関係機材等	

上記のほか個別協議による。



別表第20（第39条関係）

受注者が負担する消耗品等

	消 耗 品 類	備 考
1	各機器の潤滑油・グリス類	
2	ボルト・ナット類（汎用短小小径で簡易な修繕に伴うもの）	
3	パッキン類（簡易な修繕に伴う汎用なもの）	
4	Vベルト類（汚泥脱水機は除く）	
5	ベアリング類（汎用小径で簡易な修繕に伴うもの）	
6	ヒューズ類（高圧機器類除く）	
7	チャート紙・記録用紙類、業務報告用紙類	
8	記録打出用リボンカートリッジ・記録用インク類、ペン類	
9	機器運転表示ランプ類（LEDは除く）	
10	照明用ランプ・蛍光灯、水銀灯類	
11	ガス検知管類	
12	機器・施設等補修用消耗品（塗料類・絶縁テープ類・ウエス等）	
13	除草など緑地管理に必要な薬品・燃料及び切刃等の消耗品	
14	別表第12の産業廃棄物管理票（マニフェスト）	
15	清掃に必要な薬剤類	
16	トイレ消耗品（トイレトーパー、尿石除去剤、除菌洗浄剤、スリッパ）	
17	受注者が行う水質試験等に使用する器具類・薬品・燃料等	
18	受注者従業員事務所に係る消耗品類	
19	その他業務履行に伴う作業用消耗品	

別表第1-1 (第3条関係)

処理施設の概要

名称	位置	敷地面積(m <sup>2</sup> )	処理開始年月日	処理方式	計画処理面積、処理水量及び処理人口			放流先の名称	マンホールポンプ場
					処理面積	晴天時処理水量	計画処理人口		
戸隠高原浄化センター	長野市戸隠 大字戸隠 1603-1	12,362	平成8年3月28日	オキシデーションディッチ	ha	m <sup>3</sup> /日	人	普通河川 仁王堂川	27箇所
					85	1,128	12,486		
豊岡浄化センター	長野市戸隠 大字豊岡 7033-8	3,351	平成11年3月30日	オキシデーションディッチ	ha	m <sup>3</sup> /日	人	農業用排水路 (一級河川楠川)	30箇所
					112	537	1,594		
鬼無里浄化センター	長野市鬼無里 大字鬼無里 字仲沖2290	2,479	平成10年3月30日	オキシデーションディッチ	ha	m <sup>3</sup> /日	人	坂の沢 (一級河川 裾花川)	15箇所
					47	221	450		
信州新町浄化センター	長野市 信州新町大字 竹房1063	7,516	平成11年3月27日	オキシデーションディッチ	ha	m <sup>3</sup> /日	人	北沢排水路	11箇所
					88	763	1,510		
中条浄化センター	長野市 中条日高341	8,024	平成14年9月1日	オキシデーションディッチ	ha	m <sup>3</sup> /日	人	土尻川	38箇所
					60	457	860		

各処理場の位置図：別紙

主要施設一覧表

1. 戸隠高原浄化センター主要設備一覧表

1) 構造物

戸隠高原 (1 / 6)

名称	数量	構造	規格・仕様	備考
管理棟	1	R C造 地下1階、地上2階 床面積 1247.6 m <sup>2</sup>	地下1階・・・汚泥濃縮槽、汚泥貯留槽、ポンプ室 地上1階・・・沈砂池、水質試験室、搬出室、電気室 地上2階・・・管理制御室、会議室、事務室、換気機械室	前沢工業㈱
オキシデーションディッチ	2	R C造	巾 5.0m × 水路長135m × 水深 2.6m	
最終沈澱池	2	R C造、円形放射流式	Φ17.0m × 水深 3.0m	
塩素混和池	1	R C造、長方形多列迂回流式	巾1.1m × 水深1.5m × 長さ23m	
汚泥濃縮タンク	1	R C造、円形放射流式 Φ4.0m × 3.0m	Φ4.0m × 3.0m	
汚泥貯溜タンク	1	R C造、矩形	巾4.0m × 長さ3.7m × 高さ2.5m	

## 2) 機械設備(水処理)

戸隠高原(2/6)

名称	数量	構造	規格・仕様	備考
流入ゲート	2	鋳鉄製角型手動外ねじ式	400W×600H	前沢工業株
粗目スクリーン	1	手掻式バースクリーン	目巾75mm 水路寸法 1000W×2200H 円筒スクリーン脱水機構付き	〃
自動除塵機	1	脱水機構付レーキ回転式	スクリーン目巾 5.0 mm	西原環境衛生
細目スクリーン	1	手掻式バースクリーン	目巾30mm 水路寸法 1000W×2200H	前沢工業株
分水槽可動堰	2	鉄製角型手動可動堰	中央駆動チェーン吊り下げ式	〃
揚砂ポンプ	1	水中汚泥ポンプ	Φ80mm×0.5m <sup>3</sup> ×16m 3.7kW×200v×60Hz	〃
沈砂分離機	1	サイクロン形	処理量 0.5m <sup>3</sup> /min	大機ゴム工業
搬出用チェーンブロック	1	電動チェーンブロック	容量0.5t	(株)キトー
流出ピット連絡ゲート	1	鋳鉄製丸型手動外ねじ式	Φ400mm	前沢工業株
曝気装置		スクリー式機械式曝機装置		日立機電
	4	嫌気-好気兼用機 (スパーター-エス)	電動機出力9.0kW×200v×60Hz	
	4	好気専用機(スパーター)	電動機出力5.5kW×200v×60Hz	
デッチ流出可動堰	2	鋳鉄製手動可動堰	1000w×300s	前沢工業株

## 2) 機械設備(水処理)

戸隠高原(3/6)

名称	数量	構造	規格・仕様	備考
曝気装置用チェーンブロック	3	ギヤードトロリー付きチェーンブロック	容量1t	(株)キトー
終沈流入ゲート	2	鋳鉄製丸型手動外ねじ式	Φ400 3.0~9.1m <sup>3</sup> /h 3.7kW×200V×60Hz	前沢工業㈱
終沈汚泥掻寄せ機	2	中央駆動支柱式(スカムスキマー付き) 槽寸法Φ17000mm×水深3000mm	0.4kW×200V×60Hz	〃
返送汚泥ポンプ	4	無閉塞スクリーユ渦巻水中ポンプ	Φ100mm×1.2m <sup>3</sup> /min×15m(可変速式) 7.5kW×200V×60Hz	大平洋機工
余剰汚泥ポンプ	2	吸込スクリーユ付汚泥ポンプ	Φ100mm×0.7m <sup>3</sup> /min×16m 5.5kW×200V×60Hz	大平洋機工
1スカム移送ポンプ	1	吸込スクリーユ付水中ポンプ	Φ100mm×0.5m <sup>3</sup> /min×15m 7.5kW×200V×60Hz	大平洋機工
2スカム移送ポンプ	1	〃	〃	新明和工業
終沈床排水ポンプ	1	水中汚水ポンプ	Φ65mm×0.3m <sup>3</sup> /min×7m 1.5kW×200V×60Hz	荏原製作所
終沈ポンプ室 搬出入用チェーンブロック	1	ギヤードトロリー付きチェーンブロック	容量1 t	(株)キトー
塩素接触タンク流入ゲート	1	鋳鉄製角型手動外ねじ式	300W×300H	前沢工業㈱
塩素接触タンクバイパスゲート	1	鋳鉄製角型手動外ねじ式	300W×300H	〃
塩素接触装置	1	水路設置型	70kg入	日本曹達

## 2) 機械設備 (水処理)

戸隠高原 (4/6)

名称	数量	構造	規格・仕様	備考
自動給水装置	1	圧力タンク式自動給水装置	0.5m <sup>3</sup> /min	荏原製作所
処理水ストレーナー	1	自動洗浄式 処理流量	0.5m <sup>3</sup> /min	旭機械製作所
給水ポンプ吊上用チェーンブロック	1	手動チェーンブロック	容量1 t	(株)キトー
管理棟床排水ポンプ	2	水中汚水汚物ポンプ	Φ65mm×0.3m <sup>3</sup> /min	荏原製作所
脱臭塔	1	活性炭吸着塔	風量20m <sup>3</sup> /min	北炭化成工業
脱臭ファン	1	片吸込ターボファン	風量20m <sup>3</sup> /min	セイコー化工機
汚泥濃縮クワ搔寄機	1	中央駆動懸垂形 (スカムスキマー付き) 槽寸法 Φ4000mm×水深3000mm	0.4kW×200v×60Hz	前沢工業株
濃縮汚泥引抜きポンプ	2	横軸無閉塞型	Φ60mm×0.7m <sup>3</sup> /min×5m	大平洋機工
上水槽受水槽	1	FRP製パネルタンク	有効容量2m <sup>3</sup>	積水プラント

## 2) 機械設備(汚泥処理)

戸隠高原(5/6)

名称	数量	構造	規格・仕様	備考
脱水機	1	パッケージ型遠心脱水機	処理量7m <sup>3</sup> /h	前沢工業㈱
脱水ケーキホッパー	1	鋼板製角型電動カットゲート式	有効容量 5m <sup>3</sup>	前沢工業㈱
汚泥供給ポンプ	2	一軸ネジ式ポンプ	Φ80mm×58~175L×10m 1.5kW×200V×60Hz	兵神装備
薬品供給機	2	可変連続定量供給機	最大0.6L/min ホッパー 10L	前沢工業㈱
薬品溶解タンク	2	鋼板製円筒立型ミキサー付	有効容量 2m <sup>3</sup>	前沢工業㈱
薬液供給ポンプ	2	一軸ネジ式ポンプ	Φ32mm×2.5~28L/min×20m 0.75kW×200V×60Hz	前沢工業㈱
脱水機点検用チェンブロック	1	ギヤードトロリー付きチェンブロック	容量 5 t	(株)キトー

## 3) 電気設備

戸隠高原 (6 / 6)

名称	数量	構造	規格・仕様	備考
高圧受変電設備				
柱上高圧気中開閉器	1	過電流ロック形高圧気中開閉器	方向性地絡保護制御装置付 7.2kV 300A 160MVA	戸上電機
引込受電盤	1		断路器 7.2kV 200A 真空遮断器 7.2kV 600A 12.5kA	富士電機
主変圧器盤	1	主変圧器 モールド型 3Φ3W	6.600/210V 200kVA	富士電機
低圧閉鎖配電盤				
自家発切替盤	1		φ3 DTMC 600A	富士電機
低圧主幹盤	1	照明変圧器 モールド型	210/210-105 20kVA	富士電機
コントロールセンター	1			富士電機
運転操作設備				
シーケンスコントローラ	2	計装盤 水処理SQC盤	シーケンサFPU120S-A10(1995年製 H24年度修繕済)	富士電機
	5	計装盤 水処理RY盤、汚泥処理RY盤	シーケンサFTL010H-A10(2000年製 H24年度修繕済)	富士電機
計装設備				
計装盤	1			富士電機
溶存酸素計	2	光学式(蛍光式)	変換器リラインCM442 センサCOS61D 酸素0~20mg/l	エントレスハウサー・ジャパン
放流流量計	1	潜水形電磁流量計	NNK140-0200K80A-A2 口径200A MGG10C-M1995J-1B1X	アズビル
無停電電源装置	1	小容量無停電電源装置	3kVA 入力 100V 出力 100V	GSユアサ
	1			
現場操作盤	1	曝気機操作盤ほか		富士電機



2. 豊岡浄化センター主要設備一覧表

1) 構造物

豊岡 (1 / 4)

名称	数量	構造	規格・仕様	備考
管理庫	1	R C造 地上1階 床面積 20.25m <sup>2</sup>	監視操作室	(株)タクマ
汚泥脱水棟	1	S造 地上1階 床面積 83.57m <sup>2</sup>	汚泥脱水室	
オキシゲーションテイッチ・最終沈澱池	1	プレハブ式円環状循環水路	巾6.0m × 長 61.6m × 深 3.0m 容量 = 1100 m <sup>3</sup> 最終沈澱池内径Φ13.3 m 容量 = 139m <sup>3</sup>	
汚泥ポンプ室	1	R C造 半地下式	巾2500mm × 長4000mm × 深2400mm F F Uスライド式カバー付	
塩素混和池	1	平行流長方形池	巾1500mm × 長132000mm × 深1200mm	
汚泥濃縮槽	1	R C造	巾2500mm × 長2500mm × 深4500mm	
汚泥貯溜槽	1	R C造	巾4000mm × 長4000mm × 深2700mm	
終沈スカムピット	1	R C造	Φ1500mm × 深3790mm	

## 2) 機械設備

豊岡 (2 / 4)

名称	数量	構造	規格・仕様	備考
スクリーンユニット	1	脱水機構付き裏掻きスクリーンユニット	2.5m <sup>3</sup> /min 0.84kW×200V×60Hzスクリーン目巾 2.5 mm	コミュニーターサービス
エアレーション装置	6	スクリー型機械式曝気装置 (空気遮断弁付)	電動機出力 4.5kW×200V×60Hz	日立機電工業
修沈汚泥掻き寄せ機	1	中央駆動チェーン吊り下げ式	0.4kW×200v×60Hz 速度2.3m/分	(株) タクマ
塩素接触装置	1	湿式固形塩素剤溶解器	0.76m <sup>3</sup> /分以上 0.37kg/時以上	日本曹達
返送汚泥ポンプ	2	槽外立軸無閉塞型	Φ100mm 0.77m <sup>3</sup> /min 8m 2.2kW×200V×60Hz	相互ポンプ
汚泥計量分配槽	1	SUS鋼板製 角型槽	W1000×H2000×V1100	(株) タクマ
濃縮汚泥掻き寄せ機	1	中央駆動式	速度2.0m/分 0.4kW×200v×60Hz	〃
濃縮汚泥ポンプ	1	一軸ネジ式汚泥ポンプ	Φ80mm 0.18m <sup>3</sup> /min 2.2kW×200V×60Hz	兵神装備
汚泥貯溜槽攪拌機	1	水中ミキサー	羽根径Φ190mm 1.3kW×200v×60Hz 4.2m <sup>3</sup> /h	鶴見製作所
脱臭装置	2	立形上向流吸着式	処理風量0.84m <sup>3</sup> /分	(株) タクマ
汚泥観察槽	1	SUS鋼板製	Φ600mm×700mmH	〃
汚泥供給ポンプ	1	水中汚泥ポンプ	Φ80mm 0.3m <sup>3</sup> /min 8m 2.2kW×200v×60Hz	鶴見製作所

## 2) 機械設備

豊岡 (3/4)

名称	数量	構造	規格・仕様	備考
スカム移送ポンプ	2	吸込スクリー式水中ポンプ	Φ80mm×0.5m <sup>3</sup> /min×6m 1.5kW×200V×60Hz	〃
ポンプ吊上用チェンブロック	1	門型支柱型 ビーム付	0.9kW×200V×60Hz 0.5t	象印チェンブロック
自動給水装置	1	圧力タンク式水中ポンプ×2台	Φ40mm×0.18m <sup>3</sup> /min×30m 2.2kW×200V×60Hz	日立製作所
処理水ストレーナー	1	自動洗浄式	Φ50mm 6.6m <sup>3</sup> /時 0.1kW×200V×60Hz	旭機械製作所
塩混排泥ポンプ	1	水中渦巻ポンプ	Φ50mm×0.12m <sup>3</sup> /分×8m 0.48kW×200V×60Hz	鶴見製作所
移動式汚泥脱水車	1	型式：アルミカバー付特装車（6トン車） 脱水型式：ベルトプレス型（有効ろ布幅1m）	寸法：長さ8.19m×幅2.45m×高さ3.395m 総重量：約12トン 能力：100kg - ds/m <sup>2</sup> ・h以上 補機：油圧ユニット （タンク容量30l、油圧ポンプ70kg/cm <sup>2</sup> ×0.75kW）	
		処理能力	100～150kg - ds/m <sup>2</sup> ・h	
		汚泥含水率	80%	

## 3) 電気設備

豊岡 (4 / 4)

名称	数量	構造	規格・仕様	備考
高圧受変電設備 柱上高圧気中開閉器	1	過電流ロック形高圧気中開閉器	方向性地絡保護制御装置付 7.2kV 300A 160MVA	戸上電機
引込受電盤 (屋外自立型)	1		断路器 7.2kV 200A真空遮断器 7.2kV 600A 12.5kA	富士電機
主変圧器盤 (屋外自立型)	1	主変圧器 モールド型	3Φ3W 6.600/210V 75kVA	富士電機
低圧閉鎖配電盤 動力制御盤 (屋外自立型)	1	照明変圧器 モールド型	210/210-105 10kVA	富士電機
運転操作設備 監視操作盤	1			富士電機
計装設備 放流流量計	1	潜水形電磁流量計	NNK140-0050K80A-A2 口径50A ダミー×4 MGG10C-MH7K-1B1X-X	アズビル
溶存酸素計	1	光学式(蛍光式)	変換器リキSM COM223 センサCOS61 酸素0～20mg/l	エントレスハウサーージャパン
非常通報装置	1			大興電機
脱水車電源盤	1			富士電機
作業電源盤	1			富士電機

3. 鬼無里浄化センター主要設備一覧表

1) 構造物

鬼無里 (1 / 5)

名称	数量	構造	規格・仕様	備考
管理室	1	R C造、地下1階、地上2階 床面積 508.5 m <sup>2</sup>	地下1階・排水槽、汚泥濃縮槽、汚泥貯留槽、ポンプ室 地上1階・水質試験室、脱水機室、発電機室 地上2階・監視・電気室	
流入ポンプ井	1	4号マンホール	内径 1.8 m 深さ m 容量 m <sup>3</sup>	
オキシレーションタンク・最終沈澱池	2	プレハブ式円環状循環水路	巾 3.1 m × 長 32.7 m × 深 3.0 m 容量 304 m <sup>3</sup> 最終沈澱池内径 7.0 m 容量	
汚泥ポンプ室	1	R C造 半地下式	巾3.1m × 長5.6m × 深2.7m F F U式スライドカバー付き	
塩素混和池	1	平行流長方形池	巾 1.5 m × 長 8.0 m × 深 2.0 m	

## 2) 機械設備 (水処理)

鬼無里 (2 / 5)

名称	数量	構造	規格・仕様	備考
汚水ポンプ	2	吸込スクルー式水中汚水ポンプ 着脱装置、ベルマウス付き	Φ80 mm × 0.9 m <sup>3</sup> / min 電動機出力 2.2kW×200V×60Hz	新明和工業
スクリーンユニット	1	脱水機構付裏搔スクリーンユニット	1.0 m <sup>3</sup> /min 0.7kW×200V×60Hz スクリーン目巾 2.5 mm	コミュニーターサービス
エアレーション装置	4	スクルー形機械式曝気装置 (空気遮断弁付)	電動機出力 4.5kW×200V×60Hz	日立機電工業
終沈汚泥掻き寄せ機	1	中央駆動チェーン吊り下げ式	0.2kW×200V×60Hz速度1.2m~2.5m/分	川崎重工業
塩素接触装置	1	湿式固形塩素剤溶解器	0.42m <sup>3</sup> /分以上	日本曹達
返送汚泥ポンプ	2	槽外立軸無閉塞型	Φ80mm 0.25m <sup>3</sup> /min 2.2kW×200V×60Hz	新日本造機
汚泥計量分配槽	1	SUS鋼板製 角型槽	W1000×H2000×V1100	コミュニーターサービス
1 排水ポンプ	1		Φ80mm × 0.4 m <sup>3</sup> / min 2.2kW×200V×60Hz	新明和工業
2 排水ポンプ	1		Φ80mm × 0.5 m <sup>3</sup> / min 2.2kW×200V×60Hz	西島製作所
機器吊上げ機	1	ギヤードトローリ付手動チェーンブロック	1.0t × 8mH	(株) キトー
給水ユニット	1	圧力タンク式給水ユニット 水中ポンプ2台	Φ40mm 1.5kW×200V×60Hz 0.1m <sup>3</sup> /min×22m	川本製作所
処理水ストレーナー	1	自動洗浄式	Φ50mm 0.1m <sup>3</sup> /min 0.4kW×200V×60Hz	旭機械製作所
床排水ポンプ	2	水中汚水汚物ポンプ	Φ65mm 0.3m <sup>3</sup> /分 1.5kW×200V×60Hz	新明和工業
脱臭装置	1	立形上向流吸着式	処理風量0.18m <sup>3</sup> /分	北炭化成工業

## 2) 機械設備 (汚泥処理)

鬼無里 (3 / 5)

名称	数量	構造	規格・仕様	備考
汚泥移送ポンプ	3	水中汚泥ポンプ	$\phi 80\text{mm} \times 0.14\text{m}^3/\text{min} \times 3.5\text{m}$ 1.5kW $\times 200\text{V} \times 60\text{Hz}$	鶴見製作所
汚泥脱水機	1	多重板型スクリーブレス脱水機	$\phi 200\text{mm} \times 1\text{本}$ 7.0kg-DS/本・h	鶴見製作所
無機凝集剤貯留タンク	1	ポリエチレン製タンク	$\phi 1290 \times 1315\text{H}$ 1.5 $\text{m}^3$	スイコー
濃縮汚泥掻き寄せ機 (休止中)	1	中央駆動式	速度1.5m $\sim 2.5\text{m}/\text{分}$ 2.2kW $\times 200\text{V} \times 60\text{Hz}$	川崎重工業
濃縮汚泥ポンプ (休止中)	2	一軸ネジ式汚泥ポンプ	$\Phi 80\text{mm}$ 0.18 $\text{m}^3/\text{min}$ 2.2kW $\times 200\text{V} \times 60\text{Hz}$	古河機械金属
汚泥貯溜槽攪拌機 (休止中)	2	水中ミキサー	羽根径 $\Phi 180\text{mm}$	日立機電工業
汚泥供給ポンプ (休止中)	2	一軸ネジ式汚泥ポンプ	$\Phi 80\text{mm}$ 3.0 $\sim 9.1\text{m}^3/\text{h}$ 3.7kW $\times 200\text{V} \times 60\text{Hz}$	古河機械金属

## 3) 電気設備

鬼無里 (4 / 5)

名称	数量	構造	規格・仕様	備考
高圧受変電設備 柱上高圧気中開閉器	1	過電流ロック形高圧気中開閉器	方向性地絡保護制御装置付 7.2kV 300A 160MVA	戸上電機
引込受電盤 (HC-1)	1		断路器 7.2kV 200A真空遮断器 7.2kV 600A 12.5kA	富士電機
変圧器盤 (HC-2)	1	主変圧器 モールド型	3Φ3W 6.600/210V 150kVA	富士電機
低圧閉鎖配電盤 自家発切替盤	1		3Φ DTMC 600A	富士電機
低圧分岐盤 (LC-1)	1	照明変圧器 モールド型	210/210-105 20kVA	富士電機
運転操作設備 動力制御盤 (LP-1)	1	1系水処理設備動力制御盤		富士電機
動力制御盤 (LP-2-1)	1	2系水処理・共通設備動力制御盤 (1)		
動力制御盤 (LP-2-2)	1	2系水処理・共通設備動力制御盤 (2)		
計装設備 溶存酸素計	2	蛍光式溶存酸素計	COS61D-AAA1B3 / CM442-AAN2A2F412BAL	エンドレスハウザー
汚泥供給流量計	1	一般形電磁流量計 φ50mm	MGG10C-MH3J-1A1X-X MGG11F-050PJ11LS4ACA-X-X	アズビル
放流流量計	1	潜水型電磁流量計	NNK140-0100K80A-A2 口径100A ダミー×1 MGG10C-MB7J-1A3X-X	アズビル



## 3) 電気設備

鬼無里 (5 / 5)

名称	数量	構造	規格・仕様	備考
自家用発電設備				
動力機関	1	ディーゼルエンジン	98PS 5785CC 1800rpm	いすゞ自工
発電機	1	三相同期発電機	75kVA 60Hz 210V 206A	富士電機
	1	バッテリー	HS120-6E	富士電機
燃料タンク	1	軽油	390L	富士電機
汎用UPS (UPS-N1)	1		型式 : THA2000-45 2kVA 入力 100V 出力 100V	GSユアサ

4. 信州新町浄化センター主要設備一覧表

1) 構造物

信州新町 (1/10)

名称	数量	構造	規格・仕様	備考
管理棟	1	R C造 地上2階 地下1階 床面積 311.95m <sup>2</sup>	地上1階：電気室、事務室、排気機械室・地上2階：ホッパ-室・ 地下1階：汚泥貯留槽、返流水槽	アタカ工業
オキシデーションテ-ィツチ・最終沈澱池	1	フ-レハブ式円環状循環流水路	巾 5.4 m × 長 55.6 m × 深 3.0 m 容量 901 m <sup>3</sup> 最終沈澱池内径 12.0 m 容量	アタカ工業
塩素混和池	1	R C造、平行流長方形池（水路形式塩素接触タ-ク）	巾1.2m×長24.5m×深0.7m×1水路	アタカ工業
汚泥ポンプ室	1	R C造 半地下式	巾2500mm × 長4000mm × 深2400mm F F Uスライド式カバー付	アタカ工業
汚泥濃縮槽	1	R C造、重力式濃縮槽	巾2500mm × 長2500mm × 深4500mm	アタカ工業
汚泥貯留槽	1	R C造	巾2500mm × 長2500mm × 深4500mm	アタカ工業
スクリーンユニット	1	脱水機構付裏かきスクリーンユニット	(SKC-P) 最大処理量：2.5m <sup>3</sup> /min 目幅：2.5mm 0.9kW×200V×60Hz	日立機電
エアレーション装置	4	スクレ-形機械式曝気装置（空気遮断弁付）	(スハ-ロータ- SRA45N) 電動機出力 4.5kW×200V×60Hz	日立機電
汚泥かき寄せ機	1	中央駆動チェーン吊下げ式	槽寸法：φ12m×H3m 0.4kW×200V×60Hz 速度1.5m~2.5m/分	日立プラント

## 2) 機械設備(水処理)

信州新町(2/10)

名称	数量	構造	規格・仕様	備考
汚泥ポンプ	2	槽外定置式立軸無閉塞型汚泥ポンプ	(ヒトロスタル水中ポンプ D3K-L-1.56) φ80×0.64m <sup>3</sup> /min×3.0m 1.5kW×200V×60Hz	大太平洋機工
汚泥ポンプ室床排水ポンプ	1	フロート式水中汚水ポンプ	(CRA32DS-P50) φ32×0.08m <sup>3</sup> /min×4m 0.15kW×100V×60Hz	新明和工業
汚泥計量分配槽	1	ステンレス鋼板製角型槽	巾1000mm×長2000mm×深800mm	アタカ工業
塩素接触装置	1	固形塩素接触装置(水路設置型)	処理水量:1.2m <sup>3</sup> /分以上 塩素溶解量:0.2kg/時以上 充填量:5.6kg以上 材質:PVC	関西化工
処理水ポンプ	2	水中汚水ポンプ	(CNL501-P50) φ50×0.15m <sup>3</sup> /min×5m×0.75kW	新明和工業
混和池ハイスケート	1	鋳鉄製外ネジ式制水扉	(GS-RJ-300×300) 300mm×300mm ストローク336mm	クボタ
観察槽	1	ステンレス鋼板製円筒槽	φ600mm×H700mm	アタカ工業
処理水ポンプ吊上げ機	1	自立門形	定格0.5t×揚2.5m	
吸着塔	1	カートリッジ式活性炭吸着塔	キャットトリ-式手動チェンブ-付属	
脱臭ファン	1	FRP製ターボブロワ	2.2kW	

## 3) 機械設備(汚泥処理)

信州新町 (3/10)

名称	数量	構造	規格・仕様	備考
濃縮汚泥ポンプ	1	一軸シ式汚泥ポンプ	(NE50PM) $\phi 80 \times 0.18 \text{m}^3/\text{min} \times 10 \text{m}$ 2.2kW $\times 200 \text{V} \times 60 \text{Hz}$	兵神装備
汚泥供給ポンプ	1	水中汚泥ポンプ	(CN80G-P80B) $\phi 80 \times 0.3 \text{m}^3/\text{min} \times 12 \text{m}$ 3.7kW $\times 200 \text{V} \times 60 \text{Hz}$	新明和工業
返流水ポンプ	2	吸込みスクュー式水中ポンプ	(CW100-P100G) $1.3 \text{m}^3/\text{min} \times 7.0 \text{m}$ 5.5kW $\times 200 \text{V} \times 60 \text{Hz}$	新明和工業
汚泥攪拌機	1	水中ミキサ	(SR4400) 槽寸法：巾2500mm $\times$ 長2500mm $\times$ 深4700mm (水深3800mm) 羽根径：210mm 1.1kW $\times 200 \text{V} \times 60 \text{Hz}$	新明和工業
汚泥貯留槽連絡ゲート	1	鋳鉄製外シ式角形制水扉	(GS-RJB-200 $\times$ 200) W200mm $\times$ H200mm ストローク：200mm	クボタ
ポンプ吊上げ機	1	自立門形	手動式チェーンブロック定格0.5t $\times$ 揚程2.5m $\times$ 横行3.5m	アタカ工業
汚泥供給ポンプ吊上げ機	1	自立門形	手動式チェーンブロック定格0.5t $\times$ 揚程2.5m チェーン長2.0m	アタカ工業

## 4) 機械設備(汚泥処理)

信州新町 (4/10)

名称	数量	構造	規格・仕様	備考
汚泥脱水機	1	形式：多重板型スクレープレス脱水機 汚泥性状：OD標準汚泥	CDM - 202 - 1 機番 H1008105 1.975kW 重量：1.65 t / 2.9 t (乾燥/運転) TS - 0.3% VTS - 82.0~75.0% 処理能力：7.0kg - DS/時 スクレープ本数：1本 (将来 2本) φ200 薬注率：無機凝集剤 (ホリ鉄) 15%以下 高分子凝集剤 3.0%以下 ケーキ含水率：83WB%以下	鶴見製作所
自動スクリーン	1	形式：自動連続掻揚式バースクリーン	KE - 200SR - 5 25w 目幅：5mm 処理水量：41m <sup>3</sup> /h 重量：19kg	鶴見製作所
汚泥サービスタンク	1	形式：ステンレス製角型タンク	攪拌ポンプ0.15m <sup>3</sup> /min 給泥ポンプ0.15m <sup>3</sup> /min 寸法：1870L×1320W×500H 容量：900L (有効容量500L)	鶴見製作所
汚泥供給ポンプ	1	形式：水中汚泥ポンプ	ハイスピードポンプ 50PU2.25 - 62 φ50mm*0.25kW0.13me/min*4m 重量6.1kg	鶴見製作所

## 5) 機械設備(汚泥処理)

信州新町 (5/10)

名称	数量	構造	規格・仕様	備考
汚泥サージスタック攪拌ポンプ		形式：水中汚泥ポンプ	ハイスピードポンプ 50PU2.4 - 62 0.4kW φ50mm*0.15m <sup>3</sup> /min*6.5m 重量7kg	鶴見製作所
凝集混和タンク		形式：ステンレス製角型タンク	寸法：430L×430W×1000H 容量：150L 攪拌機：ギアモーター（ツバキエマソン）0.4kW HMTA040 - 30H25ZW インバーター制御	鶴見製作所
計量タンク		形式：ステンレス製角型タンク	寸法：330L×220W×750H 容量：40L	鶴見製作所
脱水機本体		スクリー本数：200型1本 インバーター制御	減速機：ギアモーター（ツバキエマソン）0.2kW HMTA020 - 45H720ZW	鶴見製作所
洗浄弁		形式：ボール式電動弁（スプリングリターン）	BM - 8SR 200V 12w 口径：φ25mm	ベン

## 6) 機械設備(汚泥処理)

信州新町 (6 / 10)

名称	数量	構造	規格・仕様	備考
高分子凝集剤溶解タンク	1	形式：ステンレス製角型タンク	寸法：400L×400W×1020H 容量：150L (1回当り自動溶解容量50L) 攪拌機：HMTA020 - 30H5W      ギアモーター (ツバキエマソン) 0.2kW	鶴見製作所
高分子凝集剤供給ポンプ	1	形式：ダイヤフラムポンプ	SXDA1 - 43 - VTC - FWX      口径：φ25mm      0.2kW 最大吐出圧：0.25MPa      重量：11kg	タクミナ
給水弁	1	形式：ボール式電動弁 (スプリングリターン)	BM - 8SR    200V    12w      口径：φ20mm	ベン
汚泥脱水機制御盤	1	形式：屋内自立型	寸法：300L×800W×1600H 定格電圧：動力200V×3φ    制御100V×1φ 負荷出力：1.675kW 口径：φ25mm      BM - 8SR    200V    12w	鶴見製作所

## 7) 機械設備(汚泥処理)

信州新町 (7/10)

名称	数量	構造	規格・仕様	備考
高分子凝集剤原液装置 高分子凝集剤原液貯留タンク	1	形式：ステンレス製角型タンク	寸法：650L×650W×690H 容量：250L 攪拌機：キアモーター (ツハキエマソン) 0.1kW HMTA010 - 30H10W	鶴見製作所
高分子凝集剤原液移送ポンプ	1	形式：ダイヤフラムポンプ	SXDA1 - 62 - VTS - FVX 0.1kW 口径：φ20mm 吐出量：72～720ml/分 最大吐出圧：1.0MPa 重量：9kg	タクミナ
凝集剤原液装置操作盤	1	形式：屋内自立型	寸法：250L×600W×800H 定格電圧：動力200V×3φ 制御100V×1φ 負荷出力：0.3kW	鶴見製作所
無機凝集剤供給装置 無機凝集剤供給ポンプ	1	形式：ダイヤフラムポンプ	SXDA1 - 22 - VTC - FWX 0.1kW 口径：φ15mm 吐出量：24～240ml/分 最大吐出圧：1.0MPa 重量：8.5kg	タクミナ



## 8) 機械設備(汚泥処理)

信州新町(8/10)

名称	数量	構造	規格・仕様	備考
無機凝集剤供給装置 無機凝集剤供給ポンプ	1	形式：ダイヤフラムポンプ	SXDA1 - 22 - VTC - FWX      0.1kW 口径：φ15mm      吐出量：24～240ml/分 最大吐出圧：1.0MPa      重量：8.5kg	タクミナ
無機凝集剤貯留タンク	1	形式：ポリエチレン製立形槽	寸法：1815φ×1636H 容量：最大貯留量3.0m <sup>3</sup> （空容量3.8m <sup>3</sup> ） HMTA040 - 30H25ZW      インバーター制御	ダイライト

## 9) 機械設備(汚泥処理)

信州新町 (9/10)

名称	数量	構造	規格・仕様	備考
ケーキホッパー	1	形式：角型カットゲート式	寸法：2350L×2000W×3080H 容量：呼称容量8.0m <sup>3</sup> （空容量11.97m <sup>3</sup> ） 開閉方式：モートルシリンダー 1.5kW×2台 DGN4T - 5J（コスミック工業） ストローク 500mm 重量検出器：ポットセル式（日本アトテック） 点検口：上部4箇所 350×500 制御盤：屋外自立型 450×700×1750	アタカ工業
脱水機用吊上機	1	形式：手動式チェーンブロック	HGB50A - 010                    定格荷重：1.0 t 揚程：8m 操作チェーン長さ：3m ビームサイズ：I - 200×100×7×10	ニッチ
洗浄水ポンプ	1	形式：ラインポンプ	PSS - 326 - 0.75                    0.75kW 口径：φ32mm                    吐出量：0.066m <sup>3</sup> /分 全揚程：20m                    重量：25kg	川本製作所

## 10) 電気設備

信州新町 (10/10)

名称	数量	構造	規格・仕様	備考
高圧受変電設備				
柱上高圧気中開閉器	1	過電流ロック形高圧気中負荷開閉器	方向性地絡保護制御装置付 7.2kV 300A 160MVA	戸上電機製作所
引込受電盤	1	<HP-1>	断路器 7.2kV 400A 14kA 真空遮断器 7.2kV 600A 12.5kA	富士電機株 富士電機株
変圧器盤	1	<HP-2>	モールド型 3φ 6,600/210V 100kVA	富士電機株
低圧閉鎖配電盤				
低圧分岐盤	1	<LP-1>	進相コンデンサ 11kvar×2 電灯変圧器 モールド型 3φ 210/210-105V 20kVA	富士電機株 富士電機株
水処理動力制御盤	1	<LC-1N、2N>		メタウォーター
汚泥処理動力制御盤	1	<LC-3>		メタウォーター
計装設備				
溶存酸素計	1	浸漬型DO計	OC-711	DKK電気化学計器
放流流量計	1	潜水形電磁流量計	NNK140-0100K80A-A2 口径100A MGG10C-MH7K-1B1X-X	アズビル
その他				
無停電電源装置	1台	<UPS-1> 小容量無停電電源装置	1kVA/0.8kW 入力 100V 出力 100V 単相2線	富士電機

5. 中条浄化センター主要設備一覧表

1) 構造物

中条 (1 / 4)

名称	数量	構造	規格・仕様	備考
管理棟 床面積393.36㎡ (1F:327.47㎡, 2F:65.89㎡)		地上1階：電気室、事務室、排気機械室・地上2階：ホッパ室、換気機械室・地下1階：汚泥貯留槽、返流水槽		アタカ大機
流入管		SUS φ200		アタカ大機
オキシレーションタンク・最終沈澱池	1	フレハブ式円環状循環流水路	中央駆動チェーン吊下げ式汚泥かき寄せ機付 d11.3m×H3.0m×1池	アタカ大機

## 2) 機械設備(水処理)

中条(2/4)

名称	数量	構造	規格・仕様	備考
スクリーンユニット	1	脱水機構付属かきスクリーンユニット(スカベ <sup>2</sup> 号)	目幅2.5mm 0.9kW×2.2m <sup>3</sup> /min	コミュニーターサービス
エアレーション装置	4	スクリー型機械式ばっ気装置	スハ <sup>o</sup> ロータエース SRA45N 4.5kW(池寸法B5.1m×H3.0m)	日立機電
汚泥かき寄せ機	1	中央駆動チェーン吊下げ式 φ11.3m×水深3m	φ11.3m×水深3m	大平洋機工
汚泥ポンプ	2	槽外定置式立軸無閉塞型汚泥ポンプ	φ80mm×0.57m <sup>3</sup> /min×3.5m	
汚泥計量分配槽	1		W1000×L2000×H800	
塩素接触装置	1	固形塩素接触装置		
濃縮槽汚泥かき寄せ機	1	中央駆動懸垂型	W2.5m×L2.5m×H2.2m	
濃縮汚泥ポンプ	1	一軸ネジ式汚泥ポンプ NE40PM	φ65×0.1m <sup>3</sup> ×10m×1.5kW	
返流水ポンプ	2	吸込みスクレー付水中汚水ポンプ		鶴見製作所
塩素接触水路	1	水路形式塩素接触タンク	B1.2m×L10.05m×H0.7m×1水路	

## 3) 機械設備(汚泥処理)

中条(3/4)

名称	数量	構造	規格・仕様	備考
汚泥脱水機	1	定置式一体型汚泥脱水装置	ベルトプレス型 7kW (ハイドプレスPA-750) ろ布0.5m処理量50kg-DS/h	栗田工業
ケーキポンプ	1	一軸ネジ式	φ100mm×0.7m <sup>3</sup> ×1.57MPa 2.2kW+2.2kW	兵神装備
ケーキホッパー	1	鋼板製角型	5m <sup>3</sup> 0.75kW*2	アタカ工業
汚泥貯留槽攪拌機	1	水中ミキサ	羽根径φ300 2.8kW	鶴見製作所
汚泥供給ポンプ	2	水中汚泥ポンプ	φ80×0.2m <sup>3</sup> ×88kPa×2.2kW	鶴見製作所
上水タンク	1	FRP複合板	有効2m <sup>3</sup> 1.0*2.0*1.5	
給水ユニット	1	鋼板製円筒型/横軸渦巻ポンプ(単独交互)	1.2m <sup>3</sup> ×0.25m <sup>3</sup> /min×245kPa 3.7kW*2	
脱臭ファン	1	片吸込ターボファン	12m <sup>3</sup> ×2.08kPa 1.5kW	
吸着塔	1	活性炭吸着塔	12m <sup>3</sup> /min	
脱水機管理用吊上装置	1	ギアトローリ付手動式チェーンロック	定格4.9kN(0.5t)*揚程4m	
ポンプ用吊上装置	1	ギアトローリ付手動式チェーンロック	定格4.9kN(0.5t)*揚程5m	
観察槽	1	ステンレス鋼板製円筒型	φ600*700H	
汚泥濃縮槽	1	重力式	有効水深2.15m×1池	
汚泥貯留槽	1		所要容量42m <sup>3</sup> 容量60m <sup>3</sup>	

## 3) 電気設備

中条 (4 / 4)

名称	数量	構造	規格・仕様	備考
高圧受変電設備				
高圧気中開閉器	1台	柱上用	方向性地絡保護制御装置付 7.2kV 200A 100MVA	エナジーサポート
引込受電盤	1面	<HC-1>	断路器 7.2kV 400A 12.5kA 真空遮断器 7.2kV 600A 12.5kA	正興電機製作所
変圧器盤	1面	<HC-2>	モールド型 3φ3W 6,600/210V 75kVA	正興電機製作所
低圧閉鎖配電盤				
低圧分岐盤	1面	<LB-1>	進相コンデンサ 11kvar×2 電灯変圧器 モールド型 1φ3W 210/210-105V 10kVA	正興電機製作所
動力盤	2面	<LB-2・3>		正興電機製作所
計装設備				
計装盤	1面	<KP-1>		正興電機製作所
溶存酸素計	1台	光学式(蛍光式)	変換器リラインCM442センサー-COS61D 酸素0~20mg/l	エントレスハウザー・ジヤパン
放流流量計	1	潜水形電磁流量計	NNK140-0100K80A-A2 口径100A ダミー×2 MGG10C-MH7J-1B1X-X	アズビル
その他				
無停電電源装置	1台	<UPS-1> 小容量無停電電源装置	1kVA/700W 入力 100V 出力 100V	ユアサコーポレーション
作業用電源盤	3面	<LCB-1・2・3>		正興電機製作所

別表第1-2(第3条関係)

特環マンホールポンプ場 設備機器一覧

戸隠高原処理区(戸隠高原浄化センター)

主要ポンプ場

No.	ポンプ場			汚水ポンプ								電力の種別	機器の異常通報			投込圧力式水位計		運転時間計	非常用電源端子	接続想定発電機	備考		
	番号	名称	供用開始	号機	設置年度	形式	出力(kW)	吐出量(m³/min)	揚程(m)	口径(mm)	ケーブル長(m)		設置年度	非常通報装置	その他	設置年度	型式					FSの有無	
1	51-1	奥社入口	1997	1	1997	CW65	1.5	0.2	13.2	65	30	低圧電力	2018	CSDJ-D	クラウド監視	2017	ML-122-MC-123	○	○	○	7.5kVA		
				2	2017	CW65	1.5	0.2	13.2	65	30												
2	51-2	竹細工センター	1995	1	2020	CNWX801-P80G	5.5	0.26	21.1	80	20	低圧電力	2018	CSDJ-D	クラウド監視	2017	ML-122-MC-123	○	○	○	25kVA		
				2	2018	CNWX801-P80G	5.5	0.26	21.1	80	20												
3	51-3	民俗館上	1995	1	2022	CW100-P80G	5.5	0.36	24.0	80	20	低圧電力	2018	CSDJ-D	クラウド監視	2017	ML-122-MC-123	○	○	○	25kVA		
				2	2018	CW100-P80G	5.5	0.36	24.0	80	20												
4	51-4	午王峯北	1995	1	1995	CW80-P80G	3.7	0.5	15.3	80	20	低圧電力	2018	CSDJ-D	クラウド監視	2017	ML-122-MC-123	○	○	○	15kVA		
				2	2019	CNWX80-P80G	3.7	0.5	15.3	80	20												
5	51-5	午王峯南	1998	1	1998	CW65	1.5	0.2	12.2	65	8	低圧電力	2018	CSDJ-D	クラウド監視	2017	ML-122-MC-123	○	○	○	7.5kVA		
				2	1998	CW65	1.5	0.2	12.2	65	8												
6	51-6	ヴァイ戸隠	1995	1	1995	CW100-P80G	5.5	0.5	17.8	80	8	低圧電力	2018	CSDJ-D	クラウド監視	2017	ML-122-MC-123	○	○	○	25kVA		
				2	2018	CNWX801-P80G	5.5	0.5	17.8	80	8												
7	51-7	ダイフク横	1999	1	1999	CVL651-P65G	1.5	0.159	8.0	65	20	低圧電力	2018	CSDJ-D	クラウド監視	2017	ML-122-MC-123	○	○	○	7.5kVA		
				2	2021	CNWX651-P65G	1.5	0.159	8.0	65	20												
8	51-8	タンネ前	1997	1	1997	CW65-P80G	1.5	0.56	6.5	80	20	低圧電力	2018	CSDJ-D	クラウド監視	2017	ML-122-MC-123	○	○	○	7.5kVA		
				2	2018	CNWX651-P80G	1.5	0.56	6.5	80	20												
9	51-9	シャレー	1996	1	2017	CNWX651	1.5	0.2	10.0	65	20	低圧電力	2018	CSDJ-D	クラウド監視	2017	ML-122-MC-123	○	○	○	7.5kVA		
				2	1996	CW65-P65G	1.5	0.2	10.0	65	20												
10	51-10	白樺ロッジ前	1995	1	2017	CN1502	22.0	1.92	30.0	150	20	低圧電力	2018	CSDJ-D	クラウド監視	2017	ML-122-MC-123	○	○	○	115kVA		
				2	2022	CN150	22.0	1.92	30.0	150	20												
				-	2020	撹拌機SM400	0.4				20												
11	51-11	植物園前	1998	1	1998	CW80-P65G	3.7	0.16	18.6	65	20	低圧電力	2018	CSDJ-D	クラウド監視	2017	ML-122-MC-123	○	○	○	15kVA		
				2	2018	CNWX651-P65G	3.7	0.16	18.6	65	20												
12	51-12	越水ロッジ	1996	1	2018	CNWX651-P65G	2.2	0.2	14.8	65	20	低圧電力	2018	CSDJ-D	クラウド監視	2017	ML-122-MC-123	○	○	○	7.5kVA		
				2	1996	CW80-P65G	2.2	0.2	14.8	65	20												
13	51-13	越水ロッジ南	1996	1	2021	CNWX651-P65G	3.7	0.2	17.1	65	20	低圧電力	2018	CSDJ-D	クラウド監視	2017	ML-122-MC-123	○	○	○	15kVA		
				2	2020	CNWX651-P65G	3.7	0.2	17.1	65	20												
14	51-14	モミの木山荘	2001	1	2018	CR501S	0.4	0.071	5.0	50	5	電灯	-	-	回転灯	2017	ML-122-MC-123	○	-	○	7.5kVA	個人宅	
15	51-15	諏訪宅	2003	1	2019	CR501	0.75	0.071	8.5	50		低圧電力	-	-	回転灯	2017	ML-122-MC-123	○	-	-	7.5kVA	個人宅	
16	51-16	飯島宅	2006	1	2006	A0880M22.2-63	2.2	0.231	4.6	50		低圧電力	-	-	回転灯	2016	ML-122-MC-123	○	○	-	7.5kVA	個人宅	
17	51-17	中央	1995	1	1995	CW65	1.5	0.36	8.7	65	20	低圧電力	2018	CSDJ-D	クラウド監視	2017	ML-122-MC-123	○	○	○	7.5kVA		
				2	2016	CNWX651	1.5	0.36	8.7	65	20												
18	51-18	あわら	1995	1	1995	CVL501-P65B	0.75	0.119	4.0	65	20	低圧電力	2018	CSDJ-D	クラウド監視	2017	ML-122-MC-123	○	○	○	7.5kVA		
				2	2020	CNWX651	0.75	0.119	4.0	65	20												
19	51-19	保育園	1995	1	1995	CVL501	0.75	0.199	5.7	50	20	低圧電力	2018	CSDJ-D	クラウド監視	2017	ML-122-MC-123	○	○	○	7.5kVA		
				2	1995	CVL501	0.75	0.199	5.7	50	20												
20	51-20	坂本	1995	1	2020	CNWX651	1.5	0.2	7.5	65	20	低圧電力	2018	CSDJ-D	クラウド監視	2017	ML-122-MC-123	○	○	○	7.5kVA		
				2	1995	CW65-P65	1.5	0.2	7.5	65	20												
21	51-21	ふたん沢	1997	1	1997	CW100-P80G	5.5	0.48	20.6	80	20	低圧電力	2018	CSDJ-D	クラウド監視	2017	ML-122-MC-123	○	○	○	25kVA		
				2	2019	CNWX801-P80G	5.5	0.48	20.6	80	20												
22	51-22	西根	1995	1	1995	CW65-P65G	1.5	0.2	8.7	65	30	低圧電力	2018	CSDJ-D	クラウド監視	2017	ML-122-MC-123	○	○	○	7.5kVA		
				2	2019	CNWX65-P65G	1.5	0.2	8.7	65	30												
23	51-23	深雪山荘	1997	1	1997	CKF40H	1.2	0.088	12.0	40	15	低圧電力	-	-	ブザー	2017	ML-122-MC-123	○	-	-	7.5kVA	個人宅	
24	51-24	柳沢宅	1998	1	2022	CR501S	0.4	0.071	4.8	50	20	-	電灯	-	-	回転灯	2017	ML-122-MC-123	○	-	-	7.5kVA	個人宅
25	51-25	水源地	1998	1	2022	32MG21.5	1.5	0.060	21.0	32	6	低圧電力	-	-	回転灯	-	-	○	○	-	7.5kVA	個人宅	
26	51-26	矢後宅	2001	1	2019	CR501	0.75	0.071	10.6	50	20	低圧電力	-	-	回転灯	2017	ML-122-MC-123	○	○	-	7.5kVA	個人宅	
27	51-27	高橋宅	2001	1	2019	CR501	0.75	0.2	8.1	50	5	低圧電力	-	-	回転灯	2017	ML-122-MC-123	○	○	-	7.5kVA	個人宅	

\*CSDJ-D: コルソス (NEC) \*ML-122・MC-123: 投込圧力式水位計 (JFE) \*FS: フリクトレブルスイッチ



特環マンホールポンプ場 設備機器一覧

豊岡処理区(豊岡浄化センター)

主要ポンプ場

No.	ポンプ場			汚水ポンプ								電力の種別	機器の異常通報			投込圧力式水位計			運転 時間計	非常用 電源端子	接続想定 発電機	備考	
	番号	名称	供用開始	号機	設置年度	形式	出力(kW)	吐出量(m³/min)	揚程(m)	口径(mm)	ケーブル長(m)		設置年度	非常通報装置	その他	設置年度	型式	FSの有無					
																							低圧電力
1	52-1	諸沢	2000	1	2021	CNWX801-P80G	7.5	0.159	23.2	80	20	2018	CSDJ-D	クラウド監視	2019	ML-122・MC-123	○	○	○	25kVA			
				2	2000	CWF80-PG	7.5	0.159	23.2	80	20												
2	52-2	諸沢上①	2001	1	2001	CVL501-P50	0.75	0.071	5.5	50	50	2018	CSDJ-D	クラウド監視	2019	ML-122・MC-123	○	○	○	7.5	マンホール:2箇所		
		2		2001	CVL501-P65B	0.75	0.159	6.4	65	30													
3	52-3	二条	2000	1	2016	CNWX801-P80G	7.5	0.283	24.6	80	20	2018	CSDJ-D	クラウド監視	2019	ML-122・MC-123	○	○	○	25kVA			
				2	2019	CNWX801-P80G	7.5	0.283	24.6	80	20												
4	52-4	大中	2000	1	2000	CW80-P65G	3.7	0.159	15.7	65	20	2018	CSDJ-D	クラウド監視	2019	ML-122・MC-123	○	○	○	15kVA			
				2	2000	CW80-P65G	3.7	0.159	15.7	65	20												
5	52-5	中村	2000	1	2000	CVL651-P65G	1.5	0.159	6.8	65	20	2018	CSDJ-D	クラウド監視	2019	ML-122・MC-123	○	○	○	7.5kVA			
				2	2000	CVL651-P65G	1.5	0.159	6.8	65	20												
6	52-6	上楡木	1998	1	2017	CNWX651	1.5	0.159	10.3	65	20	2018	CSDJ-D	クラウド監視	2019	ML-122・MC-123	○	○	○	7.5kVA			
				2	1998	CW65	1.5	0.159	10.3	65	20												
7	52-7	中島	2001	1	2001	CW65-P65G	1.5	0.159	10.5	65	30	2018	CSDJ-D	クラウド監視	2019	ML-122・MC-123	○	○	○	7.5kVA			
				2	2001	CW65-P65G	1.5	0.159	10.5	65	30												
8	52-8	尾上	2002	1	2002	CVL651	1.5	0.159	7.8	65	30	2018	CSDJ-D	クラウド監視	2019	ML-122・MC-123	○	○	○	7.5kVA			
				2	2002	CVL651	1.5	0.159	7.8	65	30												
9	52-9	原	2002	1	2002	CW65-P80G	1.5	0.159	10.0	80	30	2018	CSDJ-D	クラウド監視	2019	ML-122・MC-123	○	○	○	7.5kVA			
				2	2002	CW65-P80G	1.5	0.159	10.0	80	30												
10	52-10	銚子口	2002	1	2002	CV80-P65G	3.7	0.2	11.0	65	20	2018	CSDJ-D	クラウド監視	2019	ML-122・MC-123	○	○	○	15kVA			
				2	2002	CV80-P65G	3.7	0.2	11.0	65	20												
11	52-11	和沢	2002	1	2021	CNWX851-P65GX	0.75	0.159	5.4	65	20	2018	CSDJ-D	クラウド監視	2019	ML-122・MC-123	○	○	○	7.5kVA			
				2	2018	CVC301-P65B	0.75	0.159	5.4	65	20												
12	52-12	鳥居原	2003	1	2003	CW65-P65G	1.5	0.159	13.3	65	30	2018	CSDJ-D	クラウド監視	2019	ML-122・MC-123	○	○	○	7.5kVA			
				2	2003	CW65-P65G	1.5	0.159	13.3	65	30												
13	52-13	西	2001	1	2001	CKM32H	1.0	0.046	8.7	32	20	低圧電力	-	-	回転灯	2019	ML-122・MC-123	○	-	-	7.5kVA	個人宅	
14	52-14	中林(中耕)	2004	1	2014	CR5501S	0.75	0.039	6.4	50		電灯	-	-	回転灯	-	-	-	○	-	-	7.5kVA	個人宅
15	52-15	小林(役場下)	2001	1	2001	CVL501	0.75	0.071	7.7	50		低圧電力	-	-	回転灯	2019	ML-122・MC-123	○	○	-	7.5kVA	個人宅	
16	52-16	長峰	1998	1	1998	CW80	3.7	0.159	17.6	80	20	低圧電力	-	-	回転灯	2019	ML-122・MC-123	○	○	-	15kVA	個人宅	
17	52-17	峰村	2002	1	2019	CR501S	0.4	0.071	2.0	50		電灯	-	-	回転灯	2019	ML-122・MC-123	○	-	-	7.5kVA	個人宅	
18	52-18	市川	2006	1	2019	CR501	0.75	0.180	10.0	50	20	低圧電力	-	-	回転灯	-	-	○	○	-	7.5kVA	個人宅	
19	52-19	平沢	2001	1	2021	CNWX801-P80G	5.5	0.2	21.0	80	20	2018	CSDJ-D	クラウド監視	2019	ML-122・MC-123	○	○	○	25kVA			
				2	2017	CNWX1001	5.5	0.2	21.0	80	20												
20	52-20	折橋	2000	1	2019	CNWX801-P80G	5.5	0.2	22.5	80	40	2018	CSDJ-D	クラウド監視	2019	ML-122・MC-123	○	○	○	25kVA			
				2	2000	CW100-P80G	5.5	0.2	22.5	80	40												
21	52-21	豊岡処理場前	2002	1	2002	CW100-P80G	5.5	0.912	17.9	80	30	2018	CSDJ-D	クラウド監視	2019	ML-122・MC-123	○	○	○	25kVA			
				2	2002	CW100-P80G	5.5	0.912	17.9	80	30												
22	52-22	下楠川	2003	1	2003	CW65-P65G	1.5	0.283	8.8	65	30	2018	CSDJ-D	クラウド監視	2019	ML-122・MC-123	○	○	○	7.5kVA			
				2	2003	CW65-P65G	1.5	0.283	8.8	65	30												
23	52-23	下楠川下	2003	1	2003	CVL651-P65G	1.5	0.307	5.5	65	30	2018	CSDJ-D	クラウド監視	2019	ML-122・MC-123	○	○	○	7.5kVA			
				2	2003	CVL651-P65G	1.5	0.307	5.5	65	30												
24	52-24	母袋	2002	1	2002	CW65	1.5	0.159	13.7	65	30	2018	CSDJ-D	クラウド監視	2019	ML-122・MC-123	○	○	○	7.5kVA	電灯は水道維持費で使用		
				2	2002	CW65	1.5	0.159	13.7	65	30												
25	52-25	奈良尾	2003	1	2003	CVL651-P65G	1.5	0.159	7.0	65	30	2018	CSDJ-D	クラウド監視	2019	ML-122・MC-123	○	○	○	7.5kVA			
				2	2003	CVL651-P65G	1.5	0.159	7.0	65	30												
26	52-26	中ノ地	2003	1	2003	CVL651-P65G	1.5	0.2	3.5	65					SV-26	-	2003	気泡式 PA20	○	○	○	7.5kVA	受電無し
				2	2003	CVL651-P65G	1.5	0.2	3.5	65													
27	52-27	下楠川 原山	2003	1	2022	CR501S	0.4	0.071	2.9	50	5	電灯	-	-	回転灯	2019	ML-122・MC-123	○	-	-	7.5kVA	個人宅	
28	52-28	宇和原 原山	2002	1	2002	CKM32HS	1.0	0.026	5.6	32		電灯	-	-	回転灯	2019	ML-122・MC-123	○	-	-	7.5kVA	個人宅	
29	52-29	塚田	2001	1	2001	CR50	0.75	0.071	6.9	50	20		-	-	回転灯	1905年6月	気泡式 PA10	○	-	-	7.5kVA	個人宅、受電無し	
30	52-30	小嶋	2001	1	2019	CR501T	0.75	0.071	7.9	50	20	低圧電力	-	-	回転灯	2019	ML-122・MC-123	○	○	-	7.5kVA	個人宅	

\*CSDJ-D : コルソス (NEC)   \*ML-122・MC-123 : 投込圧力式水位計 (JFE)   \*PA10、PA20 : 気泡式水位計 (新明和)   \*FS : フリクトレベルスイッチ

特環マンホールポンプ場 設備機器一覧

鬼無里処理区(鬼無里浄化センター)

主要ポンプ場

No.	ポンプ場			汚水ポンプ							電力の種別		機器の異常通報			投込圧力式水位計		運 転 時間計	非常用 電源端子	接続想定 発電機	備考		
	番号	名 称	供用開始	号機	設置年度	形式	出力(kW)	吐出量(m <sup>3</sup> /min)	揚程(m)	口径(mm)			ケーブル長(m)	設置年度	非常通報装置	その他	設置年度					型式	FSの有無
1	53-1	下新倉	1998	1	2014	80DV 65.5	5.5	0.16	12.0	80	20	低圧電力	2020	CSDJ-D	クラウド監視	2020	ML-122・MC-123	○	○	○	25kVA		
				2	2014	80DV 65.5	5.5	0.16	12.0	80	20												
2	53-2	森林組合	1998	1	2021	CNWX801	7.5	0.78	16.5	80	20	低圧電力	2020	CSDJ-D	クラウド監視	2020	ML-122・MC-123	○	○	○	25kVA		
				2	2017	CNWX801	7.5	0.78	16.5	80	20												
3	53-3	越上り上	1998	1	1998	CVL501-P50	0.75	0.159	5.8	50	20	低圧電力	2020	CSDJ-D	クラウド監視	2020	ML-122・MC-123	○	○	○	7.5kVA		
				2	2019	CNM50-P50	0.75	0.159	5.8	50	20												
4	53-4	越上り下	1998	1	2022	CNWX651-P65G	3.7	0.159	17.7	65	20	低圧電力	2020	CSDJ-D	クラウド監視	2020	ML-122・MC-123	○	○	○	15kVA		
				2	1998	CW80-P65G	3.7	0.159	17.7	65	20												
5	53-5	須田町	1998	1	1998	65DV 62.2	2.2	0.16	10.1	65	20	低圧電力	2020	CSDJ-D	クラウド監視	2020	ML-122・MC-123	○	○	○	7.5kVA		
				2	1998	65DV 62.2	2.2	0.16	10.1	65	20												
6	53-6	下沖	1998	1	2022	CNWX801	5.5	0.42	14.5	80	20	低圧電力	2020	CSDJ-D	クラウド監視	2020	ML-122・MC-123	○	○	○	25kVA		
				2	2022	CNWX801	5.5	0.42	14.5	80	20												
7	53-7	南町	1999	1	2017	CNWX651	1.5	0.243	9.0	65	85	低圧電力	2020	CSDJ-D	クラウド監視	2020	ML-122・MC-	○	○	○	7.5kVA		
				2	2016	CNWX651	1.5	0.243	9.0	65	85												
8	53-8	坂口団地	1999	1	1999	CVL501-P65B	0.75	0.159	5.7	65	20	低圧電力	2020	CSDJ-D	クラウド監視	2020	ML-122・MC-123	○	○	○	7.5kVA		
				2	2022	CNWX651-P65GW	0.75	0.159	5.7	65	20												
9	53-9	和田	2000	1	2018	CW80-P80G	2.2	0.159	12.6	80	20	低圧電力	2020	CSDJ-D	クラウド監視	2020	ML-122・MC-123	○	○	○	7.5kVA		
				2	2000	CW80-P80G	2.2	0.159	12.6	80	20												
10	53-10	ワナデ沢	2000	1	2000	CVL501-P65B	0.75	0.159	4.6	65	20	低圧電力	2020	CSDJ-D	クラウド監視	2020	ML-122・MC-123	○	○	○	7.5kVA		
				2	2000	CVL501-P65B	0.75	0.159	4.6	65	20												
11	53-11	小橋	2000	1	2018	CW65-P80G	1.5	0.159	12.0	80	20	低圧電力	-	2020	CSDJ-D	クラウド監視	2020	ML-122・MC-123	○	○	○	7.5kVA	
				2	2000	CW65	1.5	0.159	12.0	80	20												
12	53-12	四角面(東町)	1999	1	2021	50DV 6.75	0.75	0.06	7.0	50	30	低圧電力	-	-	回転灯	2020	ML-122・MC-123	○	○	○	7.5kVA	個人宅	
				2	1999	50DV 6.75	0.75	0.06	7.0	50	30												
13	53-13	蓬平	2000	1	2000	40DG 61.5	1.5	0.045	12.1	40	20	低圧電力	-	-	回転灯	2020	ML-122・MC-123	○	○	○	7.5kVA	個人宅	
				2	2000	40DG 61.5	1.5	0.045	12.1	40	20												
14	53-14	松原	2000	1	2000	40DG 61.5	1.5	0.045	13.6	40		-	-	-	-	回転灯	2000	エアバージ装置	○	○	○	7.5kVA	個人宅 受電無し
				2	2000	40DG 61.5	1.5	0.045	13.6	40													
15	53-15	和田2	2000	1	2000	50DV 6.75	0.75	0.06	7.1	50		-	-	-	-	回転灯	2000	エアバージ装置	○	○	○	7.5kVA	個人宅 受電無し
				2	2000	50DV 6.75	0.75	0.06	7.1	50													

\*CSDJ-D : コルソス (NEC)

\*ML-122・MC123 : 投込式圧力水位計 (JFE)

\*FS : フリクトレベルスイッチ

特環マンホールポンプ場 設備機器一覧

信州新町処理区(信州新町浄化センター)

主要ポンプ場

No.	ポンプ場			汚水ポンプ							電力の種別	機器の異常通報			投込圧力式水位計			運 転 時間計	非常用 電源端子	接続想定 発電機	備考			
	番号	名 称	供用開始	号機	設置年度	形式	出力(kW)	吐出量(m <sup>3</sup> /min)	揚程(m)	口径(mm)		ケーブル長(m)	設置年度	非常通報装置	その他	設置年度	型式					FSの有無		
1	54-1	新町1号	1999	1	2017	CWH100	22	1.696	33.0	100	40	低圧電力		2021	CSDJ-D	クラウド監視	2014	ML-122・MC-123	○	○	○	60kVA		
				2	2016	CWH100	22	1.696	33.0	100	40													
2	54-2	新町2号	2000	1	2017	CNWX801	5.5	0.84	15.0	80	40	低圧電力		2021	CSDJ-D	クラウド監視	2015	ML-122・MC-123	○	○	○	25kVA		
				2	2000	UBS80-65.5	5.5	0.84	15.0	80	40													
3	54-3	新町3号	2004	1	2004	SUV65-60.75	0.75	0.16	5.0	65	20	低圧電力		2021	CSDJ-D	クラウド監視	2020	ML-122・MC-123	○	○	○	7.5kVA	浸水検知器あり	
				2	2019	CNWX651-P65G	0.75	0.16	5.0	65	20													
4	54-4	竹房1号	1999	1	1999	UBS80-63.7	3.7	0.281	18.0	80	30	低圧電力		2021	CSDJ-D	クラウド監視	2013	LPR-10-16	○	○	○	15kVA		
				2	1999	UBS80-63.7	3.7	0.281	18.0	80	30													
5	54-5	竹房2号	1999	1	2019	CNWX801-P80G	3.7	0.265	16.0	80	20	低圧電力		2021	CSDJ-D	クラウド監視	2015	ML-122・MC-123	○	○	○	15kVA		
				2	1999	UBS80-63.7	3.7	0.265	16.0	80	20													
6	54-6	上条1号	1999	1	2022	CNWX801	5.5	0.42	18.0	80	30	低圧電力		2021	CSDJ-D	クラウド監視	2014	LPR-10-16	○	○	○	25kVA		
				2	2017	CNWX801	5.5	0.42	18.0	80	30													
7	54-7	上条2号	2000	1	2019	CNWX801-P80G	3.7	0.303	15.0	80	20	低圧電力		2021	CSDJ-D	クラウド監視	2013	LPR-10-16	○	○	○	15kVA		
				2	2000	UBS80-63.7	3.7	0.303	15.0	80	20													
8	54-8	上条3号	2000	1	2014	CNWX801-P80G	5.5	0.267	21.0	80	30	低圧電力		2021	CSDJ-D	クラウド監視	2014	ML-122・MC-123	○	○	○	25kVA		
				2	2019	CNWX801-P80G	5.5	0.267	21.0	80	30													
9	54-9	上条4号	2002	1	2002	UBS80-61.5	1.5	0.159	10.0	80	30	低圧電力		2021	CSDJ-D	クラウド監視	2015	ML-122・MC-123	○	○	○	7.5kVA		
				2	2020	CNWX801	1.5	0.159	10.0	80	30													
10	54-10	上条5号	2002	1	2002	SUG40-61.2A	1.2	0.160	12.0	40	30	低圧電力	-	-	-	回転灯	-	-	○	○	○	7.5kVA	個人宅	
11	54-11	穂刈1号	2000	1	2000	UBS80-62.2	2.2	0.30	14.0	80	50	低圧電力		2021	CSDJ-D	クラウド監視	2013	LPR-10-16	○	○	○	7.5kVA		
				2	2018	CNWX651-P80G	2.2	0.30	14.0	80	50													

\*CSDX、CS-D7、CSDJ-B：コルソス（NEC） \*LPR-10-16：投込式圧力水位計（WaterAgency） \*ML-122・MC-123：投込圧力式水位計（JFE） \*FS：フリクトレベルスイッチ

特環マンホールポンプ場 設備機器一覧

中条処理区(中条浄化センター)

主要ポンプ場

No.	ポンプ場			汚水ポンプ							電力の種別	機器の異常通報			投込圧力式水位計		運転 時間計	非常用 電源端子	接続想定 発電機	備考			
	番号	名称	供用開始	号機	設置年度	形式	出力(kW)	吐出量(m³/min)	揚程(m)	口径(mm)		ケーブル長(m)	設置年度	非常通報装置	その他	設置年度					型式	FSの有無	
1	55-1	大野	2002	1	2002	UBS65-63.7	3.7	0.16	16.0	65		低圧電力	—	2016	CSDJ-D	クラウド監視	2015	ML-122・MC-123	○	○	○	15kVA	
				2	2002	UBS65-63.7	3.7	0.16	16.0	65													
2	55-2	住良木団地	2002	1	2022	CNWX651-P6SG	1.5	0.16	10.5	65	20	低圧電力	—	2016	CSDJ-D	クラウド監視	2015	ML-122・MC-123	○	○	○	7.5kVA	
				2	2002	UBS65-61.5	1.5	0.16	10.5	65	20												
3	55-3	寒沢	2002	1	2017	CNWX801	3.7	0.3	15.0	80	20	低圧電力	—	2016	CSDJ-D	クラウド監視	2013	LPR-10-16	○	○	○	15kVA	
				2	2022	CNWX801	3.7	0.3	15.0	80	20												
4	55-4	保高第1	2002	1	2019	CNWX651-P6SG	1.5	0.22	9.0	65	20	低圧電力	—	2016	CSDJ-D	クラウド監視	2013	LPR-10-16	○	○	○	7.5kVA	
				2	2002	SUV65-62.2	2.2	0.22	9.0	65	20												
5	55-5	保高第2	2003	1	2022	CNWX651-P6SG	1.5	0.16	6.5	65	20	低圧電力	—	2016	CSDJ-D	クラウド監視	2015	ML-122・MC-123	○	○	○	7.5kVA	
				2	2003	SUV65-61.5L	1.5	0.16	6.5	65	20												
6	55-6	道の駅	2003	1	2003	SUV65-61.5	1.5	0.16	8.0	65		低圧電力	—	2016	CSDJ-D	クラウド監視	2015	ML-122・MC-123	○	○	○	7.5kVA	
				2	2003	SUV65-61.5	1.5	0.16	8.0	65													
7	55-7	月夜棚第1	2003	1	2003	SUG40-61.2A	1.2	0.071	11.0	40		低圧電力	—	2016	CSDJ-D	クラウド監視	2015	ML-122・MC-123	○	○	○	7.5kVA	
				2	2003	SUG40-61.2A	1.2	0.071	11.0	40													
8	55-8	月夜棚第2	2003	1	2003	SUG40-61.2A	1.2	0.071	11.0	40	20	低圧電力	—	2016	CSDJ-D	クラウド監視	2015	ML-122・MC-123	○	○	○	7.5kVA	
				2	2022	CKM40H-P40	1.2	0.071	11.0	40	20												
9	55-9	青木第1	2002	1	2017	CNWX651	1.5	0.42	8.0	65	20	低圧電力	—	2016	CSDJ-D	クラウド監視	2013	LPR-10-16	○	○	○	7.5kVA	
				2	2020	CNWX651	1.5	0.42	8.0	65	20												
10	55-10	青木第2	2003	1	2003	UBS65-61.5	1.5	0.16	10.0	65		低圧電力	—	2016	CSDJ-D	クラウド監視	2015	ML-122・MC-123	○	○	○	7.5kVA	
				2	2003	UBS65-61.5	1.5	0.16	10.0	65													
11	55-11	長谷鳥	2002	1	2002	UBS65-63.7	3.7	0.42	14.0	65	40	低圧電力	—	2016	CSDJ-D	クラウド監視	2013	LPR-10-16	○	○	○	15kVA	
				2	2015	CNWX651	3.7	0.42	14.0	65	40												
12	55-12	宮	2002	1	2002	UBS65-61.5	1.5	0.16	9.5	65		低圧電力	—	2016	CSDJ-D	クラウド監視	2015	ML-122・MC-123	○	○	○	7.5kVA	
				2	2002	UBS65-61.5	1.5	0.16	9.5	65													
13	55-13	古町	2002	1	2002	UBS65-61.5	1.5	0.16	10.5	65	30	低圧電力	—	2016	CSDJ-D	クラウド監視	2015	ML-122・MC-123	○	○	○	7.5kVA	
				2	2017	CNWX651	1.5	0.16	10.5	65	30												
14	55-14	町南	2002	1	2002	UBS65-61.5	1.5	0.16	8.0	65	20	低圧電力	—	2016	CSDJ-D	クラウド監視	2015	ML-122・MC-123	○	○	○	7.5kVA	
				2	2002	UBS65-61.5	1.5	0.16	8.0	65													
15	55-15	町北	2003	1	2003	SUV50-60.4	0.4	0.071	5.0	50		低圧電力	—	2016	CSDJ-D	クラウド監視	2015	ML-122・MC-123	○	○	○	7.5kVA	
				2	2003	SUV50-60.4	0.4	0.071	5.0	50													
16	55-16	大島	2002	1	2020	CNWX801	3.7	1.26	8.0	80	20	低圧電力	—	2016	CSDJ-D	クラウド監視	2013	LPR-10-16	○	○	○	7.5kVA	2台運転可
				2	2020	CNWX801	3.7	1.26	8.0	80	20												
17	55-17	境の沢	2002	1	2020	CNWX801	3.7	1.26	10.0	80	20	低圧電力	—	2016	CSDJ-D	クラウド監視	2021	ML-122・MC-123	○	○	○	7.5kVA	2台運転可
				2	2020	CNWX801	3.7	1.26	10.0	80	20												
18	55-18	市ノ瀬	2002	1	2015	CNWX801	7.5	0.9	19.0	80	20	低圧電力	—	2016	CSDJ-D	クラウド監視	2022	ML-122・MC-123	○	○	○	25kVA	2台運転可
				2	2002.1	UBS80-67.5	7.5	0.9	19.0	80	20												
19	55-19	下五十里第1	2002	1	2002	SUV65-60.75	0.75	0.16	6.5	65	70	低圧電力	—	2016	CSDJ-D	クラウド監視	2013	LPR-10-16	○	○	○	7.5kVA	
				2	2018	CVCS501-P50	0.75	0.16	6.5	65	70												
20	55-20	下五十里第2	2002	1	2018	CKM50H-P50	2.2	0.071	18.0	50		低圧電力	—	2016	CSDJ-D	クラウド監視	2015	ML-122・MC-123	○	○	○	7.5kVA	
				2	2002.1	KS-GP-50AA	2.2	0.071	18.0	50													
21	55-21	下五十里第3	2003	1	2017	CR501	0.75	0.03	7.0	40	5	低圧電力	—	—	—	回転灯	—	—	○	○	○	7.5kVA	個人宅
22	55-22	上五十里団地第1	2003	1	2003	KSVL-63AA	1.5	0.16	7.0	65		低圧電力	—	2016	CSDJ-D	クラウド監視	2015	ML-122・MC-123	○	○	○	7.5kVA	
				2	2003	KSVL-63AA	1.5	0.16	7.0	65													
23	55-23	上五十里団地第2	2003	1	2003	SUV50-60.4	0.4	0.071	4.0	50		低圧電力	—	2016	CSDJ-D	クラウド監視	2015	ML-122・MC-123	○	○	○	7.5kVA	
				2	2003	SUV50-60.4	0.4	0.071	4.0	50													
24	55-24	大久保宅	2003	1	2003	HCR50-60.4	0.4	0.071	5.5	50		—	電灯	—	—	回転灯	—	—	○	○	—	7.5kVA	個人宅
25	55-25	松本宅	2003	1	2003	HCR50-60.4	0.4	0.07	4.0	50		—	電灯	—	—	回転灯	—	—	○	○	—	7.5kVA	個人宅

特環マンホールポンプ場 設備機器一覧

中条処理区(中条浄化センター)

主要ポンプ場

No.	ポンプ場			汚水ポンプ							電力の種別		機器の異常通報			投込圧力式水位計			運 転 時間計	非常用 電源端子	接続想定 発電機	備考	
	番号	名 称	供用開始	号機	設置年度	形式	出力(kW)	吐出量(m <sup>3</sup> /min)	揚程(m)	口径(mm)			ケーブル長(m)	設置年度	非常通報装置	その他	設置年度	型式					FSの有無
26	55-26	壇原宅	2003	1	2003	HCR50-60.4	0.4	0.071	3.5	50		—	—	—	—	回転灯	—	—	○	○	—	7.5kVA	個人宅、受電無し
27	55-27	早川宅	2003	1	2003	KSVS50	0.75	0.071	8.0	50		低圧電力	—	—	—	回転灯	—	—	○	○	—	7.5kVA	個人宅
28	55-28	堀切	2004	1	2004	SUV65-61.5L	1.5	0.16	8.0	65	30	低圧電力	—	2016	CSDJ-D	クラウド監視	2015	ML-122・MC-123	○	○	○	7.5kVA	
				2	2004	SUV65-61.5L	1.5	0.16	8.0	65	30												
29	55-29	宮西	2005	1	2021	CNWX61-PEICWX	0.75	0.16	6.0	65	20	低圧電力	—	2016	CSDJ-D	クラウド監視	2015	ML-122・MC-123	○	○	○	7.5kVA	
				2	2005	SUV65-60.75	0.75	0.16	6.0	65	20												
30	55-30	梨木早川宅	2000	1	2000	CR501S	0.4	0.07	6.0	50		—	電灯	—	—	回転灯	2015	ML-122・MC-123	○	—	—	7.5kVA	個人宅
31	55-31	松本宅	2005	1	2005	CR501S	0.4	0.16	6.4	40		—	電灯	—	—	回転灯		—	○	○	—	7.5kVA	個人宅
32	55-32	宮沢宅	2005	1	2005	CR501S	0.4	0.071	5.0	50		—	電灯	—	—	回転灯		—	○	○	—	7.5kVA	個人宅
33	55-33	溝口宅	2005	1	2005	CR501S	0.4	0.046	6.0	40		—	電灯	—	—	回転灯		—	○	○	—	7.5kVA	個人宅
34	55-34	月夜棚宮尾宅	2000	1	2000	CR501	0.75	0.1	8.3	50		低圧電力	—	—	—	回転灯		—	○	○	—	7.5kVA	個人宅
35	55-35	コーメックス	2000	1	2000	CR501S	0.4	0.16	6.4	50		—	電灯	—	—	回転灯	2015	ML-122・MC-123	○	—	—	7.5kVA	個人宅
36	55-36	西澤宅	2006	1	2022	CR501S	0.4	0.07	4.5	50		—	電灯	—	—	回転灯		—	○	○	—	7.5kVA	個人宅
37	55-37	酒井宅	2007	1	2007	HCR50-60.4AW	0.4	0.071	5.0		20	—	電灯	—	—	回転灯		—	○	○	—	7.5kVA	個人宅
38	55-38	住良木	2019	1	2019	CNWX651	2.2	0.159	13.9	65	30	低圧電力	—	2019	CSDJ-D	クラウド監視	2019	ML-122・MC-123	○	○	○	7.5kVA	
			2019	2	2019	CNWX651	2.2	0.159	13.9	65	30												

\*CSDJ-D: コルソス (NEC) \*ML-122・MC-123: 投込圧力式水位計 (JFE) \*LPR-10-16: 投込式圧力水位計 (WaterAgency) \*FS: フリクトレベルスイッチ

別表第1-3 (第3条関係)  
 移動式汚泥処理施設の設備概要

	項目	内容	能力・寸法	備考
名称	移動脱水車	ベストシャトル		
仕様	移動脱水車	型式：アルミカバー付特装車 (6トン車)	寸法：長さ8.19m×幅2.45m×高さ3.395m 総重量：約12トン	
	発電機	方式：パワーテイクオフ	能力：30kVA、AC200V、三相	
	脱水機	方式：ベルトプレス型 (有効ろ布幅1m)	能力：100kg - ds/m・h以上	
			補機：油圧ユニット (タンク容量30ℓ、油圧ポンプ 70kg/cm <sup>2</sup> ×0.75kW)	
	造粒濃縮設備	容量：汚泥調質槽 0.125m <sup>3</sup> 造粒濃縮槽 1.5m <sup>3</sup>	寸法：汚泥調質槽 □500mm×高さ700mm 造粒濃縮槽 φ1200mm×高さ1600mm	
脱水能力	汚泥性状	活性汚泥法余剰汚泥	VTS：約75～80%	
	汚泥濃度		1.2%以上	
	汚泥調質法	BESTシステム	高効率造粒濃縮調質法	
	凝集剤	無機凝集剤、両性ポリマー		
	脱水機	ベルトプレス型 (有効ろ布幅1m)		
	処理能力		100～150kg - ds/m・h	
	汚泥含水率		80%	
対象施設	豊岡浄化センター			

別表第2-1

1 脱臭設備簡易臭気測定

測定場所		測定項目	分析方法	分析回数	報告下限値 (mg/l)
戸隠高原浄化センター	活性炭脱臭設備 (入口及び出口)	アンモニア メチルメルカプタン 硫化水素	検知管 による 測定	年3回	アンモニア <0.5 メチルメルカプタン <0.25 硫化水素 <0.5
鬼無里浄化センター					
信州新町浄化センター					
中条浄化センター					

※測定は、春、夏、秋に実施すること。

※臭気濃度に応じた検知管を使用すること。

2 脱臭設備簡易臭気測定実績(過去5年実績)

単位:ppm

処理場名	アンモニア		メチルメルカプタン		硫化水素	
	入口	出口	入口	出口	入口	出口
戸隠高原浄化センター	不検出	不検出	不検出	不検出	2.0	不検出
鬼無里浄化センター	不検出	不検出	不検出	不検出	2.0	不検出
信州新町浄化センター	不検出	不検出	不検出	不検出	2.0	不検出
中条浄化センター	1.8	不検出	8.0	不検出	28	不検出

※過去5年(H30~R4年度)の測定結果から。最大値。

別表第2-2

有害物質分析

分析項目	分析回数		分析方法	報告下限値	単位
	流入水	放流水			
有機リン	年2回	年2回	排水基準を定める省令の規定に基づく環境大臣が定める排水基準に係る検定方法(昭和49環境庁告示第64号)	0.1	mg/L
PCB				0.0005	mg/L
チウラム				0.006	mg/L
シマジン				0.003	mg/L
チオベンカルブ				0.002	mg/L
ジクロロメタン	年6回	年12回		0.002	mg/L
四塩化炭素				0.0002	mg/L
1,2-ジクロロエタン				0.0004	mg/L
1,1-ジクロロエチレン				0.002	mg/L
シス-1,2-ジクロロエチレン				0.004	mg/L
1,1,1-トリクロロエタン				0.0005	mg/L
1,1,2-トリクロロエタン				0.0006	mg/L
トリクロロエチレン				0.002	mg/L
テトラクロロエチレン				0.0005	mg/L
1,3-ジクロロプロペン				0.0002	mg/L
ベンゼン				0.001	mg/L
1,4-ジオキサン	0.005	mg/L			

\*発注者が指定した日時において採水したものを、計量証明機関で測定するものとする。

\*報告書は、測定結果(計量証明書)と測定状況の写真をまとめて、1部提出



別表2-3

## 脱水汚泥成分分析

分析種類	分析項目	分析方法	分析回数	報告下限値	単位
溶出試験	アルキル水銀	産業廃棄物に含まれる金属等の検定方法(昭和48環境庁告示第13号)	1回/年	0.0005	mg/L
	総水銀			0.0005	mg/L
	カドミウム			0.005	mg/L
	鉛			0.005	mg/L
	有機リン			0.1	mg/L
	六価クロム			0.02	mg/L
	ヒ素			0.005	mg/L
	全シアン			0.1	mg/L
	トリクロロエチレン			0.002	mg/L
	テトラクロロエチレン			0.002	mg/L
	ジクロロメタン			0.002	mg/L
	四塩化炭素			0.002	mg/L
	1,2-ジクロロエタン			0.002	mg/L
	1,1-ジクロロエチレン			0.002	mg/L
	シス-1,2-ジクロロエチレン			0.002	mg/L
	1,1,1-トリクロロエタン			0.002	mg/L
	1,1,2-トリクロロエタン			0.002	mg/L
	1,3-ジクロロプロペン			0.002	mg/L
	チウラム			0.006	mg/L
	シマジン			0.003	mg/L
チオベンカルブ	0.006	mg/L			
ベンゼン	0.002	mg/L			
1,4-ジオキサン	0.05	mg/L			
含有試験	総水銀	底質調査方法(平成24年8月環境省水・大気環境局)	1回/5年	0.01	mg/kg dry
	ヒ素			0.10	mg/kg dry
	カドミウム			0.05	mg/kg dry
	鉛			1.0	mg/kg dry
	全クロム			1.0	mg/kg dry
	ニッケル			1.0	mg/kg dry

\*発注者が指定した日時において採取したものを、計量証明機関で測定するものとする。

\*報告書は、測定結果(計量証明書)と測定状況の写真をまとめて、1部提出

別表第 2 - 4 (第26条関係)  
受変電設備点検

1. 対象施設

施設名	設備容量 (kVA)	予備発電設備容量 (kVA)
戸隠高原浄化センター	200	—
豊岡浄化センター	75	—
鬼無里浄化センター	150	75
信州新町浄化センター	100	—
中条浄化センター	75	—

2. 点検内容

長野市上下水道局電気工作物保安規定による

(1) 外部一般点検 (月2回)

(2) 発電設備の点検

負荷試験 偶数月 1回 (1h以上)

機関起動試験 奇数月 1回 (無負荷で5分以内)

(3) 年次精密点検 (年1回)

絶縁抵抗測定 (高圧・低圧)

接地抵抗測定

保護継電器試験

地絡方向継電器試験

柱上機器点検

高圧機器配線目視点検、盤内清掃

ケーブル絶縁診断

(4) VCB真空度試験及びメンテナンス業務委託 (各施設 1回/5年)

別表第2-5

火災予防-消防設備法定点検

処理場名	項 目				設置数	
戸隠高原浄化センター	消火器	粉末(蓄圧)	3.0kg	2019年製	1	
		粉末(蓄圧)	3.0kg	2022年製	7	
		粉末(蓄圧)	3.0kg	2023年製	2	
	誘導灯					9
	自動火災報知設備	非常電源				1
		受信盤(P型1級)				1
		熱感知器	差動・分布型		6	
			差動・スポット型		18	
			定温・スポット型		5	
		煙感知器	光電式		8	
		発信機(P型1級)				6
		主音響装置(電鈴)				1
地区音響装置(電鈴)				4		
非常警報設備(電鈴・放送設備)				1		
豊岡浄化センター	消火器	粉末(蓄圧)	3.0kg	2022年製	1	
	誘導灯				1	
鬼無里浄化センター	消火器	粉末(蓄圧)	3.0kg	2022年製	8	
		強化液	3.0L	2019年製	1	
	誘導灯					3
	自動火災報知設備	非常電源				1
		受信盤(P型1級)				1
		熱感知器	差動・スポット型		30	
			定温・スポット型		8	
		煙感知器	光電式		2	
		発信機(P型1級)				3
		主音響装置(電鈴)				1
地区音響装置(電鈴)				3		
非常警報設備(電鈴・放送設備)				1		
信州新町浄化センター	消火器	粉末(蓄圧)	3.0kg	2022年製	3	
	誘導灯					5
	自動火災報知設備	非常電源				1
		受信機(P型2級)				1
		熱感知器	定温・スポット型		13	
		煙感知器	光電式		5	
		発信機(P型2級)				1
主音響装置(電鈴)				1		
地区音響装置(電鈴)				1		
中条浄化センター	消火器	粉末(蓄圧)	3.0kg	2023年製	4	

別表第2-6

1 建物管理等－日常清掃場所

建 屋		階	場 所
戸隠高原浄化センター	管理棟	1	風除室 内玄関 階段 ホール 電気室 水質試験室 便所 玄関周り
		2	ホール 事務室 管理制御室 湯沸室 便所 廊下 浴室 脱衣室 (会議室)
豊岡浄化センター	管理庫	1	監視操作室 便所
	汚泥脱水棟	1	汚泥脱水室
鬼無里浄化センター	管理棟	1	水質試験室 発電機室 階段 便所
		2	監視・電気室
信州新町浄化センター	管理棟	1	風除室 内玄関 器材庫 廊下 水質試験室 便所 湯沸室 脱衣室 作業員室 管理制御室
中条浄化センター	管理棟	1	風除室 内玄関 ホール 倉庫 前室 更衣室 便所 電気室 事務室兼作業員控室 換気機械室

2 建物管理等－整理整頓

場 所		主たる物品等	
戸隠高原浄化センター	管理棟	2F 管理制御室	予備品、機材、工具類、図書
		1F 水質試験室	分析機器類
		1F 器材倉庫	発電機、草刈機、除雪機等
豊岡浄化センター	管理庫	1F 監視操作室	予備品、機材、工具類、図書
	汚泥脱水棟	1F 汚泥脱水室	予備品、機材、工具類
鬼無里浄化センター	管理棟	2F 監視・電気室	予備品、機材、工具類、図書
		1F 水質試験室	分析機器類
信州新町浄化センター	管理棟	1F 器材庫	予備品、機材（発電機、草刈機）、工具類、図書
		1F 作業員室	予備品、図書
		1F 水質試験室	分析機器類
中条浄化センター	管理棟	1F 倉庫	予備品、図書
		1F ホール	図書
		1F 事務室兼作業員控室	予備品、機材（顕微鏡）、工具類、図書

※ 備品・消耗品・予備品類は表を参考にして、整理整頓し保管する。

別表第2-7

1 建物管理等—除草

施設	場所	主な除草方法	備考
戸隠高原浄化センター	・場内及びフェンス外周 ・放流水路敷	肩掛式草刈機	処理場平面図参照 約4,300㎡
豊岡浄化センター	・場内及びフェンス外周 ・場外搬入道路	肩掛式草刈機	処理場平面図参照 約1,000㎡
鬼無里浄化センター	・場内及びフェンス外周	肩掛式草刈機	処理場平面図参照 約1,600㎡
信州新町浄化センター	・場内及びフェンス外周	肩掛式草刈機	処理場平面図参照 約5,600㎡
中条浄化浄化センター	・場内及びフェンス外周 ・場外取付道路	肩掛式草刈機	処理場平面図参照 約3,500㎡

- ※ (1) 敷地内緑地の草刈り（場所により年3回実施）  
 (2) 作業に伴い発生した草木、ゴミ等は適正処分を行う  
 (3) MPについては適宜作業を行う

2 建物管理等—除雪・側溝清掃

施設	場所	除雪	備考
各浄化センター	敷地内及び取付道路	適時	来場者及び施設管理に支障のない範囲とする。

- ※ (1) 敷地内及び取付道路の除雪（汚泥運搬車の通行に支障がない程度）、側溝清掃  
 (2) 敷地内のゴミ、落ち葉等の清掃  
 (3) 作業に伴い発生した草木、ゴミ等は適正処分を行う  
 (4) MPについては適宜作業を行う

別表第2-8

マンホールポンプ場維持管理

マンホールポンプ場の保守点検は下表を参考にする。

マンホールポンプ場		主な点検内容	点検箇所数	点検頻度	主な点検箇所	備考
戸隠高原	27箇所	A: 巡視点検・清掃	27	4回/年	<ul style="list-style-type: none"> <li>マンホール内、外部点検</li> <li>汚水ポンプ動作状況</li> <li>水位計動作状況</li> <li>絶縁抵抗測定</li> <li>ポンプ制御盤内機器点検</li> <li>通報装置</li> <li>その他付属設備</li> <li>マンホール内洗浄</li> </ul>	目視による状態動作確認 運転データ記録 施設内外の清掃（除草、除雪作業は適宜実施） 各機器洗浄含む
		B: ポンプ定期点検	27	1回/年	精密点検 <ul style="list-style-type: none"> <li>汚水ポンプ 内部（羽根車等）含む</li> <li>オイル交換</li> <li>水位計</li> <li>ポンプ制御盤内機器点検</li> <li>その他付属設備</li> </ul>	汚水ポンプ引上げ点検 オイル、オイルシール等 小部品の部品交換含む
豊岡	30箇所	A: 巡視点検・清掃	28	4回/年	<ul style="list-style-type: none"> <li>マンホール内、外部点検</li> <li>汚水ポンプ動作状況</li> <li>水位計動作状況</li> <li>絶縁抵抗測定</li> <li>ポンプ制御盤内機器点検</li> <li>通報装置</li> <li>その他付属設備</li> <li>マンホール内洗浄</li> </ul>	目視による状態動作確認 運転データ記録 施設内外の清掃（除草、除雪作業は適宜実施） 各機器洗浄含む
		B: ポンプ定期点検	28	1回/年	精密点検 <ul style="list-style-type: none"> <li>汚水ポンプ 内部（羽根車等）含む</li> <li>オイル交換</li> <li>水位計</li> <li>ポンプ制御盤内機器点検</li> <li>その他付属設備</li> </ul>	汚水ポンプ引上げ点検 オイル、オイルシール等 小部品の部品交換含む
鬼無里	15箇所	A: 巡視点検・清掃	13	4回/年	<ul style="list-style-type: none"> <li>マンホール内、外部点検</li> <li>汚水ポンプ動作状況</li> <li>水位計動作状況</li> <li>絶縁抵抗測定</li> <li>ポンプ制御盤内機器点検</li> <li>通報装置</li> <li>その他付属設備</li> <li>マンホール内洗浄</li> </ul>	目視による状態動作確認 運転データ記録 施設内外の清掃（除草、除雪作業は適宜実施） 各機器洗浄含む
		B: ポンプ定期点検	13	1回/年	精密点検 <ul style="list-style-type: none"> <li>汚水ポンプ 内部（羽根車等）含む</li> <li>オイル交換</li> <li>水位計</li> <li>ポンプ制御盤内機器点検</li> <li>その他付属設備</li> </ul>	汚水ポンプ引上げ点検 オイル、オイルシール等 小部品の部品交換含む

マンホールポンプ場維持管理

マンホールポンプ場の保守点検は下表を参考にする。

マンホールポンプ場	主な点検内容	点検箇所数	点検頻度	主な点検箇所	備考	
信州新町	11箇所	A: 巡視点検・清掃	11	4回/年	<ul style="list-style-type: none"> <li>マンホール内、外部点検</li> <li>汚水ポンプ動作状況</li> <li>水位計動作状況</li> <li>絶縁抵抗測定</li> <li>ポンプ制御盤内機器点検</li> <li>通報装置</li> <li>その他付属設備</li> <li>マンホール内洗浄</li> </ul>	目視による状態動作確認 運転データ記録 施設内外の清掃（除草、除雪作業は適宜実施） 各機器洗浄含む
		B: ポンプ定期点検	11	1回/年	精密点検 <ul style="list-style-type: none"> <li>汚水ポンプ 内部（羽根車等）含む</li> <li>オイル交換</li> <li>水位計</li> <li>ポンプ制御盤内機器点検</li> <li>その他付属設備</li> </ul>	汚水ポンプ引上げ点検 オイル、オイルシール等 小部品の部品交換含む
中条	38箇所	A: 巡視点検・清掃	37	4回/年	<ul style="list-style-type: none"> <li>マンホール内、外部点検</li> <li>汚水ポンプ動作状況</li> <li>水位計動作状況</li> <li>絶縁抵抗測定</li> <li>ポンプ制御盤内機器点検</li> <li>通報装置</li> <li>その他付属設備</li> <li>マンホール内洗浄</li> </ul>	目視による状態動作確認 運転データ記録 施設内外の清掃（除草、除雪作業は適宜実施） 各機器洗浄含む
		B: ポンプ定期点検	37	1回/年	精密点検 <ul style="list-style-type: none"> <li>汚水ポンプ 内部（羽根車等）含む</li> <li>オイル交換</li> <li>水位計</li> <li>ポンプ制御盤内機器点検</li> <li>その他付属設備</li> </ul>	汚水ポンプ引上げ点検 オイル、オイルシール等 小部品の部品交換含む
共通		C: 報告書作成				

- ・ A、Bの点検については、同日に実施できるものとする。
- ・ Aは3ヶ月毎に実施する。

別表第2-9

## 移動式汚泥処理施設維持管理

	機器名称	点検箇所・部分	日常点検	1ヶ月点検	6ヶ月点検	1年点検
車 体	エンジン(ディーゼル)	通常運行前点検に順ずる		○		
	ブレーキ	〃	○	○		
	保安器具	〃	○	○		
	タイヤ	〃	○	○		
	バッテリー	〃	○	○	○	
	車体外観	ボデー、アウトリガージャッキ	○	○		
	試走	15分程度		○		
脱 水 機	電気設備	制御盤	○	○		
		中継端子盤	○	○		○
		ケーブル	○	○		
	発電機			○	○	○
	汚泥供給設備	汚泥調質槽攪拌機	○	○		○
		造粒濃縮槽攪拌機	○	○		○
		造粒汚泥供給ポンプ	○	○		○
	汚泥脱水機	本体	○	○		
	ろ布駆動機	変速部・減速部	○	○		○
	ろ布蛇行修正装置		○	○		
	油圧ユニット		○	○		
	ろ布洗浄ポンプ		○	○		○
	ろ布洗浄ノズル			○		
	ろ布洗浄水槽		○	○		○
	pH計		○	○		
	薬品供給設備	無機凝集剤タンク	○	○		○
		無機凝集剤ポンプA, B	○	○		○
		高分子凝集剤 希釈水槽・原液貯留槽	○	○		○
		高分子凝集剤 注入ポンプ	○	○		
		高分子凝集剤 溶解ポンプ	○	○		○
搬送設備	ケーキ搬送コンベアNo1, 2	○	○		○	
その他設備	ろ布本体	○	○			



別表第2-10

非常通報装置バッテリー交換

設置後3年毎に故障通報装置のバッテリー交換を行うもの。  
以下表の「バッテリー交換」と記載のある箇所について実施すること。

処理場名	型式	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
		経過年数	修繕内容	経過年数	修繕内容	経過年数	修繕内容	経過年数	修繕内容	経過年数	修繕内容
戸隠高原浄化センター	CSDX	12		13		14	更新	15		16	
豊岡浄化センター	CSDX	11		12		13	更新	1		2	
鬼無里浄化センター	CSDJ-H	2		3	バッテリー交換	4		5		6	バッテリー交換
新町浄化センター	CSDJ-H	1		2		3	バッテリー交換	4		5	
中条浄化センター	CSDJ-H	6	バッテリー交換	7		8		9	バッテリー交換	10	
合計箇所数		1		1		1		1		1	

\*CSDX, CSDJ-H : コルソス (NEC)

別表第2-11

マンホールポンプ場定期整備

設置後8年を経過した水位計についてペロフラムの交換を行い、水位計修繕及び校正を実施するもの。  
 設置後3年毎に故障通報装置のバッテリー交換を行うもの。  
 以下表の「水位計修繕」、「バッテリー交換」と記載のある箇所について実施すること。

番号	ポンプ場名	種別	型式	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				経過年数	修繕内容	経過年数	修繕内容	経過年数	修繕内容	経過年数	修繕内容	経過年数	修繕内容
51-1	奥社入口	水位計	ML-122	7		8	水位計修繕	9		10		11	
		非常通報装置	CSDJ-D	6	バッテリー交換	7		8		9	バッテリー交換	10	
51-2	竹細工センター	水位計	ML-122	7		8	水位計修繕	9		10		11	
		非常通報装置	CSDJ-D	6	バッテリー交換	7		8		9	バッテリー交換	10	
51-3	民俗館上	水位計	ML-122	7		8	水位計修繕	9		10		11	
		非常通報装置	CSDJ-D	6	バッテリー交換	7		8		9	バッテリー交換	10	
51-4	午王峯北	水位計	ML-122	7		8	水位計修繕	9		10		11	
		非常通報装置	CSDJ-D	6	バッテリー交換	7		8		9	バッテリー交換	10	
51-5	午王峯南	水位計	ML-122	7		8	水位計修繕	9		10		11	
		非常通報装置	CSDJ-D	6	バッテリー交換	7		8		9	バッテリー交換	10	
51-6	ヴィラ戸隠	水位計	ML-122	7		8	水位計修繕	9		10		11	
		非常通報装置	CSDJ-D	6	バッテリー交換	7		8		9	バッテリー交換	10	
51-7	ダイフク横	水位計	ML-122	7		8	水位計修繕	9		10		11	
		非常通報装置	CSDJ-D	6	バッテリー交換	7		8		9	バッテリー交換	10	
51-8	タンネ前	水位計	ML-122	7		8	水位計修繕	9		10		11	
		非常通報装置	CSDJ-D	6	バッテリー交換	7		8		9	バッテリー交換	10	
51-9	シャレー	水位計	ML-122	7		8	水位計修繕	9		10		11	
		非常通報装置	CSDJ-D	6	バッテリー交換	7		8		9	バッテリー交換	10	
51-10	白樺ロッジ前	水位計	ML-122	7		8	水位計修繕	9		10		11	
		非常通報装置	CSDJ-D	6	バッテリー交換	7		8		9	バッテリー交換	10	
51-11	植物園前	水位計	ML-122	7		8	水位計修繕	9		10		11	
		非常通報装置	CSDJ-D	6	バッテリー交換	7		8		9	バッテリー交換	10	
51-12	越水ロッジ	水位計	ML-122	7		8	水位計修繕	9		10		11	
		非常通報装置	CSDJ-D	6	バッテリー交換	7		8		9	バッテリー交換	10	
51-13	越水ロッジ南	水位計	ML-122	7		8	水位計修繕	9		10		11	
		非常通報装置	CSDJ-D	6	バッテリー交換	7		8		9	バッテリー交換	10	
51-14	モミの木山荘	水位計	ML-122	7		8	水位計修繕	9		10		11	
		非常通報装置	—										
51-15	諏訪宅	水位計	ML-122	7		8	水位計修繕	9		10		11	
		非常通報装置	—										
51-16	飯島宅	水位計	ML-122	8		※9	水位計修繕	10		11		12	
		非常通報装置	—										
51-17	中央	水位計	ML-122	7		8	水位計修繕	9		10		11	
		非常通報装置	CSDJ-D	6	バッテリー交換	7		8		9	バッテリー交換	10	
51-18	あわら	水位計	ML-122	7		8	水位計修繕	9		10		11	
		非常通報装置	CSDJ-D	6	バッテリー交換	7		8		9	バッテリー交換	10	
51-19	保育園	水位計	ML-122	7		8	水位計修繕	9		10		11	
		非常通報装置	CSDJ-D	6	バッテリー交換	7		8		9	バッテリー交換	10	
51-20	坂本	水位計	ML-122	7		8	水位計修繕	9		10		11	
		非常通報装置	CSDJ-D	6	バッテリー交換	7		8		9	バッテリー交換	10	
51-21	ふたん沢	水位計	ML-122	7		8	水位計修繕	9		10		11	
		非常通報装置	CSDJ-D	6	バッテリー交換	7		8		9	バッテリー交換	10	
51-22	西根	水位計	ML-122	7		8	水位計修繕	9		10		11	
		非常通報装置	CSDJ-D	6	バッテリー交換	7		8		9	バッテリー交換	10	
51-23	深雪山荘	水位計	ML-122	7		8	水位計修繕	9		10		11	
		非常通報装置	—										
51-24	柳沢宅	水位計	ML-122	7		8	水位計修繕	9		10		11	
		非常通報装置	—										
51-25	水源地	水位計	—										
		非常通報装置	—										
51-26	矢後宅	水位計	ML-122	7		8	水位計修繕	9		10		11	
		非常通報装置	—										
51-27	高橋宅	水位計	ML-122	7		8	水位計修繕	9		10		11	
		非常通報装置	—										
52-1	諸沢	水位計	ML-122	5		6		7		8	水位計修繕	9	
		非常通報装置	CSDJ-D	6	バッテリー交換	7		8		9	バッテリー交換	10	
52-2	諸沢上	水位計	ML-122×2台	5		6		7		8	水位計修繕	9	
		非常通報装置	CSDJ-D	6	バッテリー交換	7		8		9	バッテリー交換	10	
52-3	二条	水位計	ML-122	5		6		7		8	水位計修繕	9	
		非常通報装置	CSDJ-D	6	バッテリー交換	7		8		9	バッテリー交換	10	
52-4	大中	水位計	ML-122	5		6		7		8	水位計修繕	9	
		非常通報装置	CSDJ-D	6	バッテリー交換	7		8		9	バッテリー交換	10	
52-5	中村	水位計	ML-122	5		6		7		8	水位計修繕	9	
		非常通報装置	CSDJ-D	6	バッテリー交換	7		8		9	バッテリー交換	10	
52-6	上楡木	水位計	ML-122	5		6		7		8	水位計修繕	9	
		非常通報装置	CSDJ-D	6	バッテリー交換	7		8		9	バッテリー交換	10	
52-7	中島	水位計	ML-122	5		6		7		8	水位計修繕	9	
		非常通報装置	CSDJ-D	6	バッテリー交換	7		8		9	バッテリー交換	10	
52-8	尾上	水位計	ML-122	5		6		7		8	水位計修繕	9	
		非常通報装置	CSDJ-D	6	バッテリー交換	7		8		9	バッテリー交換	10	
52-9	原	水位計	ML-122	5		6		7		8	水位計修繕	9	
		非常通報装置	CSDJ-D	6	バッテリー交換	7		8		9	バッテリー交換	10	
52-10	銚子口	水位計	ML-122	5		6		7		8	水位計修繕	9	
		非常通報装置	CSDJ-D	6	バッテリー交換	7		8		9	バッテリー交換	10	
52-11	和沢	水位計	ML-122	5		6		7		8	水位計修繕	9	
		非常通報装置	CSDJ-D	6	バッテリー交換	7		8		9	バッテリー交換	10	

番号	ポンプ場名	種別	型式	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				経過年数	修繕内容	経過年数	修繕内容	経過年数	修繕内容	経過年数	修繕内容	経過年数	修繕内容
52-12	鳥居原	水位計	ML-122	5		6		7		8	水位計修繕	9	
		非常通報装置	CSDJ-D	6	バッテリー交換	7		8		9	バッテリー交換	10	
52-13	西	水位計	ML-122	5		6		7		8	水位計修繕	9	
		非常通報装置	—										
52-14	中林 (中耕)	水位計	—										
		非常通報装置	—										
52-15	小林 (役場下)	水位計	ML-122	5		6		7		8	水位計修繕	9	
		非常通報装置	—										
52-16	長峰	水位計	ML-122	5		6		7		8	水位計修繕	9	
		非常通報装置	—										
52-17	峰村	水位計	ML-122	5		6		7		8	水位計修繕	9	
		非常通報装置	—										
52-18	市川	水位計	—										
		非常通報装置	—										
52-19	平沢	水位計	ML-122	5		6		7		8	水位計修繕	9	
		非常通報装置	CSDJ-D	6	バッテリー交換	7		8		9	バッテリー交換	10	
52-20	折橋	水位計	ML-122	5		6		7		8	水位計修繕	9	
		非常通報装置	CSDJ-D	6	バッテリー交換	7		8		9	バッテリー交換	10	
52-21	豊岡処理場前	水位計	ML-122	5		6		7		8	水位計修繕	9	
		非常通報装置	CSDJ-D	6	バッテリー交換	7		8		9	バッテリー交換	10	
52-22	下楠川	水位計	ML-122	5		6		7		8	水位計修繕	9	
		非常通報装置	CSDJ-D	6	バッテリー交換	7		8		9	バッテリー交換	10	
52-23	下楠川下	水位計	ML-122	5		6		7		8	水位計修繕	9	
		非常通報装置	CSDJ-D	6	バッテリー交換	7		8		9	バッテリー交換	10	
52-24	母袋	水位計	ML-122	5		6		7		8	水位計修繕	9	
		非常通報装置	CSDJ-D	6	バッテリー交換	7		8		9	バッテリー交換	10	
52-25	奈良尾	水位計	ML-122	5		6		7		8	水位計修繕	9	
		非常通報装置	CSDJ-D	6	バッテリー交換	7		8		9	バッテリー交換	10	
52-26	中ノ地	水位計	気泡式 PA20										
		非常通報装置	—										
52-27	下楠川 原山	水位計	ML-122	5		6		7		8	水位計修繕	9	
		非常通報装置	—										
52-28	宇和原 原山	水位計	ML-122	5		6		7		8	水位計修繕	9	
		非常通報装置	—										
52-29	塚田	水位計	気泡式 PA10										
		非常通報装置	—										
52-30	小嶋	水位計	ML-122	5		6		7		8	水位計修繕	9	
		非常通報装置	—										
53-1	下新倉	水位計	ML-122	4		5		6		7		8	水位計修繕
		非常通報装置	CSDJ-D	4		5		6	バッテリー交換	7		8	
53-2	森林組合	水位計	ML-122	4		5		6		7		8	水位計修繕
		非常通報装置	CSDJ-D	4		5		6	バッテリー交換	7		8	
53-3	越上り上	水位計	ML-122	4		5		6		7		8	水位計修繕
		非常通報装置	CSDJ-D	4		5		6	バッテリー交換	7		8	
53-4	越上り下	水位計	ML-122	4		5		6		7		8	水位計修繕
		非常通報装置	CSDJ-D	4		5		6	バッテリー交換	7		8	
53-5	須田町	水位計	ML-122	4		5		6		7		8	水位計修繕
		非常通報装置	CSDJ-D	4		5		6	バッテリー交換	7		8	
53-6	下沖	水位計	ML-122	4		5		6		7		8	水位計修繕
		非常通報装置	CSDJ-D	4		5		6	バッテリー交換	7		8	
53-7	南町	水位計	ML-122	4		5		6		7		8	水位計修繕
		非常通報装置	CSDJ-D	4		5		6	バッテリー交換	7		8	
53-8	坂口団地	水位計	ML-122	4		5		6		7		8	水位計修繕
		非常通報装置	CSDJ-D	4		5		6	バッテリー交換	7		8	
53-9	和田	水位計	ML-122	4		5		6		7		8	水位計修繕
		非常通報装置	CSDJ-D	4		5		6	バッテリー交換	7		8	
53-10	ワナヅ沢	水位計	ML-122	4		5		6		7		8	水位計修繕
		非常通報装置	CSDJ-D	4		5		6	バッテリー交換	7		8	
53-11	小橋	水位計	ML-122	4		5		6		7		8	水位計修繕
		非常通報装置	CSDJ-D	4		5		6	バッテリー交換	7		8	
53-12	四角面 (東町)	水位計	ML-122	4		5		6		7		8	水位計修繕
		非常通報装置	—										
53-13	蓬平	水位計	ML-122	4		5		6		7		8	水位計修繕
		非常通報装置	—										
53-14	松原	水位計	気泡式										
		非常通報装置	—										
53-15	和田2	水位計	気泡式										
		非常通報装置	—										
54-1	新町1号	水位計	ML-122	10		11		12		13		14	
		非常通報装置	CSDJ-D	3	バッテリー交換	4		5		6	バッテリー交換	7	
54-2	新町2号	水位計	ML-122	9		10		11		12		13	
		非常通報装置	CSDJ-D	3	バッテリー交換	4		5		6	バッテリー交換	7	
54-3	新町3号	水位計	ML-122	4		5		6		7		8	
		非常通報装置	CSDJ-D	3	バッテリー交換	4		5		6	バッテリー交換	7	
54-4	竹房1号	水位計	LPR-10-16	11		12		13		14		15	
		非常通報装置	CSDJ-D	3	バッテリー交換	4		5		6	バッテリー交換	7	
54-5	竹房2号	水位計	ML-122	9		10		11		12		13	
		非常通報装置	CSDJ-D	3	バッテリー交換	4		5		6	バッテリー交換	7	
54-6	上条1号	水位計	LPR-10-16	10		11		12		13		14	
		非常通報装置	CSDJ-D	3	バッテリー交換	4		5		6	バッテリー交換	7	

番号	ポンプ場名	種別	型式	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				経過年数	修繕内容	経過年数	修繕内容	経過年数	修繕内容	経過年数	修繕内容	経過年数	修繕内容
54-7	上条2号	水位計	LPR-10-16	11		12		13		14		15	
		非常通報装置	CSDJ-D	3	バッテリー交換	4		5		6	バッテリー交換	7	
54-8	上条3号	水位計	ML-122	10		11		12		13		14	
		非常通報装置	CSDJ-D	3	バッテリー交換	4		5		6	バッテリー交換	7	
54-9	上条4号	水位計	ML-122	9		10		11		12		13	
		非常通報装置	CSDJ-D	3	バッテリー交換	4		5		6	バッテリー交換	7	
54-10	上条5号	水位計	—										
		非常通報装置	—										
54-11	穂刈1号	水位計	LPR-10-16	11		12		13		14		15	
		非常通報装置	CSDJ-D	3	バッテリー交換	4		5		6	バッテリー交換	7	
55-1	大野	水位計	ML-122	9		10		11		12		13	
		非常通報装置	CSDJ-D	8		9	バッテリー交換	10		11		12	バッテリー交換
55-2	住良木団地	水位計	ML-122	9		10		11		12		13	
		非常通報装置	CSDJ-D	8		9	バッテリー交換	10		11		12	バッテリー交換
55-3	寒沢	水位計	LPR-10-16	11		12		13		14		15	
		非常通報装置	CSDJ-D	8		9	バッテリー交換	10		11		12	バッテリー交換
55-4	保高第1	水位計	LPR-10-16	11		12		13		14		15	
		非常通報装置	CSDJ-D	8		9	バッテリー交換	10		11		12	バッテリー交換
55-5	保高第2	水位計	ML-122	9		10		11		12		13	
		非常通報装置	CSDJ-D	8		9	バッテリー交換	10		11		12	バッテリー交換
55-6	道の駅	水位計	ML-122	9		10		11		12		13	
		非常通報装置	CSDJ-D	8		9	バッテリー交換	10		11		12	バッテリー交換
55-7	月夜棚第1	水位計	ML-122	9		10		11		12		13	
		非常通報装置	CSDJ-D	8		9	バッテリー交換	10		11		12	バッテリー交換
55-8	月夜棚第2	水位計	ML-122	9		10		11		12		13	
		非常通報装置	CSDJ-D	8		9	バッテリー交換	10		11		12	バッテリー交換
55-9	青木第1	水位計	LPR-10-16	11		12		13		14		15	
		非常通報装置	CSDJ-D	8		9	バッテリー交換	10		11		12	バッテリー交換
55-10	青木第2	水位計	ML-122	9		10		11		12		13	
		非常通報装置	CSDJ-D	8		9	バッテリー交換	10		11		12	バッテリー交換
55-11	長谷鳥	水位計	LPR-10-16	11		12		13		14		15	
		非常通報装置	CSDJ-D	8		9	バッテリー交換	10		11		12	バッテリー交換
55-12	宮	水位計	ML-122	9		10		11		12		13	
		非常通報装置	CSDJ-D	8		9	バッテリー交換	10		11		12	バッテリー交換
55-13	古町	水位計	ML-122	9		10		11		12		13	
		非常通報装置	CSDJ-D	8		9	バッテリー交換	10		11		12	バッテリー交換
55-14	町南	水位計	ML-122	9		10		11		12		13	
		非常通報装置	CSDJ-D	8		9	バッテリー交換	10		11		12	バッテリー交換
55-15	町北	水位計	ML-122	9		10		11		12		13	
		非常通報装置	CSDJ-D	8		9	バッテリー交換	10		11		12	バッテリー交換
55-16	大畠	水位計	LPR-10-16	11		12		13		14		15	
		非常通報装置	CSDJ-D	8		9	バッテリー交換	10		11		12	バッテリー交換
55-17	境の沢	水位計	ML-122	3		4		5		6		7	
		非常通報装置	CSDJ-D	8		9	バッテリー交換	10		11		12	バッテリー交換
55-18	市ノ瀬	水位計	ML-122	2		3		4		5		6	
		非常通報装置	CSDJ-D	8		9	バッテリー交換	10		11		12	バッテリー交換
55-19	下五十里第1	水位計	LPR-10-16	11		12		13		14		15	
		非常通報装置	CSDJ-D	8		9	バッテリー交換	10		11		12	バッテリー交換
55-20	下五十里第2	水位計	ML-122	9		10		11		12		13	
		非常通報装置	CSDJ-D	8		9	バッテリー交換	10		11		12	バッテリー交換
55-21	下五十里第3	水位計	—										
		非常通報装置	—										
55-22	上五十里団地第1	水位計	ML-122	9		10		11		12		13	
		非常通報装置	CSDJ-D	8		9	バッテリー交換	10		11		12	バッテリー交換
55-23	上五十里団地第2	水位計	ML-122	9		10		11		12		13	
		非常通報装置	CSDJ-D	8		9	バッテリー交換	10		11		12	バッテリー交換
55-24	大久保宅	水位計	—										
		非常通報装置	—										
55-25	松本宅	水位計	—										
		非常通報装置	—										
55-26	壇原宅	水位計	—										
		非常通報装置	—										
55-27	早川宅	水位計	—										
		非常通報装置	—										
55-28	堀切	水位計	ML-122	9		10		11		12		13	
		非常通報装置	CSDJ-D	8		9	バッテリー交換	10		11		12	バッテリー交換
55-29	宮西	水位計	ML-122	9		10		11		12		13	
		非常通報装置	CSDJ-D	8		9	バッテリー交換	10		11		12	バッテリー交換
55-30	梨木早川宅	水位計	ML-122	9		10		11		12		13	
		非常通報装置	—										
55-31	松本宅	水位計	—										
		非常通報装置	—										
55-32	宮沢宅	水位計	—										
		非常通報装置	—										
55-33	溝口宅	水位計	—										
		非常通報装置	—										
55-34	月夜棚宮尾宅	水位計	—										
		非常通報装置	—										

番号	ポンプ場名	種別	型式	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
				経過年数	修繕内容	経過年数	修繕内容	経過年数	修繕内容	経過年数	修繕内容	経過年数	修繕内容
55-35	コーメックス	水位計	ML-122	9		10		11		12		13	
		非常通報装置	—										
55-36	西澤宅	水位計	—										
		非常通報装置	—										
55-37	酒井宅	水位計	—										
		非常通報装置	—										
55-38	住良木	水位計	ML-122	5		6		7		8		9	
		非常通報装置	CSDJ-D	5		6	バッテリー交換	7		8		9	バッテリー交換
合計箇所数		水位計修繕		0		26		0		27		13	
		バッテリー取替		48		25		11		48		25	

\*CSDJ-D：コルソス（NEC） \*ML-122・MC-123：投込圧力式水位計（JFE） \*LPR-10-16：投込式圧力水位計（WaterAgency）

## 土木・建築及び建築付帯設備

大分類	中分類	小分類（対象施設）		設置年月	経過 年数	診断項目		評価	備考
						機能	劣化		
管理棟	躯体	仕様	鉄筋コンクリート造	1992年12月	30	○	○	○	
				1992年12月	30	○	△	△	
	仕上	内装	床	1992年12月	30	○	△	△	
				1992年12月	30	○	△	△	
				1992年12月	30	○	○	○	
				1992年12月	30	○	△	△	
		外装（壁）	1992年12月	30	○	△	△		
		屋根仕上げ	1992年12月	30	○	△	△		
	防水	塗装		1992年12月	30	○	○	○	
				1992年12月	30	○	○	○	
	防水	屋根防水		1992年12月	30	○	○	○	
		水槽防水		1992年12月	30	○	○	○	
	建具	サッシ	ドア	1992年12月	30	○	○	○	
				1992年12月	30	○	○	○	
				1992年12月	30	○	△	△	
	金属物	シャッター	タラップ	1992年12月	30	○	○	○	
				1992年12月	30	○	○	○	
				1992年12月	30	○	△	△	
				1992年12月	30	○	○	○	
				1992年12月	30	○	○	○	
管理棟	付帯設備	給排水衛生ガス設備	衛生器具	1992年12月	30	○	○	○	
			ガス設備	1992年12月	30	○	○	○	
			ガス給湯器	1992年12月	30	○	○	○	
			給水管・水栓・排水管・ガス管	1992年12月	30	○	○	○	
			受水槽	1992年12月	30	○	○	○	
		空調換気設備	温水ボイラ	1992年12月	30	○	○	○	
			ファンコイル	1992年12月	30	○	○	○	
	燃料タンク	1992年12月	30	○	○	○	灯油タンク950L		
	ファン	1992年12月	30	○	○	○			

土木・建築及び建築付帯設備

大分類	中分類	小分類（対象施設）		設置年月	経過 年数	診断項目		評価	備考	
						機能	劣化			
管理棟 付帯設備	電気設備	電灯分電盤		1992年12月	30	○	○	○	M・L-1-3, M・L-1-1, S・LP-1-1, D・LP-1-1	
		照明器具		1992年12月	30	○	○	○		
		アンプ		1992年12月	30	○	○	○		
		スピーカ		1992年12月	30	○	○	○		
		電話器類	プッシュホン式	1992年12月	30	○	○	○		
		接地端子類		1992年12月	30	○	○	○		接地端子箱
		動力制御盤	ファン	1992年12月	30	○	○	○		D・L-1-1, S・LP-1-1, M・P-2-1, M・M-1-1
		配線・配管類・配管器具		1992年12月	30	○	○	○		
	消火災害防止設備	受信機		1992年12月	30	○	○	○	2F事務所 端子箱 (D・T-1-1)	
		感知器		1992年12月	30	○	○	○		
配線・配管類・配管器具			1992年12月	30	○	○	○			
水処理施設	最終沈殿池	躯体	仕様	鉄筋コンクリート造	1992年12月	30	○	○	○	
	塩素混和池	躯体	仕様	鉄筋コンクリート造	1992年12月	30	○	○	○	
汚泥処理施設	汚泥濃縮タンク	躯体	仕様	鉄筋コンクリート造	1992年12月	30	○	○	○	
		付帯設備	内部防食		1992年12月	30	○	○	○	
			手摺		1992年12月	30	○	○	○	
			グレーチング		1992年12月	30	○	○	○	
		簡易覆蓋		1992年12月	30	○	○	○		

戸隠高原浄化センター施設機能診断集計表

2023年9月

機械設備

大分類	中分類	小分類 (対象施設)		設置年月	経過 年数	診断項目		評価	備考
						機能	劣化		
沈砂池設備	スクリーンかす設備	微細目スクリーン		1996年3月	27	○	○	○	
		自動除塵機		1996年3月	27	○	○	○	
	汚水沈砂設備	揚砂ポンプ		1996年3月	27	○	○	○	
水処理設備	反応タンク設備	スクリー型曝気機	No. 1-1, 1-4	1996年3月	27	○	○	○	
			No. 1-2, 1-3	1996年3月	27	○	○	○	
			No. 2-1, 2-3	2000年3月	23	○	○	○	
			No. 2-2, 2-4	2000年3月	23	○	△	△	2-2号振動
	最終沈殿池設備	汚泥かき寄せ機	No. 1	1996年3月	27	○	○	○	
			No. 2	2000年3月	23	○	○	○	
		スカム移送ポンプ	1号	2015年3月	8	○	○	○	
			2号	2018年1月	5	○	○	○	
		返送汚泥ポンプ	No. 1-1, 1-2	1996年3月	27	○	○	○	
			No. 2-1, 2-2	2000年3月	23	○	○	○	
	余剰汚泥ポンプ		1996年3月	27	○	○	○		
	消毒設備	次亜塩注入装置		1996年3月	27	○	△	△	接触開度ボルト(塩ビ)破損
	用水設備	処理水ストレーナー		1996年3月	27	○	○	○	
自動給水装置			1996年3月	27	○	○	○		
汚泥処理設備	汚泥濃縮設備	汚泥かき寄せ機		1996年3月	27	○	△	△	スカムスキマー連動転倒後元に戻らない
		汚泥引抜ポンプ		1996年3月	27	○	○	○	
	汚泥貯留設備	機械式攪拌機		1996年3月	27	○	○	○	
	調質設備	凝集剤注入装置 (有機、無機)	薬品溶解タンク	2000年3月	23	○	○	○	
			薬品供給機	2000年3月	23	○	○	○	
			空気圧縮機	2000年3月	23	○	○	○	
			薬品供給ポンプ	2000年3月	23	○	○	○	
	汚泥脱水設備	汚泥脱水機	遠心	1996年12月	26	○	○	○	
		汚泥供給ポンプ	No. 1, 2	2000年3月	23	○	○	○	
	建設資材利用設備	貯留設備	ケーキ貯留ホッパ	2000年3月	23	○	○	○	



機械設備

大分類	中分類	小分類 (対象施設)		設置年月	経過 年数	診断項目		評価	備考
						機能	劣化		
付帯設備	ゲート設備	流入ゲート	流入	1996年3月	27	○	○	○	
			終沈	1996年3月	27	○	○	○	
			塩素接触タンク	1996年3月	27	○	○	○	
		バイパスゲート	塩素接触タンク	1996年3月	27	○	○	○	
		連絡ゲート	流出ピット	1996年3月	27	○	○	○	
		可動堰	分水槽	1996年3月	27	○	○	○	
			ディチ流出	1996年3月	27	○	○	○	
	クレーン類物あげ装置	クレーン類物あげ装置	搬出用	1996年3月	27	○	○	○	
			曝気装置用	1996年3月	27	○	○	○	
			終沈ポンプ用	1996年3月	27	○	○	○	
			給水ポンプ吊上用	1996年3月	27	○	○	○	
			脱水機点検用	1996年3月	27	○	○	○	
	配管類	給水	給水	1996年3月	27	○	○	○	
			送泥、排水	1996年3月	27	○	○	○	
			送泥、排水(2)	2000年3月	23	○	○	○	
	脱臭設備	活性炭吸着装置	1996年3月	27	○	○	○		
		脱臭ファン	1996年3月	27	○	○	○		
	ポンプ類	床排水ポンプ	管理棟	1996年3月	27	○	○	○	
			終沈	1996年3月	27	○	○	○	

戸隠高原浄化センター施設機能診断集計表

2023年9月

電気設備

大分類	中分類	小分類 (対象施設)		設置年月	経過 年数	診断項目		評価	備考	
						機能	劣化			
電気計装設備	受変電設備	断路器	HP-1	1996年3月	27	○	○	○		
		遮断機		2019年9月	4	○	○	○		
		変圧器盤	HP-2	1996年3月	27	○	○	○		
		低圧主幹盤	LP-1	1996年3月	27	○	○	○		
		柱上開閉器	PAS	2019年9月	4	○	○	○		
	制御電源及び計装用電源	汎用UPS		2019年10月	3	○	○	○		
	負荷設備	コントロールセンタ (補助リレー盤含む)	C/C-1A(1)(水処理設備-1)		1996年3月	27	○	○	○	
			C/C-1A(2)(水処理設備-1)		1996年3月	27	○	○	○	
			C/C-1A(3)(水処理設備-1)		2000年3月	23	○	○	○	
			C/C-1B(1)(水処理設備-2)		2000年3月	23	○	○	○	
			C/C-1B(2)(水処理設備-2)		2000年3月	23	○	○	○	
			C/C-2(1)(汚泥処理設備)		1996年3月	27	○	○	○	
			C/C-2(2)(汚泥処理設備)		1996年12月	26	○	○	○	
			RY-1A(1)(水処理設備-1)		1996年3月	27	○	○	○	
			RY-1A(2)(水処理設備-1)		1996年3月	27	○	○	○	
			RY-1B(1)(水処理設備-2)		2000年3月	23	○	○	○	
			RY-2(1)(汚泥処理設備)		2000年3月	23	○	○	○	
			RY-2(2)(汚泥処理設備)		2000年3月	23	○	○	○	
	計装設備	流量計	放流流量		2015年11月	7	○	○	○	
			返送汚泥流量1系		1996年3月	27	○	○	○	
			返送汚泥流量2系		2000年3月	23	○	○	○	
			余剰汚泥流量		2019年10月	3	○	○	○	
			脱水機供給汚泥流量		2019年10月	3	○	○	○	
			脱水機供給薬品流量		2000年3月	23	○	○	○	
		レベル計	汚泥貯留タンク液位		2019年10月	3	○	○	○	
			薬品溶解タンク液位		2000年3月	23	○	○	○	
		DO計	1系(蛍光式溶存酸素計)		2012年9月	11	○	○	○	
			2系(蛍光式溶存酸素計)		2012年9月	11	○	○	○	
		濃度計	1系返送汚泥濃度		1996年3月	27	△	○	△	
			2系返送汚泥濃度		2000年3月	23	△	○	△	
			脱水機供給汚泥濃度		2019年10月	3	○	△	△	

電気設備

大分類	中分類	小分類 (対象施設)	設置年月	経過 年数	診断項目		評価	備考	
					機能	劣化			
電気計装設備	監視制御設備	現場盤	LCB-101(自動除塵機)	1996年3月	27	○	△	△	
			LCB-102(床排水ポンプ)	1996年3月	27	○	○	○	
			LCB-305(脱臭ファン)	1996年3月	27	○	○	○	
			LCB-201A(No. 1曝気)	1996年3月	27	○	○	○	
			LCB-201B(No. 2曝気)	1996年3月	27	○	○	○	
			LCB-202(終沈掻寄機)	1996年3月	27	○	○	○	
			LCB-203(返送汚泥)	1996年3月	27	○	○	○	
			LCB-204(終沈床排P)	1996年3月	27	○	○	○	
			LCB-301(濃タン掻寄)	1996年12月	26	○	○	○	
			LCB-302(汚泥供給P)	1996年12月	26	○	○	○	
			LCB-303(薬品供給P)	2000年3月	23	○	○	○	
			LCB-201C(No. 3曝気)	2000年3月	23	○	○	○	
			LCB-201D(No. 4曝気)	2000年3月	23	○	○	○	
			LCB-304(ケーキ貯留)	2000年3月	23	○	△	△	
		計装計器盤	KP-1	1996年3月	27	○	○	○	
	監視盤	MGP1, 2	1996年3月	27	○	○	○		
	中継端子盤	SQC-3	1996年3月	27	○	○	○		
		TB-1	1996年3月	27	○	○	○		
	中央補助継電器盤	RY-C-1(1)(1系水処理)	2019年10月	3	○	○	○		
		RY-C-1(1)(1系水処理)	2019年10月	3	○	○	○		
		RY-C-2(1)(汚泥処理)	2019年10月	3	○	○	○		
		RY-C-2(2)(汚泥処理)	2019年10月	3	○	○	○		
		RY-C-3(2系水処理)	2019年10月	3	○	○	○		
		RY-C-4(1)(グラパネ)	2019年10月	3	○	○	○		
		RY-C-4(2)(グラパネ)	2019年10月	3	○	○	○		
	通信装置	非常通報装置	2013年2月	10	○	○	○		
	ケーブル配管類	動力線	CV	1998年3月	25	○	○	○	
		制御線	CVV	1998年3月	25	○	○	○	
		計装線	CVV	1998年3月	25	○	○	○	
		ラック	アルミ	1998年3月	25	○	○	○	
ダクト		アルミ	1998年3月	25	○	○	○		
電線管		GP	1998年3月	25	○	○	○		

## 土木・建築及び建築付帯設備

大分類	中分類	小分類（対象施設）		設置年月	経過 年数	診断項目		評価	備考		
						機能	劣化				
管理棟	躯体	仕様	鉄筋コンクリート造	1999年3月	24	○	○	○			
			仕上	内装	床	1999年3月	24	○	○	○	
				壁	1999年3月	24	○	△	△		
				天井	1999年3月	24	○	○	○		
		外装（壁）			1999年3月	24	○	△	△		
		屋根仕上げ			1999年3月	24	○	○	○		
		塗装			1999年3月	24	○	○	○		
		防水	屋根防水		1999年3月	24	○	○	○		
	水槽防水			1999年3月	24	○	○	○			
		建具	サッシ		1999年3月	24	○	○	○		
			ドア		1999年3月	24	○	○	○		
			シャッター		1999年3月	24	○	○	○		
		金属物	タラップ		1999年3月	24	○	○	○		
			ルーフドレン		1999年3月	24	○	○	○		
			階段		1999年3月	24	○	△	△		
			鉄蓋（車道部）		1999年3月	24	○	○	○		
			鉄蓋（その他）		1999年3月	24	○	○	○		
	管理棟	付帯設備	給排水衛生ガス設備	衛生器具		1999年3月	24	○	○	○	
				ガス設備		1999年3月	24	○	○	○	
				給水管・水栓・排水 管・ガス管		1999年3月	24	○	○	○	
空調換気設備			エアコン		1999年3月	24	○	○	○		
			ファン		1999年3月	24	○	○	○		
電気設備			電灯分電盤		1999年3月	24	○	○	○	L-1（屋外照明関係）	
			照明器具		1999年3月	24	○	○	○		
			電話器類	プッシュホン式	1999年3月	24	○	○	○		
			接地端子類		1999年3月	24	○	○	○	接地端子箱	
			配線・配管類・配管器具		1999年3月	24	○	○	○		
消火災害防止設備			配線・配管類・配管器具		1999年3月	24	○	○	○	消火器あり	

土木・建築及び建築付帯設備

大分類	中分類	小分類（対象施設）		設置年月	経過年数	診断項目		評価	備考									
						機能	劣化											
汚泥脱水棟	付帯設備	躯体	仕様	S造	2010年3月	13	○	○	○									
				壁	2010年3月	13	○	○	○									
		仕上		天井	2010年3月	13	○	○	○									
				外装（壁）	2010年3月	13	○	○	○									
				屋根仕上げ	2010年3月	13	○	○	○									
				塗装	2010年3月	13	○	○	○									
				防水	屋根防水	2010年3月	13	○	○	○								
		建具		サッシ	2010年3月	13	○	○	○									
				ドア	2010年3月	13	○	○	○									
				シャッター	2010年3月	13	○	○	○									
		電気設備		電灯分電盤	2010年3月	13	○	○	○									
				照明器具	2010年3月	13	○	○	○									
				接地端子類	2010年3月	13	○	○	○									
				配線・配管類・配管器具	2010年3月	13	○	○	○									
		消火災害防止設備	配線・配管類・配管器具	2010年3月	13	○	○	○	消火器、誘導灯設備									
水処理施設	最終沈殿池	躯体	仕様	鉄筋コンクリート造	1999年3月	24	○	○	○									
	塩素混和池	躯体	仕様	鉄筋コンクリート造	1999年3月	24	○	○	○									
	終沈スカムピット	躯体	仕様	鉄筋コンクリート造	1999年3月	24	○	○	○									
汚泥処理施設	汚泥ポンプ室	躯体	仕様	鉄筋コンクリート造	1999年3月	24	○	○	○									
											汚泥濃縮タンク	躯体	仕様	鉄筋コンクリート造	1999年3月	24	○	○
	付帯設備	内部防食	1999年3月	24	○	○	○											
		手摺	1999年3月	24	○	○	○											
		グレーチング	1999年3月	24	○	○	○											
簡易覆蓋		1999年3月	24	○	○	○												

豊岡浄化センター施設機能診断集計表

2023年9月

機械設備

大分類	中分類	小分類 (対象施設)		設置年月	経過 年数	診断項目		評価	備考	
						機能	劣化			
沈砂池設備	スクリーンかす設備	スクリーンユニット		1998年3月	25	○	○	○		
水処理設備	反応タンク設備	曝気装置	1号	1998年3月	25	○	○	○		
			2号	1998年3月	25	○	○	○		
			3号	1998年3月	25	○	○	○		
			4号	1998年3月	25	○	○	○		
			5号	1998年3月	25	○	○	○		
			6号	1998年3月	25	○	○	○		
	最終沈殿池設備	汚泥かき寄せ機			1998年3月	25	○	△	△	電動機へアリソグ部異音
		スカム除去装置			1998年3月	25	○	○	○	
		返送汚泥ポンプ	1号	1998年3月	25	○	○	○		
			2号	1998年3月	25	○	○	○		
	スカム移送ポンプ	1号	2016年6月	7	○	○	○			
		2号	2018年7月	5	○	○	○			
	消毒設備	塩素接触装置			1998年3月	25	○	△	△	塩素開度固定ボルト破損
塩混排泥ポンプ			2019年3月	4	○	○	○			
用水設備	処理水ストレーナー			1998年3月	25	○	○	○		
	自動給水装置			1998年3月	25	△	△	△	No1・2絶縁低下	
汚泥処理設備	汚泥輸送・前処理設備	汚泥計量分配槽		1998年3月	25	○	○	○		
	汚泥濃縮設備	汚泥かき寄せ機		1998年3月	25	○	△	△	シャフト部シール不良	
		汚泥引抜ポンプ			1998年3月	25	○	○	○	
	汚泥貯留設備	機械式攪拌機		2015年3月	8	○	○	○		
	汚泥脱水設備	汚泥供給ポンプ	1号	2015年12月	7	○	○	○		
			2号	2015年12月	7	○	○	○		
	移動脱水車			1996年3月	27	○	○	○		
付帯設備	クレーン類物あげ装置	クレーン類物あげ装置	チェーンブロック	1998年3月	25	○	○	○		
	配管類	給水		1998年3月	25	○	△	△	バルブ内部シール不良	
		送泥、排水			1998年3月	25	○	○	○	
	ポンプ類	床排水ポンプ		2021年8月	2	○	○	○		

## 電気設備

大分類	中分類	小分類（対象施設）		設置年月	経過 年数	診断項目		評価	備考
						機能	劣化		
電気計装設備	受変電設備	柱上開閉器	PAS	1998年3月	25	○	○	○	
		断路器盤	HP-1	1998年3月	25	○	△	△	
		遮断機盤		1998年3月	25	○	△	△	電流計不良
		変圧器盤	HP-2	1998年3月	25	○	△	△	
	負荷設備	動力制御盤	LP-1	1998年3月	25	○	○	○	
	計装設備	流量計	水量放流流量計	2017年9月	6	○	○	○	
		レベル計	終沈スカムビット	1998年3月	25	○	○	○	
			汚泥貯留タンク	1998年3月	25	○	△	△	レベルスイッチ動作不良
		DO計	蛍光式溶存酸素計	2019年3月	4	○	○	○	
	監視制御設備	シーケンスコントローラ	FPU120S(LP-1内)	1998年3月	25	○	○	○	
		現場盤	LCB-1(作業電源盤)	1998年3月	25	○	△	△	
			LCB-2(作業電源盤)	1998年3月	25	○	△	△	
		通信装置	非常通報装置	2013年2月	10	○	△	△	受電停電時未発報
	ケーブル配管類	動力線	CV	1998年3月	25	○	○	○	
		制御線	CVV	1998年3月	25	○	○	○	
		計装線	CVV	1998年3月	25	○	○	○	
		ラック	アルミ	1998年3月	25	○	○	○	
		ダクト	アルミ	1998年3月	25	○	○	○	
		電線管	GP	1998年3月	25	○	○	○	

## 土木・建築及び建築付帯設備

大分類	中分類	小分類（対象施設）		設置年月	経過 年数	診断項目		評価	備考		
						機能	劣化				
管理棟	躯体	仕様	鉄筋コンクリート造		1998年3月	25	○	○	○		
			仕上	内装	床		1998年3月	25	○	△	△
	壁				1998年3月	25	○	△	△		
	天井				1998年3月	25	○	○	○		
	外装（壁）				1998年3月	25	○	△	△		
	屋根仕上げ			1998年3月	25	○	○	○			
	塗装			1998年3月	25	○	△	△			
	防水	屋根防水		1998年3月	25	○	○	○			
		水槽防水		1998年3月	25	○	○	○			
	建具	サッシ		1998年3月	25	○	○	○			
		ドア		1998年3月	25	○	○	○			
		シャッター		1998年3月	25	○	○	○			
	金属物	タラップ		1998年3月	25	○	○	○			
		ルーフドレン		1998年3月	25	○	○	○			
		階段		1998年3月	25	○	○	○			
		鉄蓋（車道部）		1998年3月	25	○	○	○			
		鉄蓋（その他）		1998年3月	25	○	○	○			
	管理棟	付帯設備	給排水衛生ガス設備	衛生器具		1998年3月	25	○	○	○	
				ガス設備		1998年3月	25	○	○	○	
				ガス給湯器		1998年3月	25	○	○	○	
給水管・水栓・排水管・ガス管				1998年3月	25	○	○	○			
空調換気設備		エアコン		1998年3月	25	○	○	○			
		暖房機		1998年3月	25	○	○	○			
電気設備		電灯分電盤		1998年3月	25	○	○	○			
		照明器具		1998年3月	25	○	○	○			
		電話器類	プッシュホン式	1998年3月	25	○	○	○			
		接地端子類		1998年3月	25	○	○	○			
		配線・配管類・配管器具		1998年3月	25	○	○	○			
消火災害防止設備		配線・配管類・配管器具		1998年3月	25	○	○	○			



土木・建築及び建築付帯設備

大分類		中分類	小分類（対象施設）		設置年月	経過 年数	診断項目		評価	備考
							機能	劣化		
揚水施設	流入ポンプ井	躯体	仕様	鉄筋コンクリート造	1998年3月	25	○	○	○	
水処理施設	最終沈殿池	躯体	仕様	鉄筋コンクリート造	1998年3月	25	○	△	△	
	塩素混和池	躯体	仕様	鉄筋コンクリート造	1998年3月	25	○	○	○	
汚泥処理施設	汚泥ポンプ室	躯体	仕様	鉄筋コンクリート造	1998年3月	25	○	△	△	
		躯体	仕様	鉄筋コンクリート造	1998年3月	25	○	○	○	
	付帯設備	内部防食			1998年3月	25	○	○	○	
		手摺			1998年3月	25	○	○	○	
		グレーチング			1998年3月	25	○	○	○	
簡易覆蓋			1998年3月	25	○	○	○			

鬼無里浄化センター施設機能診断集計表

2023年9月

機械設備

大分類	中分類	小分類 (対象施設)		設置年月	経過年数	診断項目		評価	備考
						機能	劣化		
沈砂池設備	スクリーンかす設備	スクリーンユニット		2022年2月	1	○	○	○	
ポンプ設備	汚水ポンプ設備	ポンプ本体	No. 1	2018年2月	5	○	○	○	
			No. 2	2019年3月	4	○	○	○	
水処理設備	反応タンク設備	スクリュウ形曝気機	No. 1-1, 1-2	1998年3月	25	○	△	△	渦流防止版亀裂
			No. 2-1, 2-2	2002年3月	21	○	○	○	
	最終沈殿池設備	汚泥かき寄せ機	No. 1	1998年3月	25	○	○	○	
			No. 2	2002年3月	21	○	○	○	
		スカム移送ポンプ	1号, 2号	1998年3月	25	○	○	○	
		返送汚泥ポンプ	No. 1-1, 1-2	1998年3月	25	○	○	○	
			No. 2-1, 2-2	2002年3月	21	○	○	○	
	消毒設備	塩素接触装置		1998年3月	25	○	△	△	接触開度固定ボルト破損
	用水設備	給水ユニット		2022年2月	1	○	○	○	
		処理水ストレーナー		2022年2月	1	○	○	○	
汚泥処理設備	汚泥輸送・前処理設備	汚泥計量分配槽		1998年3月	25	○	○	○	
	汚泥濃縮設備	汚泥かき寄せ機		1998年3月	25	○	○	○	
		汚泥ポンプ		1998年3月	25	○	○	○	
	汚泥貯留設備	機械式攪拌機		1998年3月	25	○	○	○	
		空気攪拌装置		2002年3月	21	○	○	○	
	汚泥脱水設備	汚泥移送ポンプ	No. 1、No. 2-1、No. 2-2	2022年2月	1	○	○	○	
		汚泥脱水機		2022年2月	1	○	○	○	
無機凝集剤貯留タンク			2022年2月	1	○	○	○		
付帯設備	ゲート設備	分水可動堰		1998年3月	25	○	○	○	
	クレーン類物あげ装置	クレーン類物あげ装置	チェーンブロック	1998年3月	25	○	○	○	
	配管類	給水		1998年3月	25	○	○	○	
		送泥、排水		1998年3月	25	○	○	○	
		送泥、排水(2)		2002年3月	21	○	○	○	
	脱臭設備	活性炭吸着装置		2002年3月	21	○	○	○	
		脱臭ファン		2002年3月	21	○	○	○	
	ポンプ類	床排水ポンプ	管理棟	1998年3月	25	○	○	○	
汚泥ポンプ室			2021年6月	2	○	○	○		

電気設備

大分類	中分類	小分類 (対象施設)		設置年月	経過 年数	診断項目		評価	備考	
						機能	劣化			
電気計装設備	受変電設備	断路器	HC-1	1998年3月	25	○	○	○		
		遮断機		1998年3月	25	○	○	○		
		変圧器盤	HC-2	1998年3月	25	○	○	○		
		低圧主幹盤	LC-1	1998年3月	25	○	○	○		
		柱上開閉器	PAS	2019年9月	4	○	○	○		
	自家発電設備	原動機			1998年3月	25	○	○	○	
		発電機盤			1998年3月	25	○	△	△	
		給気ファン			1998年3月	25	○	○	○	
		排気ファン			1998年3月	25	○	○	○	
		消音器			1998年3月	25	○	○	○	
		燃料タンク			1998年3月	25	○	○	○	
	制御電源及び計装用電源	汎用UPS	UPS-N1		2022年2月	1	○	○	○	
	動力制御盤	1系水処理設備動力制御盤	LP-1		2022年2月	1	○	○	○	
		2系水処理設備動力制御盤 (1)	LP-2-1		2022年2月	1	○	○	○	
		2系水処理設備動力制御盤 (2)	LP-2-2		2022年2月	1	○	○	○	
	計装設備	流量計	放流流量		2019年8月	4	○	○	○	
			汚泥供給量		2022年2月	1	○	○	○	
		レベル計	汚水ポンプ位フリクトSW4P (LS-1)		2022年2月	1	○	○	○	
			排水槽水位フリクトSW4P (LS-2)		2022年2月	1	○	○	○	
			床排水ビット水位電極5P (LF-1)		2022年2月	1	○	○	○	
			処理水槽電極5P (LF-2)		2022年2月	1	○	○	○	
			汚泥ポンプ室床排水位電極5P (LF-3)		2022年2月	1	○	○	○	
			無機凝集剤貯留タンク液位電極3P (LF-4)		2022年2月	1	○	○	○	
		DO計	1系 (蛍光式溶存酸素計)		2018年11月	4	○	○	○	
			2系 (蛍光式溶存酸素計)		2018年11月	4	○	○	○	
	通信装置	非常通報装置		2015年3月	8	○	○	○		
	ケーブル配管類	動力線	CV		1998年3月	25	○	○	○	
		制御線	CVV		1998年3月	25	○	○	○	
		計装線	CVV		1998年3月	25	○	○	○	
		ラック	アルミ		1998年3月	25	○	○	○	
		ダクト	アルミ		1998年3月	25	○	○	○	
		電線管	GP		1998年3月	25	○	○	○	

## 土木・建築及び建築付帯設備

大分類	中分類	小分類（対象施設）		設置年月	経過 年数	診断項目		評価	備考	
						機能	劣化			
管理棟	躯体	仕様	鉄筋コンクリート造	1999年3月	24	○	○	○		
				1999年3月	24	○	△	△	電気室床クラック	
	仕上	内装		床	1999年3月	24	○	○	○	
				壁	1999年3月	24	○	○	○	
				天井	1999年3月	24	○	○	○	
				外装（壁）	1999年3月	24	○	△	△	電気室外部扉下クラック
		屋根仕上げ	1999年3月	24	○	○	○			
		塗装	1999年3月	24	○	○	○			
	防水	屋根防水		1999年3月	24	○	○	○		
		水槽防水		1999年3月	24	○	○	○		
	建具	サッシ		1999年3月	24	○	○	○		
		ドア		1999年3月	24	○	○	○		
		シャッター		1999年3月	24	○	○	○		
	金属物	タラップ		1999年3月	24	○	○	○		
		ルーフドレン		1999年3月	24	○	○	○		
		階段		1999年3月	24	○	○	○		
		鉄蓋（車道部）		1999年3月	24	○	○	○		
鉄蓋（その他）			1999年3月	24	○	○	○			

土木・建築及び建築付帯設備

大分類	中分類	小分類（対象施設）		設置年月	経過 年数	診断項目		評価	備考				
						機能	劣化						
管理棟	付帯設備	給排水衛生ガス設備	衛生器具		1999年3月	24	○	○	○				
			ガス設備		1999年3月	24	○	○	○				
			ガス給湯器		1999年3月	24	○	○	○				
			給水管・水栓・排水管・ガス管		1999年3月	24	○	○	○				
		空調換気設備		ルームエアコン		1999年3月	24	○	○	○			
		電気設備		電灯分電盤		1999年3月	24	○	○	○			
				照明器具		1999年3月	24	○	○	○			
				アンプ		1999年3月	24	○	○	○			
				スピーカ		1999年3月	24	○	○	○			
				電話器類		1999年3月	24	○	○	○			
				接地端子類		1999年3月	24	○	○	○			
				動力制御盤		ファン	1999年3月	24	○	○	○		
				配線・配管類・配管器具			1999年3月	24	○	○	○		
				消火災害防止設備		受信機		1999年3月	24	○	○	○	
		感知器				1999年3月	24	○	○	○			
配線・配管類・配管器具			1999年3月			24	○	○	○				
水処理施設	オキシレーションディッチ	躯体		仕様	鉄筋コンクリート造	1999年3月	24	○	△	△	外部コンクリート剥がれ		
		最終沈殿池		躯体		仕様	鉄筋コンクリート造	1999年3月	24	○	○	○	
		塩素混和池		躯体		仕様		鉄筋コンクリート造	1999年3月	24	○	○	○
	付帯設備		内部防食				1999年3月	24	○	○	○		
			手摺				2023年3月	0	○	○	○		
			グレーチング				1999年3月	24	○	○	○		
			簡易覆蓋				2023年3月	0	○	△	△		

信州新町浄化センター施設機能診断集計表

2023年9月

機械設備

大分類	中分類	小分類 (対象施設)		設置年月	経過 年数	診断項目		評価	備考	
						機能	劣化			
沈砂池設備	スクリーンかす設備	スクリーンユニット		2023年3月	0	○	○	○		
水処理設備	反応タンク設備	エアレーション装置	No. 1	2023年3月	0	○	○	○		
			No. 2	2023年3月	0	○	○	○		
			No. 3	2023年3月	0	○	○	○		
			No. 4	2023年3月	0	○	○	○		
	最終沈殿池設備	汚泥かき寄せ機	No. 1	2023年3月	0	○	○	○		
			汚泥ポンプ	No. 1	1999年3月	24	○	△	△	圧力計不良
			No. 2	1999年3月	24	○	△	△	圧力計不良	
	消毒設備	塩素接触装置		1999年3月	24	○	○	○		
	放流ポンプ設備	処理水ポンプ	No. 1	2020年5月	3	○	○	○		
			No. 2	2020年5月	3	○	○	○		
汚泥処理設備	汚泥輸送・前処理設備	汚泥計量分配槽		1999年3月	24	○	○	○		
		返流水ポンプ	No. 1	1999年3月	24	○	○	○		
			No. 2	1999年3月	24	○	○	○		
		洗浄水ポンプ			2005年3月	18	○	○	○	
	汚泥濃縮設備	濃縮汚泥ポンプ		1999年3月	24	○	○	○		
		濃縮槽汚泥かき寄せ機		1999年3月	24	○	○	○		
	汚泥貯留設備	汚泥供給ポンプ		1999年3月	24	○	○	○		
		汚泥攪拌機		1999年3月	24	○	○	○		
	調質設備	凝集剤注入装置 (有機、無機)	高分子凝集剤原液貯留タンク		2005年3月	18	○	○	○	
			高分子凝集剤原液移送ポンプ		2005年3月	18	○	○	○	
			無機凝集剤貯留タンク		2005年3月	18	○	○	○	
			無機凝集剤供給ポンプ		2005年3月	18	○	○	○	
	汚泥脱水設備	汚泥脱水機	多重板型スクリュープレス	2005年3月	18	○	○	○		
	建設資材利用設備	観察槽		1999年3月	24	○	○	○		
		ケーキホッパー		2005年3月	18	○	○	○		

機械設備

大分類	中分類	小分類 (対象施設)		設置年月	経過 年数	診断項目		評価	備考	
						機能	劣化			
付帯設備	ゲート設備	汚泥貯留槽連絡ゲート		1999年3月	24	○	○	○		
		混和池バイパスゲート		1999年3月	24	○	○	○		
		可動堰	分配槽	1999年3月	24	○	○	○		
	クレーン類物あげ装置	クレーン類物あげ装置	汚泥供給ポンプ吊上機		1999年3月	24	○	○	○	
			処理水ポンプ吊上機		1999年3月	24	○	○	○	
			ポンプ吊上機		1999年3月	24	○	○	○	
			脱水機用吊上機		2005年3月	18	○	○	○	
	配管類	給水		1999年3月	24	○	○	○		
		送泥、排水		1999年3月	24	○	○	○		
		送泥、排水(2)		2005年3月	18	○	○	○		
	脱臭設備	脱臭ファン		1999年3月	24	○	○	○		
		吸着塔		1999年3月	24	○	○	○		
	ポンプ類	床排水ポンプ	汚泥ポンプ室	2021年8月	2	○	○	○		

電気設備

大分類	中分類	小分類 (対象施設)		設置年月	経過年数	診断項目		評価	備考
						機能	劣化		
電気計装設備	受変電設備	柱上気中開閉器	PAS	1999年3月	24	○	○	○	
		引込受電盤	<HP-1>断路器・遮断器	1999年3月	24	○	○	○	
		変圧器盤	<HP-2>Tr 100kVA	1999年3月	24	○	○	○	
		低圧分岐盤	<LP-1>	1999年3月	24	○	○	○	
	制御電源及び計装用電源	小容量無停電電源装置	<UPS>	2017年7月	6	○	○	○	
	負荷設備	動力盤	<LC-1N2N>水処理設動力負荷	2023年3月	0	○	○	○	
			<LC-3>汚泥処理動力負荷	2005年3月	18	○	○	○	
	計装設備	流量計	放流流量	2018年10月	4	○	○	○	
			放流流量積算	1999年3月	24	○	○	○	
			溶存酸素計	2015年3月	8	○	○	○	
			供給汚泥流量	2005年3月	18	○	○	○	
			供給汚泥量積算	2005年3月	18	○	○	○	
		レベル計	汚泥貯留槽液位	1999年3月	24	○	○	○	
			返流水ピット水位	1999年3月	24	○	○	○	
			無機凝集剤貯留タンク液	2005年3月	18	○	○	○	
	重量計	ケーキホッパー質量	2005年3月	18	○	○	○		
	監視制御設備	脱臭切替弁盤	<LCB-101>	1999年3月	24	○	○	○	
		スクリーンユニット操作	(機械設備付帯)	2023年3月	0	○	○	○	
		汚泥脱水機制御盤	(機械設備付帯)	2005年3月	18	○	○	○	
		凝集剤原液装置操作盤	(機械設備付帯)	2005年3月	18	○	○	○	
		ケーキホッパー制御盤	(機械設備付帯)	2005年3月	18	○	○	○	
監視・通報装置		(インテリジェントプリンタ)	1999年3月	24	○	○	○		



電気設備

大分類	中分類	小分類 (対象施設)		設置年月	経過 年数	診断項目		評価	備考
						機能	劣化		
電気計装設備	ケーブル配管類	動力配線	CV	1999年3月	24	○	○	○	
		制御配線	CVV	1999年3月	24	○	○	○	
		計装配線	CVV	1999年3月	24	○	○	○	
		ケーブルラック	アルミラック	1999年3月	24	○	○	○	
		ケーブルダクト	アルミダクト	1999年3月	24	○	○	○	
		電線管	GP管	1999年3月	24	○	○	○	
			WS-LCB-04(床排P)	1998年3月	25	○	○	○	
			WS-LCB-06(排水P)	1998年3月	25	○	○	○	
			WS-LCB-05(脱臭ファン)	2002年3月	21	○	○	○	
			WS-LCB-07(汚泥ブロワ)	2002年3月	21	○	○	○	
		監視計装盤	KP-1	1998年3月	25	○	○	○	
		通信装置	非常通報装置	1998年3月	25	○	○	○	
	ケーブル配管類	動力線	CV	1998年3月	25	○	○	○	
		制御線	CVV	1998年3月	25	○	○	○	
		計装線	CVV	1998年3月	25	○	○	○	
		ラック	アルミ	1998年3月	25	○	○	○	
		ダクト	アルミ	1998年3月	25	○	○	○	
		電線管	GP	1998年3月	25	○	○	○	

## 土木・建築及び建築付帯設備

大分類	中分類	小分類（対象施設）		設置年月	経過 年数	診断項目		評価	備考	
						機能	劣化			
管理棟	躯体	仕様	鉄筋コンクリート造	2002年9月	21	○	○	○		
			床	2002年9月	21	○	○	○		
	仕上	内装	壁	2002年9月	21	○	○	○		
			天井	2002年9月	21	○	○	○		
			外装（壁）	2002年9月	21	○	○	○		
	仕上	外装（壁）	屋根仕上げ	2002年9月	21	○	○	○		
			塗装	2002年9月	21	○	○	○		
			防水	2002年9月	21	○	○	○		
	防水	屋根防水	屋根防水	2002年9月	21	○	○	○		
			水槽防水	2002年9月	21	○	○	○		
	建具	サッシ	サッシ	2002年9月	21	○	○	○		
			ドア	2002年9月	21	○	○	○		
			シャッター	2002年9月	21	○	○	○		
	金属物	タラップ	タラップ	2002年9月	21	○	○	○		
			ルーフドレン	2002年9月	21	○	○	○		
			階段	2002年9月	21	○	○	○		
			鉄蓋（車道部）	2002年9月	21	○	○	○		
			鉄蓋（その他）	2002年9月	21	○	○	○		
	管理棟	付帯設備	給排水衛生ガス設備	衛生器具	2002年9月	21	○	○	○	
				ガス設備	2002年9月	21	○	○	○	
ガス給湯器				2002年9月	21	○	○	○		
給水管・水栓・排水管・ガス管				2002年9月	21	△	○	△	電動止水弁動作不良	
受水槽				2002年9月	21	○	○	○		
給水ユニット				2002年9月	21	○	○	○		
空調換気設備			温水ボイラ	2002年9月	21	△	○	△	燃焼時異音有	
			ファンコイル	2002年9月	21	○	○	○		
			燃料タンク	2002年9月	21	○	○	○		
			ファン	2002年9月	21	○	○	○		

土木・建築及び建築付帯設備

大分類		中分類		小分類（対象施設）		設置年月	経過 年数	診断項目		評価	備考
								機能	劣化		
管理棟	付帯設備	電気設備	電灯分電盤		2002年9月	21	○	△	△	外灯絶縁抵抗低下	
			照明器具		2002年9月	21	○	○	○		
			アンプ		2002年9月	21	○	○	○		
			スピーカ		2002年9月	21	○	○	○		
			電話器類		2002年9月	21	△	○	△	換気機械室電話動作不良	
			接地端子類		2002年9月	21	○	○	○		
			動力制御盤	ファン	2002年9月	21	○	○	○		
			配線・配管類・配管器具		2002年9月	21	○	○	○		
水処理施設	反応槽（OD）	躯体	仕様	鉄筋コンクリート造	2002年9月	21	△	○	△	躯体の傾きあり	
	最終沈殿池	躯体	仕様	鉄筋コンクリート造	2002年9月	21	△	△	△	〃	
	塩素混和池	躯体	仕様	鉄筋コンクリート造	2002年9月	21	○	○	○		
		付帯設備	内部防食		2002年9月	21	○	○	○		
			手摺		2002年9月	21	○	○	○		
			グレーチング		2002年9月	21	○	○	○		
	簡易覆蓋		2002年9月	21	○	○	○				
汚泥処理施設	汚泥濃縮タンク	躯体	仕様	鉄筋コンクリート造	2002年9月	21	○	○	○		
		付帯設備	内部防食		2002年9月	21	○	○	○		
			手摺		2002年9月	21	○	○	○		
			グレーチング		2002年9月	21	○	○	○		
			簡易覆蓋		2002年9月	21	○	○	○		

中条浄化センター施設機能診断集計表

2023年9月

機械設備

大分類	中分類	小分類 (対象施設)		設置年月	経過年数	診断項目		評価	備考	
						機能	劣化			
沈砂池設備	流入管	汚水	200A SUS	2002年9月	21	○	△	△	露出塩ビ部分に劣化	
	スクリーンかす設備	スクリーンユニット		2002年9月	21	○	△	△	破砕機の切削パーツ劣化	
水処理設備	反応タンク設備	エアレーション装置	No. 1	2002年9月	21	○	○	○		
			No. 2	2002年9月	21	○	○	○		
			No. 3	2002年9月	21	○	○	○		
			No. 4	2002年9月	21	○	○	○		
	最終沈殿池設備	汚泥かき寄せ機	No. 1	2002年9月	21	○	○	○		
			汚泥ポンプ	No. 1	2002年9月	21	○	○	○	
			No. 2	2002年9月	21	○	○	○		
消毒設備	塩素接触装置		2002年9月	21	○	○	○			
汚泥処理設備	汚泥輸送・前処理設備	汚泥計量分配槽		2002年9月	21	△	○	△	冬季配管の凍結あり	
		返流水ポンプ	No. 1	2018年2月	5	○	○	○		
			No. 2	2019年9月	4	○	○	○		
	汚泥濃縮設備	濃縮汚泥ポンプ		2002年9月	21	○	○	○		
		濃縮槽汚泥かき寄せ機		2002年9月	21	○	○	○		
	汚泥貯留設備	ケーキポンプ		2002年9月	21	△	○	△	汚泥付着による誤動作あり	
		汚泥貯留槽攪拌機		2002年9月	21	○	○	○		
	汚泥脱水設備	汚泥脱水機	ベルトプレス型		2002年9月	21	○	○	○	
		汚泥供給ポンプ	No. 1	2018年2月	5	○	○	○		
			No. 2	2019年9月	4	○	○	○		
建設資材利用設備	観察槽		2002年9月	21	○	○	○			
	ケーキホッパー		2002年9月	21	△	○	△	夏季脱水汚泥の漏れあり		
付帯設備	給水設備	受水槽		2002年9月	21	○	○	○		
		給水ユニット		2002年9月	21	○	○	○		
	クレーン類物あげ装置	クレーン類物あげ装置	ポンプ吊上装置		2002年9月	21	○	○	○	
			脱水機管理用吊上装置		2002年9月	21	○	○	○	
	配管類	給水		2002年9月	21	○	○	○		
		送泥、排水		2002年9月	21	○	○	○		
	脱臭設備	脱臭ファン		2002年9月	21	○	△	△	屋外脱臭配管に焼けあり	
		吸着塔		2002年9月	21	○	○	○		
ポンプ類	床排水ポンプ	汚泥ポンプ室		2021年8月	2	○	○	○		

鬼無里浄化センター施設機能診断集計表

2023年9月

電気設備

大分類	中分類	小分類（対象施設）		設置年月	経過年数	診断項目		評価	備考
						機能	劣化		
電気計装設備	受変電設備	柱上気中開閉器	PAS	2019年9月	4	○	○	○	
		引込受電盤	<HC-1>断路器・遮断器	2002年3月	21	△	○	△	27Rターゲット表示しない
		変圧器盤	<HC-2>Tr 75kVA	2002年3月	21	○	○	○	
		低圧分岐盤	<LB-1>	2002年3月	21	○	○	○	
	制御電源及び計装用電源 負荷設備	小容量無停電電源装置	<UPS-1>	2015年5月	8	○	○	○	
		動力盤	<LB-2>水処理動力負荷	2002年3月	21	○	○	○	
			<LB-3>汚泥処理動力負荷	2002年3月	21	○	○	○	
		汚泥ポンプ室電源箱	<POD-H>	2002年3月	21	○	○	○	
		凍結防止用ヒーター電源	<POD-P1>	2002年3月	21	○	○	○	
		作業用電源盤	<LCB-1・2・3>	2002年3月	21	○	○	○	
		計装設備	計装盤	<KP-1>	2002年3月	21	○	○	○
	流量計		放流流量	2020年9月	3	○	○	○	
			放流流量積算	2002年3月	21	○	○	○	
			汚泥供給量	2002年3月	21	○	○	○	
			汚泥供給量積算	2002年3月	21	○	○	○	
	レベル計		汚泥貯留槽	2002年3月	21	○	○	○	
			汚泥調質槽	2002年3月	21	○	○	○	
			無機凝集剤貯留タンク	2002年3月	21	○	○	○	
			両性高分子凝集剤貯留タンク	2002年3月	21	○	○	○	
			雑用水槽	2002年3月	21	○	○	○	
			造粒濃縮槽	2002年3月	21	○	○	○	
	PH計		汚泥調質槽PH	2002年3月	21	○	○	○	
	重量計		ホッパー質量	2002年3月	21	○	○	○	
	DO計	蛍光式溶存酸素計	2011年11月	11	○	○	○		
	監視制御設備	汚泥脱水機制御盤	<OD-01>（機械設備付帯）	2002年3月	21	○	○	○	
		給水ユニット制御盤	<OD-06>（機械設備付帯）	2002年3月	21	○	○	○	
		ケーキポンプ現場操作盤	<OD-02>（機械設備付帯）	2002年3月	21	○	○	○	
電気計装設備	監視制御設備	ケーキホッパー現場制御盤	<OD-03>（機械設備付帯）	2002年3月	21	○	○	○	
		スクリーンユニット操作盤	<W-01>（機械設備付帯）	2002年3月	21	○	○	○	
		監視・通報装置	遠隔監視システム	2018年3月	5	○	○	○	

電気設備

大分類	中分類	小分類（対象施設）		設置年月	経過 年数	診断項目		評価	備考
						機能	劣化		
電気計装設備	ケーブル配管類	動力配線	CV	2002年3月	21	○	○	○	
		制御配線	CVV	2002年3月	21	○	○	○	
		計装配線	CVV	2002年3月	21	○	○	○	
		ケーブルラック	アルミラック	2002年3月	21	○	○	○	
		ケーブルダクト	アルミダクト	2002年3月	21	○	○	○	
		電線管	GP管	2002年3月	21	○	○	○	

## 戸隠高原処理区(戸隠高原浄化センター)

No.	ポンプ場		汚水ポンプ						機器の異常通報		投入圧力式水位計		経過 年数	診断項目		評価	備考
	番号	名称	号機	設置年度	形式	出力(kW)	吐出量(ml/min)	揚程(m)	非常通報装置	その他	型式	FSの有無		機能	劣化		
1	51-1	奥社入口	1	1997	CW65	1.5	0.2	13.2	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	26	○	△	△	
			2	2017	CW65	1.5	0.2	13.2					6	○	○	○	
2	51-2	竹細工センター	1	2020	CNWX801-P80G	5.5	0.26	21.1	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	3	○	△	△	
			2	2018	CNWX801-P80G	5.5	0.26	21.1					5	○	△	△	
3	51-3	民族館上	1	2022	CW100-P80G	5.5	0.36	24.0	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	1	○	△	△	
			2	2018	CW100-P80G	5.5	0.36	24.0					5	○	△	△	
4	51-4	午王峯北	1	1995	CW80-P80G	3.7	0.5	15.3	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	28	○	○	○	
			2	2019	CNWX80-P80G	3.7	0.5	15.3					4	○	○	○	
5	51-5	午王峯南	1	1998	CW65	1.5	0.2	12.2	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	25	○	○	○	
			2	1998	CW65	1.5	0.2	12.2					25	○	○	○	
6	51-6	ヴァイ戸隠	1	1995	CW100-P80G	5.5	0.5	17.8	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	28	○	○	○	
			2	2018	CNWX801-P80G	5.5	0.5	17.8					5	○	○	○	
7	51-7	ダイフク横	1	1999	CVL651-P65G	1.5	0.159	8.0	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	24	○	○	○	
			2	2021	CNWX651-P65G	1.5	0.159	8.0					2	○	○	○	
8	51-8	タンネ前	1	1997	CW65-P80G	1.5	0.56	6.5	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	26	○	○	○	
			2	2018	CNWX651-P80G	1.5	0.56	6.5					5	○	○	○	
9	51-9	シャレー	1	2017	CNWX651	1.5	0.2	10.0	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	6	○	○	○	
			2	1996	CW65-P65G	1.5	0.2	10.0					27	○	○	○	
10	51-10	白樺ロッジ前	1	2017	CN1502	22.0	1.92	30.0	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	6	○	○	○	
			2	2022	CN150	22.0	1.92	30.0					1	○	△	△	
			-	2020	攪拌機SM400	0.4							3	○	△	△	
11	51-11	植物園前	1	1998	CW80-P65G	3.7	0.16	18.6	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	25	○	○	○	
			2	2018	CNWX651-P65G	3.7	0.16	18.6					5	○	△	△	
12	51-12	越水ロッジ	1	2018	CNWX651-P65G	2.2	0.2	14.8	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	5	○	△	△	
			2	1996	CW80-P65G	2.2	0.2	14.8					27	○	△	△	
13	51-13	越水ロッジ南	1	2021	CNWX651-P65G	3.7	0.2	17.1	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	2	○	○	○	
			2	2020	CNWX651-P65G	3.7	0.2	17.1					3	○	○	○	
14	51-14	モミの木山荘	1	2018	CR501S	0.4	0.071	5.0	-	回転灯	ML-122・MC-123	○	5	○	○	○	個人宅
15	51-15	諏訪宅	1	2019	CR501	0.75	0.071	8.5	-	回転灯	ML-122・MC-123	○	4	○	○	○	個人宅
16	51-16	飯島宅	1	2006	AOS50MG22.2-63	2.2	0.231	4.6	-	回転灯	ML-122・MC-123	○	17	○	○	○	個人宅

戸 隠 高 原 処 理 区 (戸隠高原浄化センター)

No.	ポンプ場		汚水ポンプ						機器の異常通報		投入圧力式水位計		経過 年数	診断項目		評価	備考
	番号	名 称	号機	設置年度	形式	出力(kW)	吐出量(ml/min)	揚程(m)	非常通報装置	その他	型式	FSの有無		機能	劣化		
17	51-17	中央	1	1995	CW65	1.5	0.36	8.7	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	28	○	○	○	
			2	2016	CNWX651	1.5	0.36	8.7					7	○	○		
18	51-18	あわら	1	1995	CVL501-P65B	0.75	0.119	4.0	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	28	○	○	○	
			2	2020	CNWX651	0.75	0.119	4.0					3	○	○		
19	51-19	保育園	1	1995	CVL501	0.75	0.199	5.7	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	28	○	○	○	
			2	1995	CVL501	0.75	0.199	5.7					28	○	○		
20	51-20	坂本	1	2020	CNWX651	1.5	0.2	7.5	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	3	○	○	○	
			2	1995	CW65-P65	1.5	0.2	7.5					28	○	○		
21	51-21	ふたん沢	1	1997	CW100-P80G	5.5	0.48	20.6	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	26	○	△	△	
			2	2019	CNWX801-P80G	5.5	0.48	20.6					4	○	△		
22	51-22	西根	1	1995	CW65-P65G	1.5	0.2	8.7	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	28	○	○	○	
			2	2019	CNWX65-P65G	1.5	0.2	8.7					4	○	○		
23	51-23	深雪山荘	1	1997	CKF40H	1.2	0.088	12.0	—	ブザー	ML-122・MC-123	○	26	○	○	○	個人宅
24	51-24	柳沢宅	1	2022	CR501S	0.4	0.071	4.8	—	回転灯	ML-122・MC-123	○	1	○	○	○	個人宅
25	51-25	水源地	1	2022	32MG21.5	1.5	0.060	21.0	—	回転灯	—	—	1	○	○	○	個人宅
26	51-26	矢後宅	1	2019	CR501	0.75	0.071	10.6	—	回転灯	ML-122・MC-123	○	4	○	○	○	個人宅
27	51-27	高橋宅	1	2019	CR501	0.75	0.2	8.1	—	回転灯	ML-122・MC-123	○	4	○	○	○	個人宅



マンホールポンプ場 機能診断票

2023年9月

豊岡処理区(豊岡浄化センター)

No.	ポンプ場		汚水ポンプ						機器の異常通報		投込圧力式水位計		経過 年数	診断項目		評価	備考
	番号	名称	号機	設置年度	形式	出力(kW)	吐出量(m <sup>3</sup> /min)	揚程(m)	非常通報装置	その他	型式	FSの有無		機能	劣化		
1	52-1	諸沢	1	2021	CNWX801-P80G	7.5	0.159	23.2	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	2	○	○	○	
			2	2000	CWF80-PG	7.5	0.159	23.2					23	○	○		
2	52-2	諸沢上①	1	2001	CVL501-P50	0.75	0.071	5.5	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	22	○	○	○	マンホール:2箇所
			2	2001	CVL501-P65B	0.75	0.159	6.4					22	○	○		
		諸沢上②	3	2001	CVL501-P65B	0.75	0.159	6.4					22	○	○		
3	52-3	二条	1	2016	CNWX801-P80G	7.5	0.283	24.6	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	7	○	○	○	
			2	2019	CNWX801-P80G	7.5	0.283	24.6					4	○	△		
4	52-4	大中	1	2000	CW80-P65G	3.7	0.159	15.7	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	23	○	○	○	
			2	2000	CW80-P65G	3.7	0.159	15.7					23	○	○		
5	52-5	中村	1	2000	CVL651-P65G	1.5	0.159	6.8	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	23	○	○	○	
			2	2000	CVL651-P65G	1.5	0.159	6.8					23	○	○		
6	52-6	上楡木	1	2017	CNWX651	1.5	0.159	10.3	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	6	○	○	○	
			2	1998	CW65	1.5	0.159	10.3					25	○	○		
7	52-7	中島	1	2001	CW65-P65G	1.5	0.159	10.5	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	22	○	△	△	
			2	2001	CW65-P65G	1.5	0.159	10.5					22	○	△		
8	52-8	尾上	1	2002	CVL651	1.5	0.159	7.8	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	21	○	○	○	
			2	2002	CVL651	1.5	0.159	7.8					21	○	○		
9	52-9	原	1	2002	CW65-P80G	1.5	0.159	10.0	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	21	○	○	○	
			2	2002	CW65-P80G	1.5	0.159	10.0					21	○	○		
10	52-10	銚子口	1	2002	CV80-P65G	3.7	0.2	11.0	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	21	○	○	○	
			2	2002	CV80-P65G	3.7	0.2	11.0					21	○	○		
11	52-11	和沢	1	2021	CNWX651-P65GWX	0.75	0.159	5.4	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	2	○	△	△	
			2	2018	CVC501-P65B	0.75	0.159	5.4					5	○	△		
12	52-12	鳥居原	1	2003	CW65-P65G	1.5	0.159	13.3	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	20	○	○	○	
			2	2003	CW65-P65G	1.5	0.159	13.3					20	○	○		
13	52-13	西	1	2001	CKM32H	1.0	0.046	8.7	—	回転灯	ML-122・MC-123	○	22	○	○	○	個人宅
14	52-14	中林(中耕)	1	2014	CRS501S	0.75	0.039	6.4	—	回転灯	—	—	9	○	○	○	個人宅
15	52-15	小林(役場下)	1	2001	CVL501	0.75	0.071	7.7	—	回転灯	ML-122・MC-123	○	22	○	△	△	個人宅
16	52-16	長峰	1	1998	CW80	3.7	0.159	17.6	—	回転灯	ML-122・MC-123	○	25	○	○	○	個人宅
17	52-17	峰村	1	2019	CR501S	0.4	0.071	2.0	—	回転灯	ML-122・MC-123	○	4	○	○	○	個人宅
18	52-18	市川	1	2019	CR501	0.75	0.180	10.0	—	回転灯	—	○	4	○	○	○	個人宅

豊岡処理区(豊岡浄化センター)

No.	ポンプ場		汚水ポンプ					機器の異常通報		投込圧力式水位計		経過 年数	診断項目		評価	備考	
	番号	名称	号機	設置年度	形式	出力(kW)	吐出量(m <sup>3</sup> /min)	揚程(m)	非常通報装置	その他	型式		FSの有無	機能			劣化
19	52-19	平沢	1	2021	CNWX801-P80G	5.5	0.2	21.0	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	2	○	○	○	
			2	2017	CNWX1001	5.5	0.2	21.0					6	○	○		
20	52-20	折橋	1	2019	CNWX801-P80G	5.5	0.2	22.5	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	4	○	○	○	
			2	2000	CW100-P80G	5.5	0.2	22.5					23	○	○		
21	52-21	豊岡処理場前	1	2002	CW100-P80G	5.5	0.912	17.9	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	21	△	△	△	
			2	2002	CW100-P80G	5.5	0.912	17.9					21	△	△		
22	52-22	下楠川	1	2003	CW65-P65G	1.5	0.283	8.8	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	20	○	○	○	
			2	2003	CW65-P65G	1.5	0.283	8.8					20	○	○		
23	52-23	下楠川下	1	2003	CVL651-P65G	1.5	0.307	5.5	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	20	○	○	○	
			2	2003	CVL651-P65G	1.5	0.307	5.5					20	○	○		
24	52-24	母袋	1	2002	CW65	1.5	0.159	13.7	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	21	○	○	○	
			2	2002	CW65	1.5	0.159	13.7					21	○	○		
25	52-25	奈良尾	1	2003	CVL651-P65G	1.5	0.159	7.0	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	20	○	○	○	
			2	2003	CVL651-P65G	1.5	0.159	7.0					20	○	○		
26	52-26	中ノ地	1	2003	CVL651-P65G	1.5	0.2	3.5	SV-26		気泡式 PA20	○	20	○	○	○	受電無し
			2	2003	CVL651-P65G	1.5	0.2	3.5					20	○	○		
27	52-27	下楠川 原山	1	2022	CR501S	0.4	0.071	2.9	—	回転灯	ML-122・MC-123	○	1	○	○	○	個人宅
28	52-28	宇和原 原山	1	2002	CKM32HS	1.0	0.026	5.6	—	回転灯	ML-122・MC-123	○	21	○	○	○	個人宅
29	52-29	塚田	1	2001	CR50	0.75	0.071	6.9	—	回転灯	気泡式 PA10	○	22	○	○	○	個人宅、受電無し
30	52-30	小嶋	1	2019	CR501T	0.75	0.071	7.9	—	回転灯	ML-122・MC-123	○	4	○	○	○	個人宅

マンホールポンプ場 機能診断票

2023年9月

鬼無里処理区(鬼無里浄化センター)

No.	ポンプ場		汚水ポンプ						機器の異常通報		投込圧力式水位計		経過年数	診断項目		評価	備考
	番号	名称	号機	設置年度	形式	出力(kW)	吐水量(m <sup>3</sup> /min)	揚程(m)	非常通報装置	その他	型式	FSの有無		機能	劣化		
1	53-1	下新倉	1	2014	80DV 65.5	5.5	0.16	12.0	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	9	○	○	○	
			2	2014	80DV 65.5	5.5	0.16	12.0					9	○	○		
2	53-2	森林組合	1	2021	CNWX801	7.5	0.78	16.5	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	2	△	△	△	
			2	2017	CNWX801	7.5	0.78	16.5					6	○	○		
3	53-3	越上り上	1	1998	CVL501-P50	0.75	0.159	5.8	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	25	△	△	△	
			2	2019	CNM50-P50	0.75	0.159	5.8					4	△	△		
4	53-4	越上り下	1	2022	CNWX651-P65G	3.7	0.159	17.7	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	1	○	○	○	
			2	1998	CW80-P65G	3.7	0.159	17.7					25	○	○		
5	53-5	須田町	1	1998	65DV 62.2	2.2	0.16	10.1	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	25	○	○	○	
			2	1998	65DV 62.2	2.2	0.16	10.1					25	○	○		
6	53-6	下沖	1	2022	CNWX801	5.5	0.42	14.5	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	1	△	△	△	
			2	2022	CNWX801	5.5	0.42	14.5					1	△	△		
7	53-7	南町	1	2017	CNWX651	1.5	0.243	9.0	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	6	○	○	○	
			2	2016	CNWX651	1.5	0.243	9.0					7	○	○		
8	53-8	坂口団地	1	1999	CVL501-P65B	0.75	0.159	5.7	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	24	○	○	○	
			2	2022	CNWX651-P65GWX	0.75	0.159	5.7					1	○	○		
9	53-9	和田	1	2018	CW80-P80G	2.2	0.159	12.6	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	5	○	○	○	
			2	2000	CW80-P80G	2.2	0.159	12.6					23	○	○		
10	53-10	ワナデ沢	1	2000	CVL501-P65B	0.75	0.159	4.6	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	23	○	△	△	
			2	2000	CVL501-P65B	0.75	0.159	4.6					23	○	△		
11	53-11	小橋	1	2018	CW65-P80G	1.5	0.159	12.0	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	5	○	○	○	電源:戸隠支所分岐
			2	2000	CW65	1.5	0.159	12.0					23	○	○		
12	53-12	四角面(東町)	1	2021	50DV 6.75	0.75	0.06	7.0	-	回転灯	ML-122・MC-123	○	2	△	△	△	個人宅
			2	1999	50DV 6.75	0.75	0.06	7.0					24	△	△		
13	53-13	蓬平	1	2000	40DG 61.5	1.5	0.045	12.1	-	回転灯	ML-122・MC-123	○	23	○	△	△	個人宅
			2	2000	40DG 61.5	1.5	0.045	12.1					23	○	△		
14	53-14	松原	1	2000	40DG 61.5	1.5	0.045	13.6	-	回転灯	エアパージ装置	○	23	○	○	○	個人宅 受電無し
			2	2000	40DG 61.5	1.5	0.045	13.6					23	○	○		
15	53-15	和田2	1	2000	50DV 6.75	0.75	0.06	7.1	-	回転灯	エアパージ装置	○	23	○	○	○	個人宅 受電無し
			2	2000	50DV 6.75	0.75	0.06	7.1					23	○	○		

マンホールポンプ場 機能診断票

2023年9月

信州新町処理区(信州新町浄化センター)

No.	ポンプ場		汚水ポンプ					機器の異常通報		投込圧力式水位計		経過年数	診断項目		評価	備考	
	番号	名称	号機	設置年度	形式	出力(kW)	吐出量(m <sup>3</sup> /min)	揚程(m)	非常通報装置	その他	型式		FSの有無	機能			劣化
1	54-1	新町1号	1	2017	CWH100	22	1.696	33.0	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	6	○	○	○	
			2	2016	CWH100	22	1.696	33.0					7	○	○		○
2	54-2	新町2号	1	2017	CNWX801	5.5	0.84	15.0	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	6	○	○	○	
			2	2000	UBS80-65.5	5.5	0.84	15.0					23	△	△		△
3	54-3	新町3号	1	2004	SUV65-60.75	0.75	0.16	5.0	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	19	○	△	△	
			2	2019	CNWX651-P65G	0.75	0.16	5.0					4	○	△		△
4	54-4	竹房1号	1	1999	UBS80-63.7	3.7	0.281	18.0	CSDJ-D	クラウド監視	LPR-10-16	○	24	△	△	△	
			2	1999	UBS80-63.7	3.7	0.281	18.0					24	△	△		△
5	54-5	竹房2号	1	2019	CNWX801-P80G	3.7	0.265	16.0	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	4	○	○	○	
			2	1999	UBS80-63.7	3.7	0.265	16.0					24	○	○		○
6	54-6	上条1号	1	2022	CNWX801	5.5	0.42	18.0	CSDJ-D	クラウド監視	LPR-10-16	○	1	△	△	△	
			2	2017	CNWX801	5.5	0.42	18.0					6	○	○		○
7	54-7	上条2号	1	2019	CNWX801-P80G	3.7	0.303	15.0	CSDJ-D	クラウド監視	LPR-10-16	○	4	△	△	△	
			2	2000	UBS80-63.7	3.7	0.303	15.0					23	△	△		△
8	54-8	上条3号	1	2014	CNWX801-P80G	5.5	0.267	21.0	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	9	○	○	○	
			2	2019	CNWX801-P80G	5.5	0.267	21.0					4	△	△		△
9	54-9	上条4号	1	2002	UBS80-61.5	1.5	0.159	10.0	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	21	△	△	△	
			2	2020	CNWX801	1.5	0.159	10.0					3	△	△		△
10	54-10	上条5号	1	2002	SUG40-61.2A	1.2	0.160	12.0	—	回転灯	—	○	21	○	○	○	個人宅
11	54-11	穂刈1号	1	2000	UBS80-62.2	2.2	0.30	14.0	CSDJ-D	クラウド監視	LPR-10-16	○	23	○	○	○	
			2	2018	CNWX651-P80G	2.2	0.30	14.0					5	○	○		○

マンホールポンプ場 機能診断票

2023年9月

中条処理区(中条浄化センター)

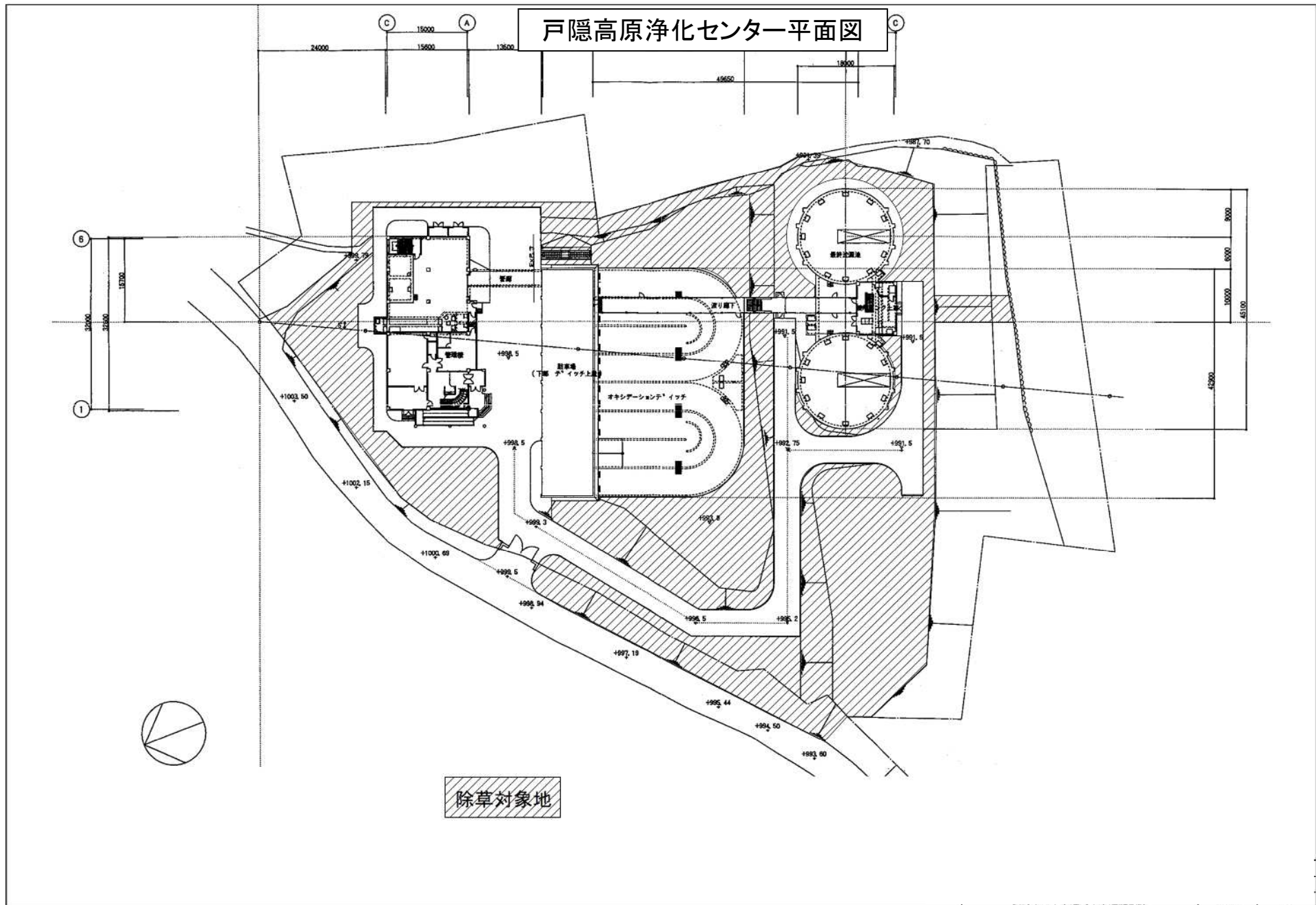
No.	ポンプ場		汚水ポンプ						機器の異常通報		投込圧力式水位計		経過 年数	診断項目		評価	備考
	番号	名称	号機	設置年度	形式	出力(kW)	吐出量(m <sup>3</sup> /min)	揚程(m)	非常通報装置	その他	型式	FSの有無		機能	劣化		
1	55-1	大野	1	2002	UBS65-63.7	3.7	0.16	16.0	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	21	○	○	○	
			2	2002	UBS65-63.7	3.7	0.16	16.0					21	○	○		
2	55-2	住良木団地	1	2022	CNWX651-P65G	1.5	0.16	10.5	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	1	○	○	○	
			2	2002	UBS65-61.5	1.5	0.16	10.5					21	○	○		
3	55-3	寒沢	1	2017	CNWX801	3.7	0.3	15.0	CSDJ-D	クラウド監視	LPR-10-16	○	6	○	○	○	
			2	2022	CNWX801	3.7	0.3	15.0					1	○	○		
4	55-4	保高第1	1	2019	CNWX651-P65G	1.5	0.22	9.0	CSDJ-D	クラウド監視	LPR-10-16	○	4	○	○	○	
			2	2002	SUV65-62.2	2.2	0.22	9.0					21	○	○		
5	55-5	保高第2	1	2022	CNWX651-P65G	1.5	0.16	6.5	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	1	○	○	○	
			2	2003	SUV65-61.5L	1.5	0.16	6.5					20	○	○		
6	55-6	道の駅	1	2003	SUV65-61.5	1.5	0.16	8.0	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	20	△	△	△	
			2	2003	SUV65-61.5	1.5	0.16	8.0					20	△	△		
7	55-7	月夜棚第1	1	2003	SUG40-61.2A	1.2	0.071	11.0	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	20	○	○	○	
			2	2003	SUG40-61.2A	1.2	0.071	11.0					20	○	○		
8	55-8	月夜棚第2	1	2003	SUG40-61.2A	1.2	0.071	11.0	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	20	○	○	○	
			2	2022	CKM40H-P40	1.2	0.071	11.0					1	○	○		
9	55-9	青木第1	1	2017	CNWX651	1.5	0.42	8.0	CSDJ-D	クラウド監視	LPR-10-16	○	6	○	○	○	
			2	2020	CNWX651	1.5	0.42	8.0					3	○	○		
10	55-10	青木第2	1	2003	UBS65-61.5	1.5	0.16	10.0	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	20	○	○	○	
			2	2003	UBS65-61.5	1.5	0.16	10.0					20	○	○		
11	55-11	長谷鳥	1	2002	UBS65-63.7	3.7	0.42	14.0	CSDJ-D	クラウド監視	LPR-10-16	○	21	○	○	○	
			2	2015	CNWX651	3.7	0.42	14.0					8	○	○		
12	55-12	宮	1	2002	UBS65-61.5	1.5	0.16	9.5	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	21	○	○	○	
			2	2002	UBS65-61.5	1.5	0.16	9.5					21	○	○		
13	55-13	古町	1	2002	UBS65-61.5	1.5	0.16	10.5	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	21	○	○	○	
			2	2017	CNWX651	1.5	0.16	10.5					6	○	○		
14	55-14	町南	1	2002	UBS65-61.5	1.5	0.16	8.0	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	21	△	△	△	
			2	2002	UBS65-61.5	1.5	0.16	8.0					21	△	△		
15	55-15	町北	1	2003	SUV50-60.4	0.4	0.071	5.0	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	20	△	△	△	
			2	2003	SUV50-60.4	0.4	0.071	5.0					20	△	△		
16	55-16	大島	1	2020	CNWX801	3.7	1.26	8.0	CSDJ-D	クラウド監視	LPR-10-16	○	3	○	○	○	
			2	2020	CNWX801	3.7	1.26	8.0					3	○	○		

中条処理区(中条浄化センター)

No.	ポンプ場		汚水ポンプ					機器の異常通報		投込圧力式水位計		経過年数	診断項目		評価	備考	
	番号	名称	号機	設置年度	形式	出力(kW)	吐出量(m <sup>3</sup> /min)	揚程(m)	非常通報装置	その他	型式		FSの有無	機能			劣化
17	55-17	境の沢	1	2020	CNWX801	3.7	1.26	10.0	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	3	○	○	○	
			2	2020	CNWX801	3.7	1.26	10.0					3	○	○		
18	55-18	市ノ瀬	1	2015	CNWX801	7.5	0.9	19.0	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	8	○	○	○	
			2	2002	UBS80-67.5	7.5	0.9	19.0					21	○	○		
19	55-19	下五十里第1	1	2002	SUV65-60.75	0.75	0.16	6.5	CSDJ-D	クラウド監視	LPR-10-16	○	21	○	○	○	
			2	2018	CVC501-P50	0.75	0.16	6.5					5	○	○		
20	55-20	下五十里第2	1	2018	CKM50H-P50	2.2	0.071	18.0	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	5	△	△	△	
			2	2002.1	KS-GP-50AA	2.2	0.071	18.0					21	△	△		
21	55-21	下五十里第3	1	2017	CR501	0.75	0.03	7.0	—	回転灯	—	○	6	○	○	○	個人宅
22	55-22	上五十里団地第1	1	2003	KSVL-63AA	1.5	0.16	7.0	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	20	○	○	○	
			2	2003	KSVL-63AA	1.5	0.16	7.0					20	○	○		
23	55-23	上五十里団地第2	1	2003	SUV50-60.4	0.4	0.071	4.0	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	20	○	○	○	
			2	2003	SUV50-60.4	0.4	0.071	4.0					20	○	○		
24	55-24	大久保宅	1	2003	HCR50-60.4	0.4	0.071	5.5	—	回転灯	—	○	20	○	○	○	個人宅
25	55-25	松本宅	1	2003	HCR50-60.4	0.4	0.07	4.0	—	回転灯	—	○	20	○	○	○	個人宅
26	55-26	壇原宅	1	2003	HCR50-60.4	0.4	0.071	3.5	—	回転灯	—	○	20	○	○	○	個人宅
27	55-27	早川宅	1	2003	KSVS50	0.75	0.071	8.0	—	回転灯	—	○	20	○	○	○	個人宅
28	55-28	堀切	1	2004	SUV65-61.5L	1.5	0.16	8.0	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	19	○	○	○	
			2	2004	SUV65-61.5L	1.5	0.16	8.0					19	○	○		
29	55-29	宮西	1	2021	CNWX651-P65GWX	0.75	0.16	6.0	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	2	○	○	○	
			2	2005	SUV65-60.75	0.75	0.16	6.0					18	○	○		
30	55-30	梨木早川宅	1	2000	CR501S	0.4	0.07	6.0	—	回転灯	ML-122・MC-123	○	23	○	○	○	個人宅
31	55-31	松本宅	1	2005	CR501S	0.4	0.16	6.4	—	回転灯	—	○	18	○	○	○	個人宅
32	55-32	宮沢宅	1	2005	CR501S	0.4	0.071	5.0	—	回転灯	—	○	18	○	○	○	個人宅
33	55-33	溝口宅	1	2005	CR501S	0.4	0.046	6.0	—	回転灯	—	○	18	○	○	○	個人宅
34	55-34	月夜棚宮尾宅	1	2000	CR501	0.75	0.1	8.3	—	回転灯	—	○	23	○	○	○	個人宅
35	55-35	コーメックス	1	2000	CR501S	0.4	0.16	6.4	—	回転灯	ML-122・MC-123	○	23	○	○	○	個人宅
36	55-36	西澤宅	1	2022	CR501S	0.4	0.07	4.5	—	回転灯	—	○	1	○	○	○	個人宅
37	55-37	酒井宅	1	2007	HCR50-60.4AW	0.4	0.071	5.0	—	回転灯	—	○	16	○	○	○	個人宅
38	55-38	住良木	1	2019	CNWX651	2.2	0.159	13.9	CSDJ-D	クラウド監視	ML-122・MC-123	○	4	○	○	○	
			2	2019	CNWX651	2.2	0.159	13.9					4	○	○		

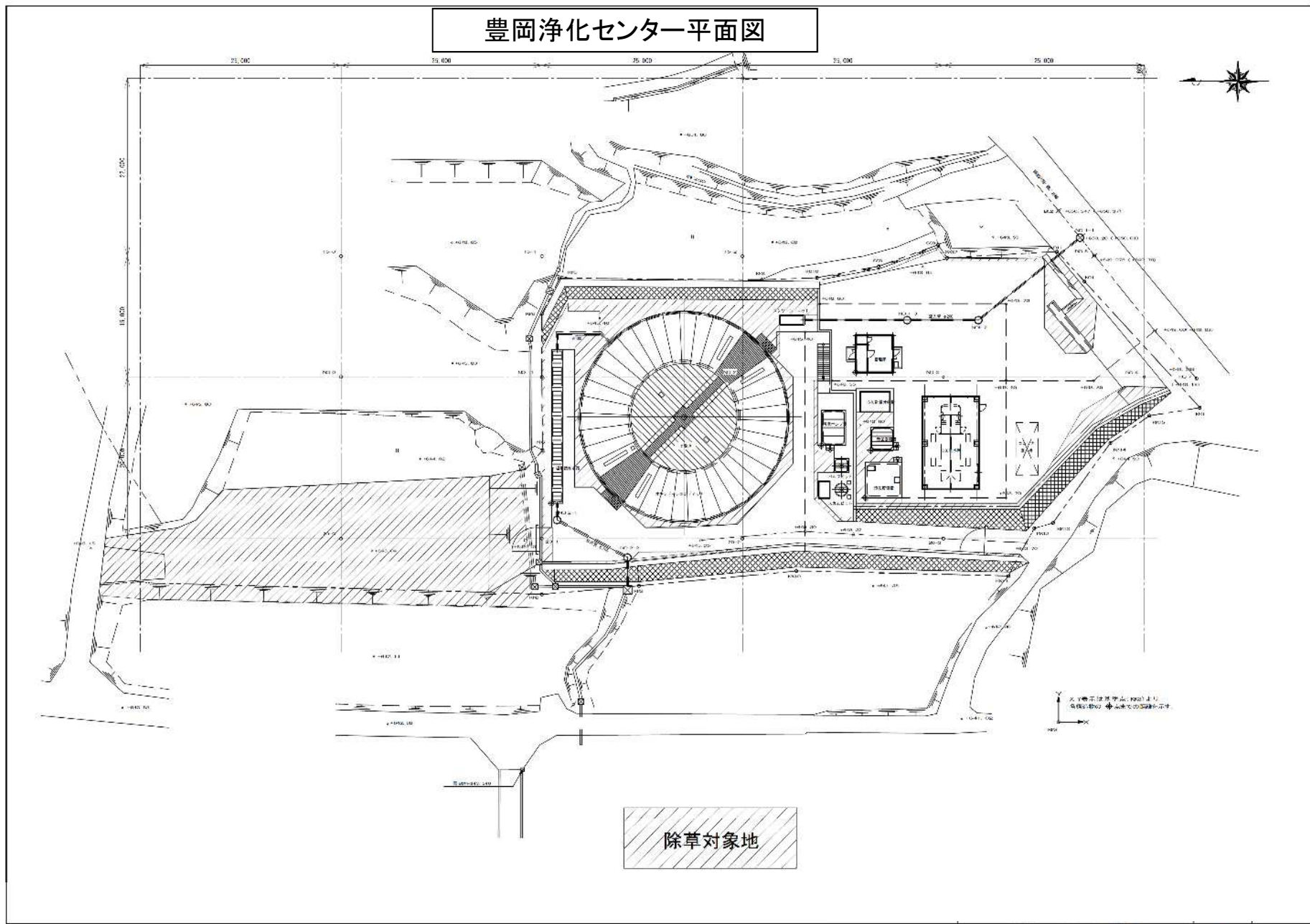
## 移動式汚泥処理施 機能診断票

大分類	中分類	小分類 (対象施設)		設置年月	経過 年数	診断項目		評価	備考	
						機能	劣化			
汚泥処理車	車両	外観	6t車	1996/3/1	27	○	△	△		
		運転席		1996/3/1	27	○	○	○		
		荷台		1996/3/1	27	○	△	△		
	汚泥脱水機	本体	ベルトプレス型		1996/3/1	27	○	○	○	
			ろ布幅1.0m		1996/3/1	27	○	○	○	
		汚泥供給ポンプ	No1, 2		1996/3/1	27	○	△	△	
		薬注ポンプ	No1, 2		1996/3/1	27	○	△	△	
		無機薬注ポンプ	No1, 2		1996/3/1	27	○	△	△	
	汚泥調質設備	汚泥調質槽	0.12m <sup>3</sup>		1996/3/1	27	○	△	△	
		造粒濃縮槽	1.5m <sup>3</sup>		1996/3/1	27	○	△	△	
	搬送設備	ケーキ搬送コンベア	No1, 2		1996/3/1	27	○	△	△	
	電気・計装	負荷設備	動力制御盤		1996/3/1	27	○	△	△	
			中継端子盤		1996/3/1	27	○	△	△	
計装設備		レベル計		1996/3/1	27	○	○	○		
		流量計		1996/3/1	27	○	○	○		
		コントローラー		1996/3/1	27	○	○	○		
自家発電機		原動機	車両用駆動式		1996/3/1	27	○	○	○	
		発電機盤	30kVA		1996/3/1	27	○	○	○	
ケーブル等		動力線	CV		1996/3/1	27	○	△	△	
		制御線	CVV		1996/3/1	27	○	△	△	
		軽装線	CVV		1996/3/1	27	○	△	△	
	電線管	GP管又はCD管		1996/3/1	27	○	△	△		

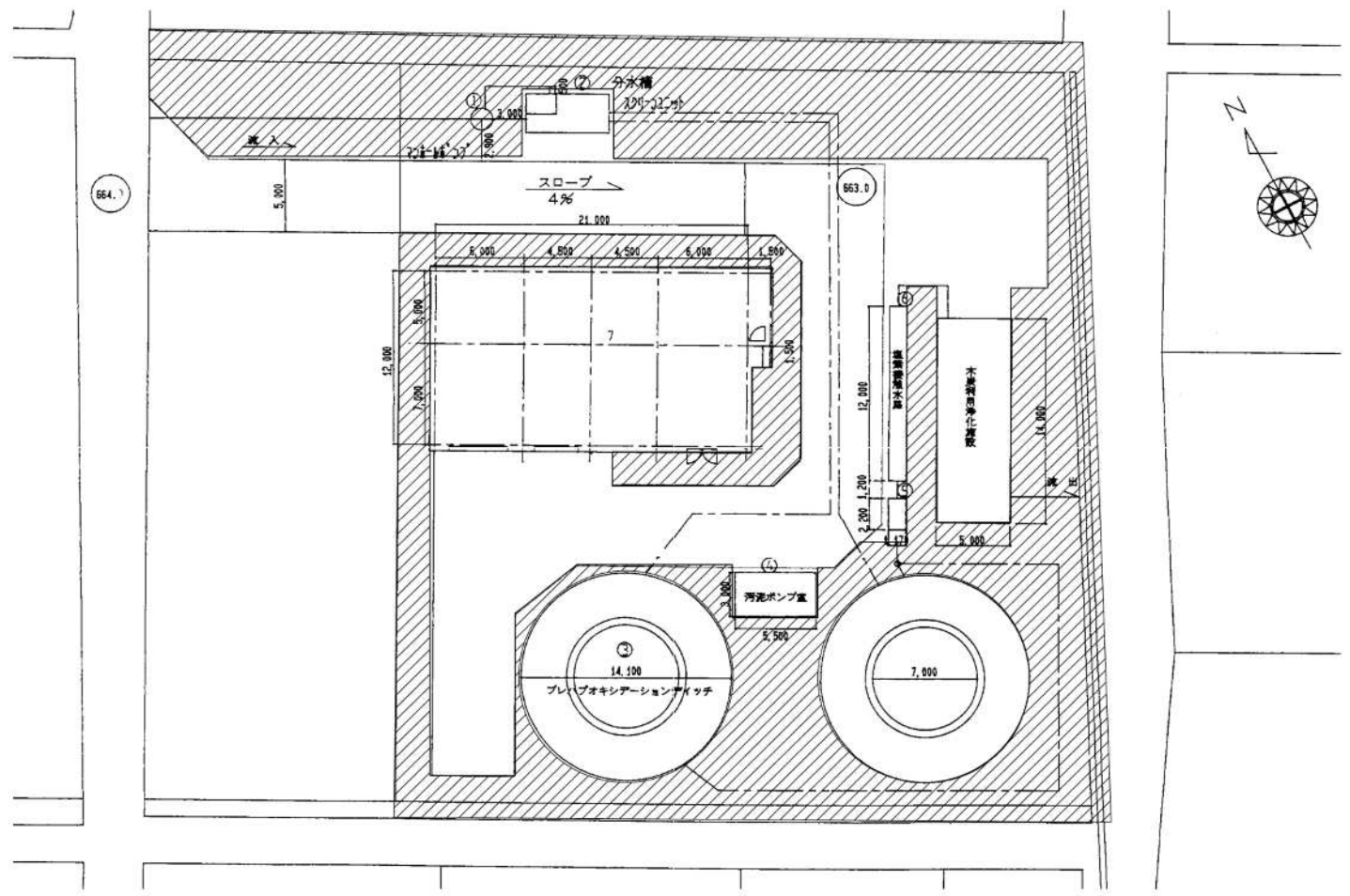




# 豊岡浄化センター平面図

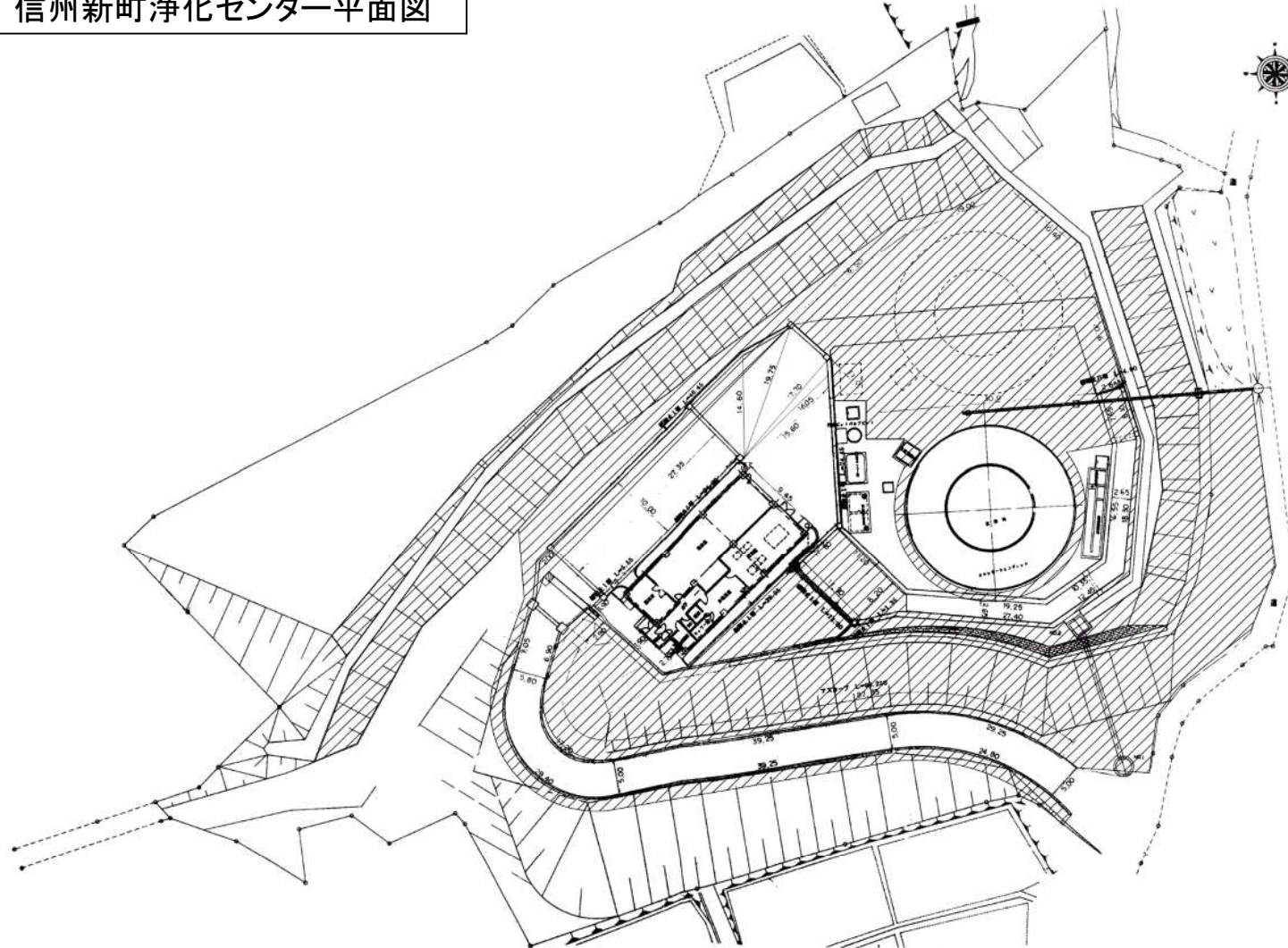


# 鬼無里浄化センター平面図



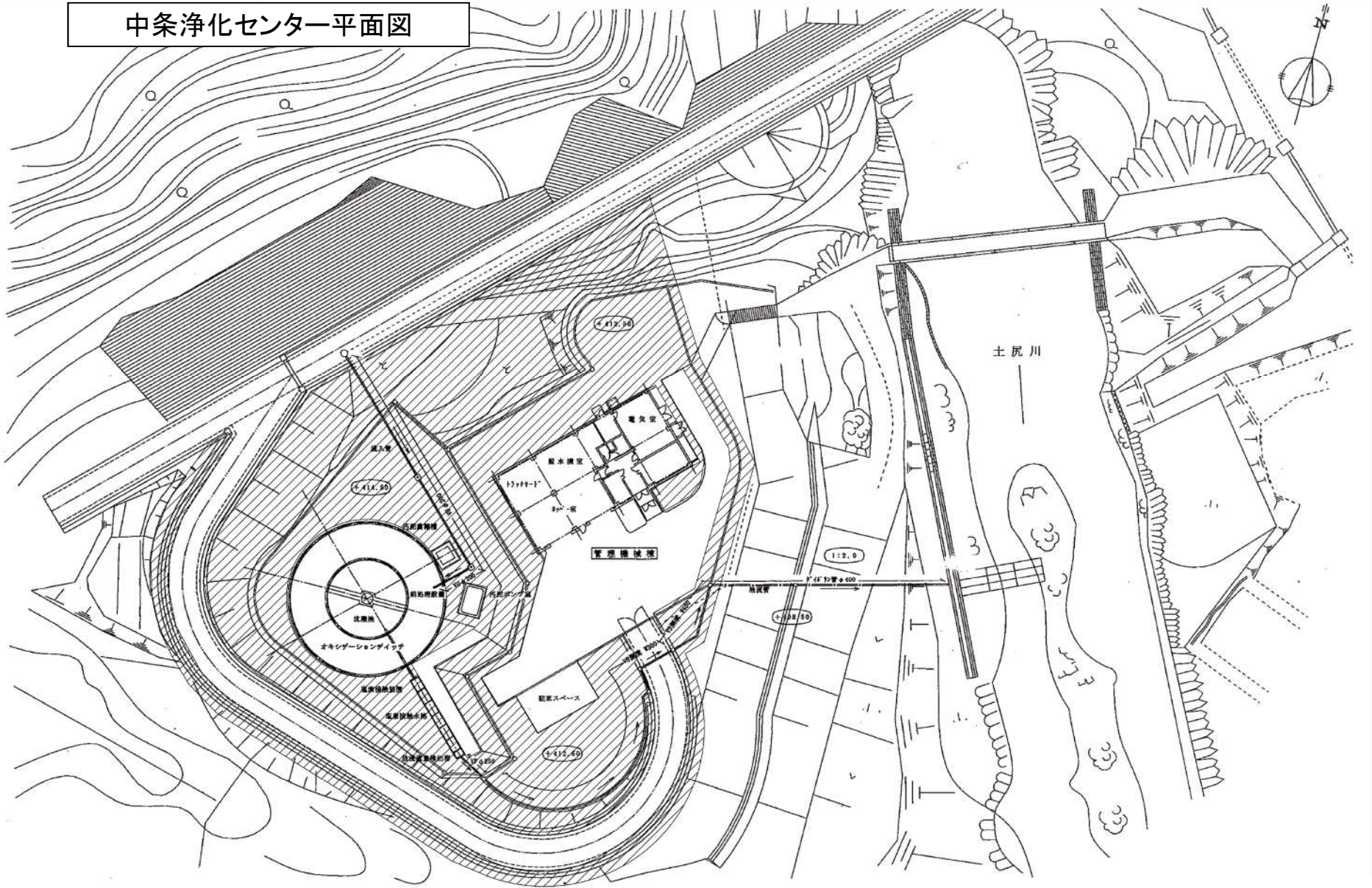
除草対象地

信州新町浄化センター平面図



除草対象地

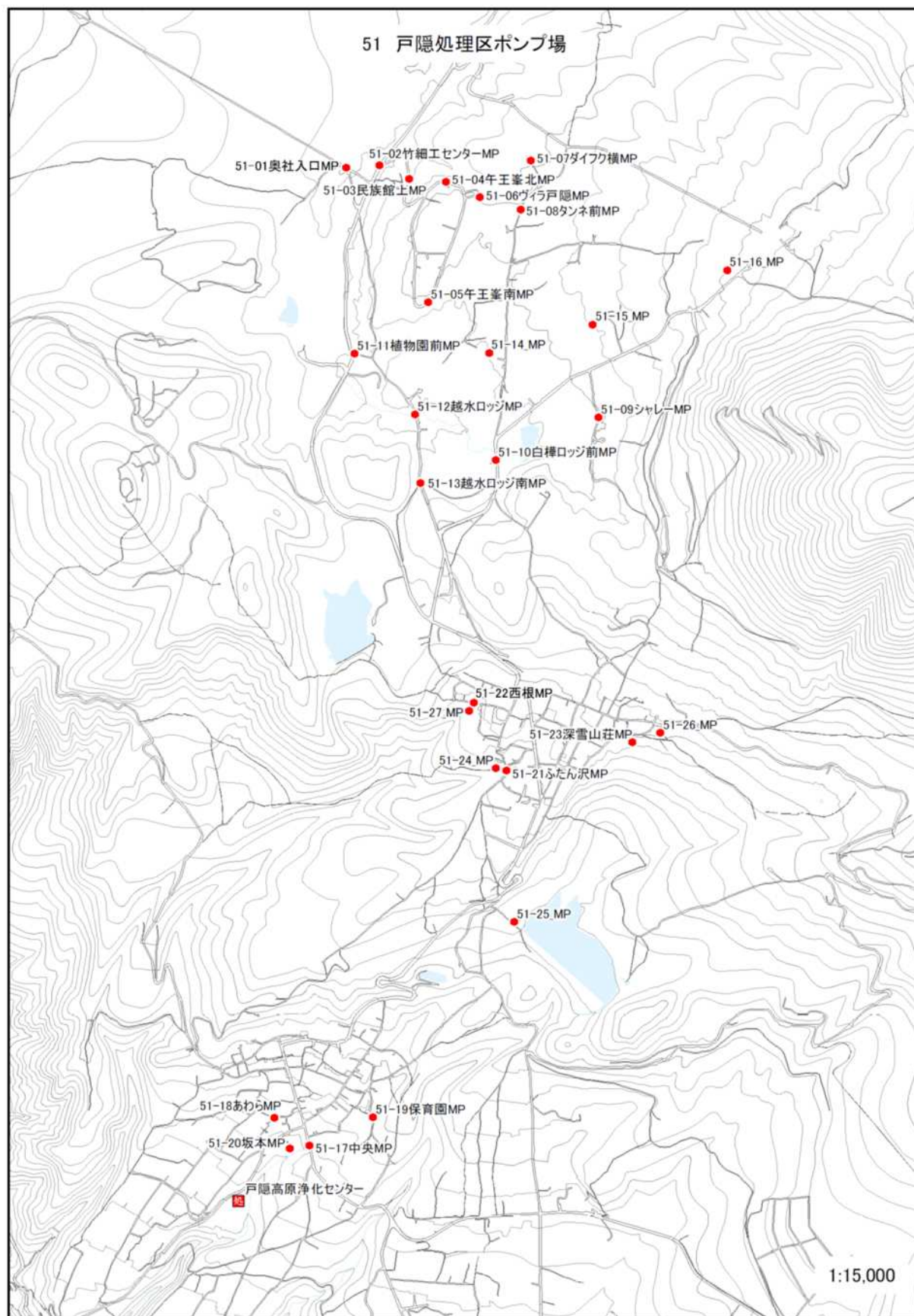
# 中条浄化センター平面図



除草対象地

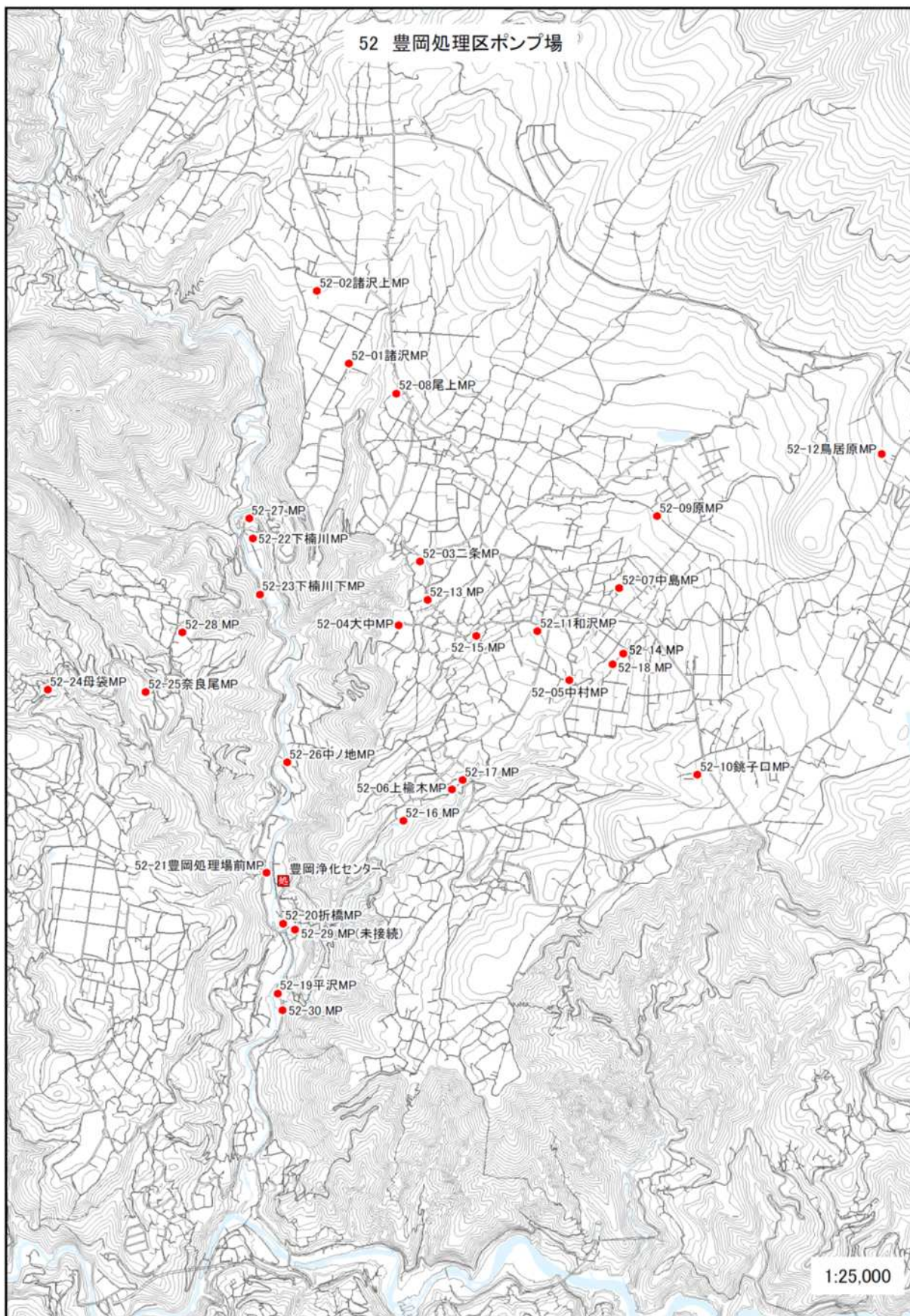
別紙

1. 戸隠処理区マンホールポンプ場 位置図



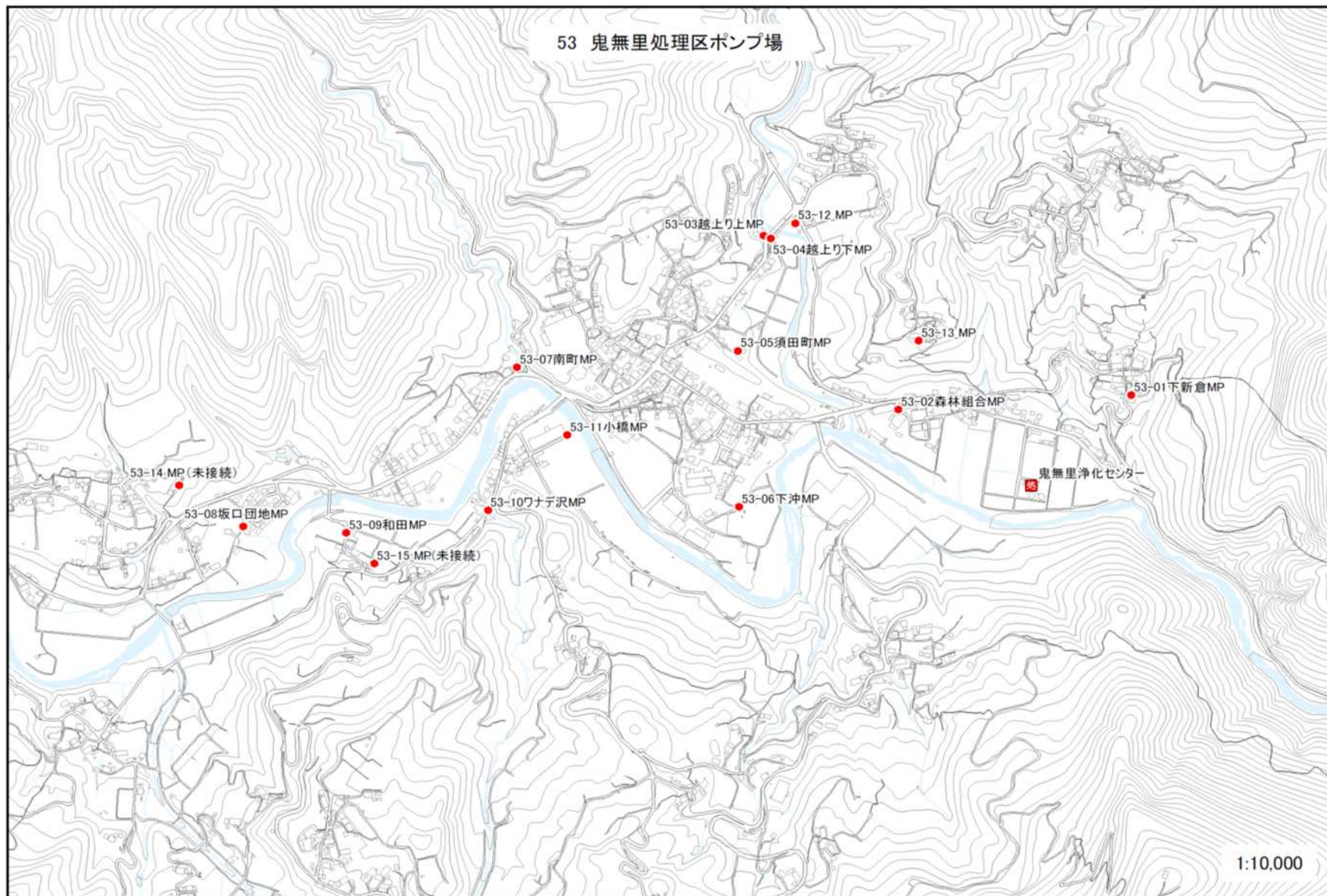
別紙

2. 豊岡処理区マンホールポンプ場 位置図



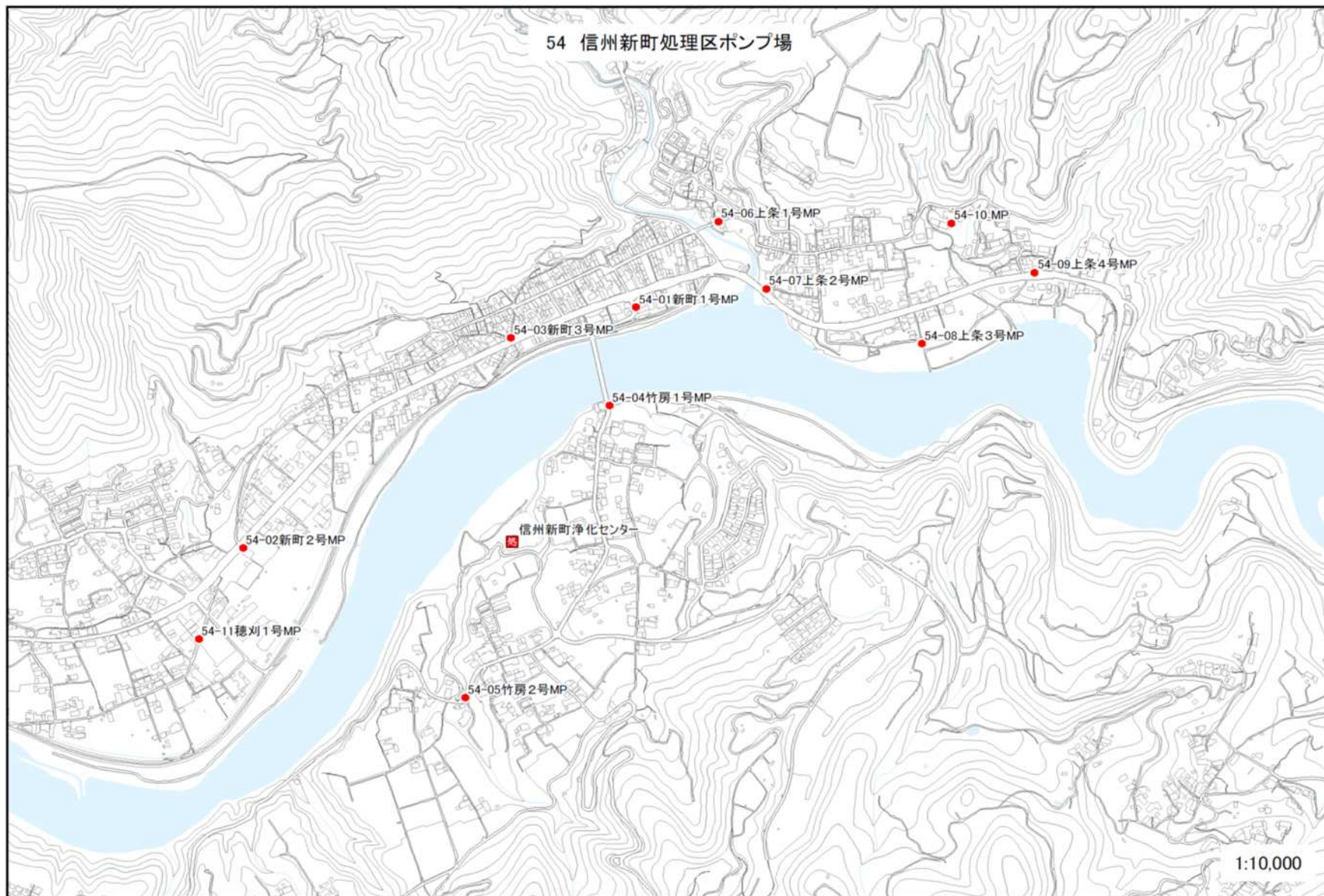
別紙

3. 鬼無里処理区マンホールポンプ場 位置図



別紙

4. 新町処理区マンホールポンプ場 位置図





別紙

5. 中条処理区マンホールポンプ場 位置図

